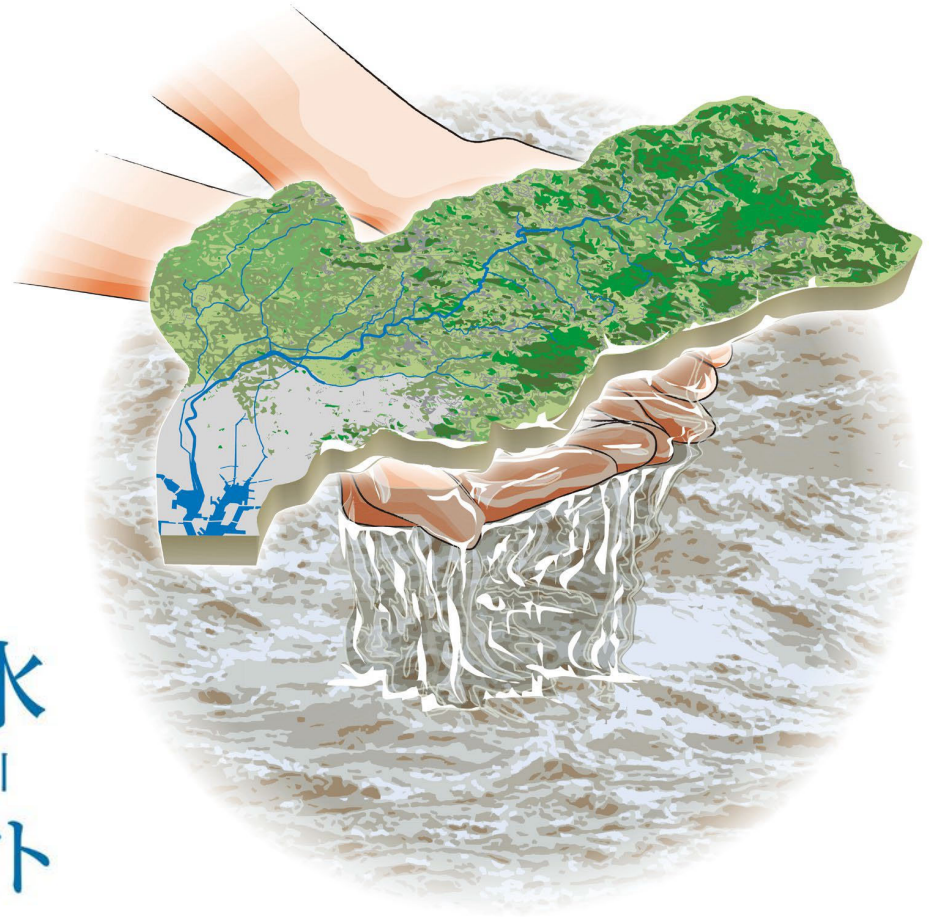




SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

土岐川・庄内川流域治水協議会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



流域治水 in土岐川・庄内川 プロジェクト

令和3年3月
(令和5年3月更新)

[詳細版]

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を
水害から守る流域治水対策～



庄内川水系流域治水プロジェクトとりまとめ記念撮影(令和3年3月25日)
※写真撮影時のみマスクを外しています。

目次

庄内川水系流域治水プロジェクトの概要	P1
庄内川流域治水協議会	P3
庄内川水系流域治水プロジェクト（全体版）	P21
庄内川水系流域治水プロジェクト（各施策版）	P27
庄内川水系流域治水プロジェクト（各圏域版）	P44
庄内川水系流域治水プロジェクト（各構成員版）	P58
庄内川水系流域治水プロジェクト（オブザーバーの取組）	P87

「流域治水」への転換

- ▶ 気候変動による水災害リスクの増大に備えるためには、これまでの河川管理者等の取組だけでなく、流域に関わる関係者が、主体的に治水に取り組む社会の構築が求められます。河川・下水道管理者等による治水に加え、あらゆる関係者により流域全体で行う治水、それが「流域治水」です。
- ▶ 庄内川流域は、日本経済を支える産業集積地域である反面、日本一のゼロメートル地帯を有する、水害リスクが高い地域です。平成12年9月には東海豪雨により、未曾有の都市型水害となった苦い経験もあります。
- ▶ これらの背景を踏まえ、地域とともに水災害に強いまちづくりをめざすために、庄内川流域のあらゆる関係者(国・県・市町・企業・住民等)により、庄内川水系流域治水プロジェクトをとりまとめ、事前防災対策を進めていきます。

庄内川流域全体の目標

1 東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策

多治見市

オール多治見による雨水流出抑制と市民の防災意識向上を实践、中流域の役割として下流に位置する市町への流出負担軽減

主な取組

- 雨水貯留施設の新設
- 地区タイムラインの作成支援

瑞浪市

上流域に位置する自治体として、豊かな水辺環境の維持に努めるとともに、中・下流域への流出負担軽減を推進し、市民の防災意識向上を図る

主な取組

- 既設貯留施設(ため池等)の事前放流
- 関係機関との連携強化

恵那市

庄内川流域の源流部に位置する恵那市“水源地の森林を守り、育て豊かな水を下流域へ”を目標に森林保全事業を実施

主な取組

- 森林整備(間伐)
- 高齢者避難計画策定の推進

土岐市

【上流域の自治体として雨水流出抑制に努め、市民の防災意識向上を目指す】森林保全やため池貯留等による雨水流出抑制、災害図上訓練や小学校を対象とした防災教育による防災意識の向上に努める。

主な取組

- ため池等の事前放流
- 災害図上訓練の実施

名古屋市

新しい時代にふさわしい豊かな未来を創る!世界に冠たる「NAGOYA」へ向けて、あらゆる関係者により、広範囲に存在する災害リスクに対応し、名古屋大都市圏の中核都市として、全国の都市部の先駆けとなるような流域治水を展開

主な取組

- 狭窄部における橋梁改築
- 公園等を活用した高台整備

一宮市

みんなで取り組む流域治水～浸水被害ゼロの新たなまちづくり～

主な取組

- 貯留施設(公園等)の整備
- 浸水対策施設設置補助

江南市

浸水被害のないまちづくりを推進し、【地域とつくる多様な暮らしを“選べる生活都市”】をめざす。具体的施策としては、雨水貯留施設整備や避難情報周知等の流域治水対策を実施していく。

主な取組

- 雨水貯留施設の整備
- 避難情報の周知

小牧市

いつ起こるか分からない大雨による浸水被害を最小限に抑制し、市民の貴重な生命と財産を守る。市民自らが災害に備えるとともに、地域住民がお互いに顔の見える関係を構築することで、災害発生時に地域が一体となって被害を最小限に抑えられるまちを目指す。

主な取組

- 準用河川整備
- 学校区単位の防災訓練

稲沢市

安全・安心で、健康に暮らせるまち【INAZAWA】雨水貯留施設の整備、被害の軽減対策を実施し安全安心を目指す。

主な取組

- 調節池の整備
- 監視カメラの設置・増設

長久手市

万博理念を継承し、自然環境にこだわるまちづくり。具体的な施策としては、水害ゼロを目指し、河道の継続的な維持管理と早期避難を可能にする

主な取組

- 河道の継続的な維持管理
- ハザードマップの更新

尾張旭市

「すくすくのびのび尾張旭市」雨に強いまちづくり

主な取組

- 排水施設の整備・維持管理
- 防災指針の検討・作成

岩倉市

「住むなら岩倉!子育て・健康・安心なまち」治水対策にも取り組み「やっぱり岩倉が〜わ」といわれる市を目指す。公共施設(公園、学校等)に雨水調整池を整備、排水機場の更新、避難計画策定などの対策を行う。

主な取組

- 雨水調整池の整備
- 高齢者等の避難高等計画の策定の推進

清須市

水と歴史が織りなされた安心・快適で元気な都市を目指し、市民と行政が一体となって災害への備えを充実させ、安全で安心に暮らせるまちをつくる

主な取組

- 雨水幹線の整備
- 手づくりハザードマップの作製

北名古屋市

市民と行政が同じゴールをめざして協働してまちづくりを進めることで「健康快適都市」誰もがいきいきと安全・安心に暮らせるまちをめざす。浸水被害対策としては、雨水による氾濫被害を軽減させるために、幹線排水路や貯留施設・排水ポンプの整備を実施していく。

主な取組

- 幹線排水路の改修
- 排水ポンプ場の整備

あま市

“あまチカラ”により、住みやすいまちづくりを実現するための雨水流出抑制・防災対策推進を図り、AMEと共存するAMAを創る。

主な取組

- 雨水貯留浸透施設の整備
- マイタイムライン作成の促進

大治町

安全で安心して暮らせるまちづくり 海拔ゼロメートル地域として、発生しやすい浸水被害の未然防止に努め、町民の防災意識を育む

主な取組

- 排水施設の機能維持
- 一次避難地となる防災公園整備

豊山町

被害軽減を目的とした流域治水対策及び町民の防災教育の推進等を実践し、「安全・安心で住みやすさを実感できるまちづくり」の実現を目指す。

主な取組

- 排水機場の増強
- 避難場所や経路に関する情報の周知

大口町

災害に強い豊かな生活基盤の創造を目指しています! 災害などから住民の大切な生命や財産を守るために災害に強い都市基盤の整備を進めるとともに、関係者間の連携を通じて地域の自主的な防災活動の一層の充実を図り、安心して暮らせるまちづくりを進めています。

主な取組

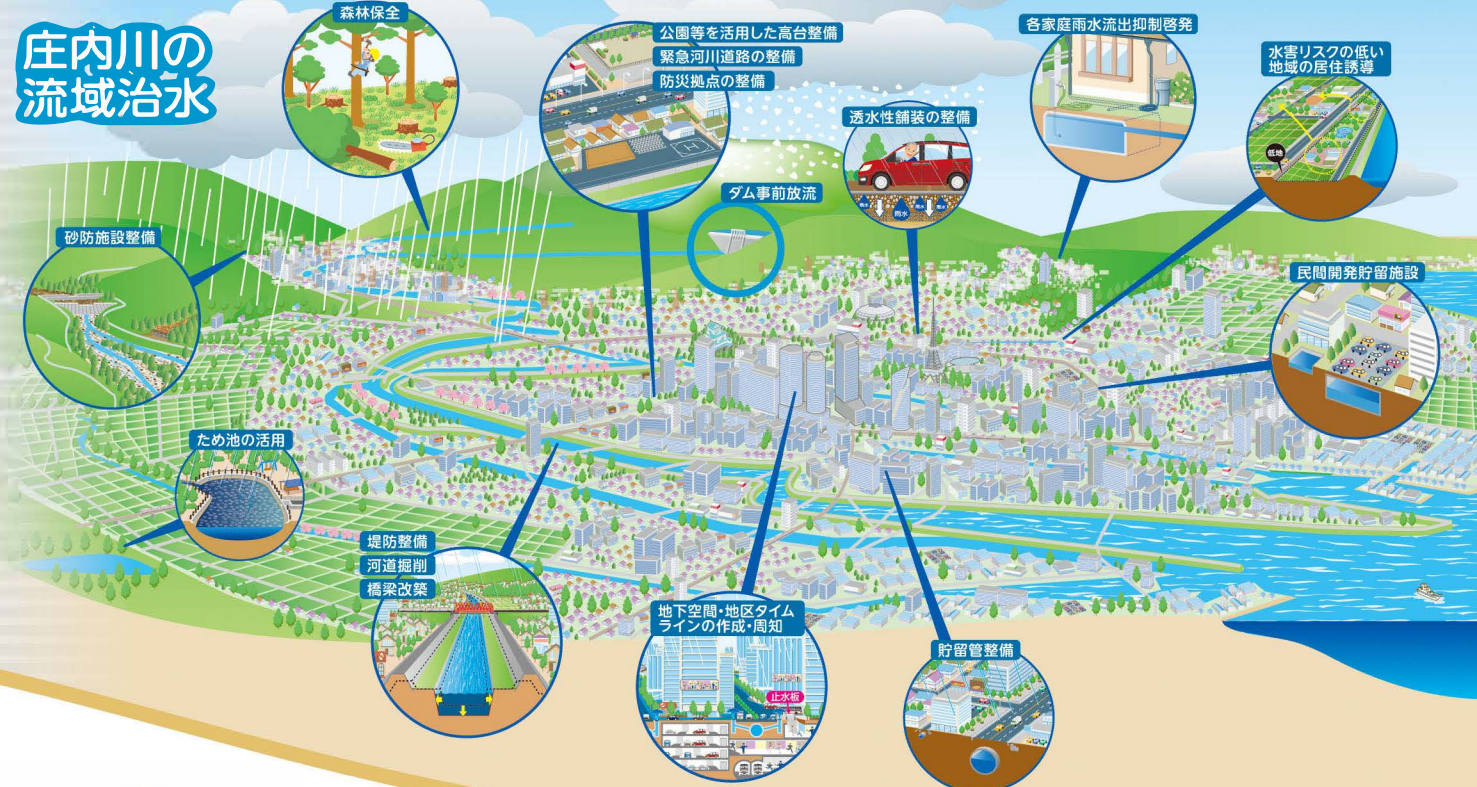
- ハザードマップの更新
- 危機管理型水位計の設置

扶桑町

みんなで“守る”まちづくりを目指し、雨水流出抑制と住民の防災意識向上を實踐し下流域への流出抑制していく。

主な取組

- 雨水流出抑制
- 浸水防止堤設置の支援



庄内川水系流域治水プロジェクト

- 気候変動による水災害リスクの増大に備えるためには、これまでの河川管理者等の取組に加えて、流域に関わる関係者が、主体的に取り組む社会を構築することが必要です。
- 「流域治水」の考え方に基づき、堤防整備、ダム建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、集水域から氾濫域にわたる流域のあらゆる関係者で水災害対策を推進します。
- 庄内川流域については全国に先駆けて「流域治水協議会」を設立し、令和3年3月25日にプロジェクトをとりまとめました。また、令和5年3月2日に開催した協議会では、流域治水プロジェクトに基づく取組状況について確認しました。

土岐川・庄内川流域治水協議会

構 成 員 : 流域市町(18市5町)、岐阜県(県土整備部、都市建築部、林政部)、愛知県(建設局、農林基盤局)、東海農政局、中部森林管理局、岐阜地方気象台、名古屋地方気象台、多治見砂防国道事務所、庄内川河川事務所

オブザーバー : 中部地方整備局 建政部・河川部、気象庁 名古屋地方気象台、日本下水道事業団 事業統括部、中部電力株式会社 事業創造本部、中日本高速道路株式会社 名古屋支社 名古屋保全・サービスセンター、名古屋高速道路公社 総務部、岐阜県 農政部、森林研究・整備機構 森林整備センター 中部整備局、東海旅客鉄道株式会社 建設工事事務部、環境省

◆第11回土岐川・庄内川流域治水協議会(令和5年3月2日開催)



協議会の様子



開会挨拶(代表構成員(春日井市長))

- 開会にあたり春日井市長より「行政区域を超えて、関係者が一同に会し、流域治水について考え・取り組むことが大切」と挨拶されました。
- 6市町の首長から、庄内川水系流域治水プロジェクトに基づく、今年度の取組状況について説明されました。
- 今年度実施した流域治水の自由研究については、出席された首長から有意義な取組である旨の発言があり、次年度以降も引き続き実施することを確認しました。また、自由研究に続く新たな取組として、流域治水カード作成等を行っていくことを確認しました。



自由研究 受賞作品の展示

【土岐川・庄内川流域治水協議会の流れ】

第1回協議会(令和2年7月6日開催)

- ・ 庄内川流域治水協議会の設立
- ・ 庄内川水系流域治水プロジェクト【素案】の提示

第2回協議会(令和2年9月14日開催)

- ・ 庄内川流域治水プロジェクト【中間とりまとめ】(案)の提示
- ・ 指定区間を含めた本会議の拡充

第3回協議会(令和2年10月13日開催)

- ・ リーディング地区での対策紹介
- ・ 庄内川流域で行う流域治水の全体像の共有・検討
- ・ 全体とりまとめイメージ及び今後の進め方確認

第4回協議会(令和2年12月14日開催)

- ・ 各自治体の課題の抽出・検討状況報告
- ・ オブザーバーの位置付け明記(新規参画含む)

第5回協議会(令和3年3月25日開催)

- ・ 「**庄内川水系流域治水プロジェクト**」とりまとめ

第6回協議会(令和3年7月2日開催)

- ・ 防災まちづくりに関する取組報告
- ・ グリーンインフラの観点の追加確認
- ・ ロゴマーク作成、シンポジウム開催の決定

第7回協議会(令和3年10月21日開催)

- ・ 新規参画構成員(名古屋・岐阜地方気象台)・オブザーバー(JR東海、環境省)の取組の共有

シンポジウム(令和3年11月20日開催)

- ・ 流域治水MOVIE上映、基調講演、パネルディスカッション、ロゴマーク決定

第8回協議会(令和4年1月31日開催)

- ・ ロゴマーク使用規程・使用ガイドラインの策定

第9回協議会(令和4年3月3日開催)

- ・ グリーンインフラの取組を追加、R3実施状況フォローアップ
- ・ 流域治水プロジェクトに基づく取組の「見える化」

第10回協議会(令和4年6月23日開催)

- ・ 自由研究の募集についての確認 等

第11回協議会(令和5年3月2日開催)

- ・ 土岐川・庄内川流域治水の自由研究の報告
- ・ R4実施状況フォローアップ

庄内川流域治水協議会（第1回 開催概要）

- 令和2年7月6日、庄内川流域の関係自治体が一堂に会し、庄内川流域治水協議会を設置・開催。
- 気候変動による水害の頻発化、激甚化の備えとして、庄内川流域のあらゆる関係者が協働し、流域治水対策に取り組んでいくことを確認。
- 今年度末までに、流域内の各自治体、国が行う流域治水対策を「庄内川流域治水プロジェクト」にとりまとめて公表し、対策を推進。
- 流域治水対策の検討にあたっては、名古屋市、多治見市からリーディング的に実施していく提案があり合意。

日 時：令和2年7月6日（月）午後
場 所：ウィルあいち 3階大会議室
出席者：清須市長、あま市長、大治町長
他沿川市町関係者（9市1町）
岐阜県、愛知県
国土交通省庄内川河川事務所
約60名



ながた すみお
永田純夫 清須市長



むらかみ こうじ
村上浩司 あま市長



むらかみ まさお
村上昌生 大治町長



協議会の様子

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、マスク着用、消毒、検温等を徹底して開催。

自治体代表挨拶（清須市長）

- ・庄内川は、東海豪雨20年という節目を迎え、全国に先駆けて、庄内川で「流域治水への転換」を図っていくための協議会が設置されることは大変心強い。
- ・流域の関係者皆様が一丸となって治水対策に取り組んでいきたい。

協議会で出された意見等

- ・これまでの取り組み実績等を活かし、リーディング地区として更なる検討を進めていく。（名古屋市、多治見市）
- ・本川だけでなく、支川も含めた流域全体での取り組みが重要。（瀬戸市）



庄内川河川事務所
西田所長挨拶

- ・河川管理者のみの治水だけではなく、流域全体での治水が必要不可欠。
- ・流域治水への転換が必須。

庄内川流域治水協議会(第2回 開催概要)

- 令和2年9月14日、第2回庄内川流域治水協議会を書面にて開催。
- 9市3町および国土交通省 多治見砂防事務所が構成員として新たに参加。
- 協議会では、頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた検討の必要性に関する意見等が出された。
- 今般、河川・流域における対策およびソフト対策について、あらゆる関係者による検討状況を9月25日時点でとりまとめ。
- 引き続き、流域対策メニュー等の具体化に向けて、さらに議論を深めていくことを確認。

日時：令和2年9月14日(月)
(書面開催)
構成員：流域市町(18市4町)、
岐阜県、愛知県、
多治見砂防国道事務所、
庄内川河川事務所

庄内川流域治水プロジェクト【素案】からの変更点

1. 新川圏域、堀川圏域、庄内川上流圏域、土岐川圏域の事業(河川における対策)の追加。
2. 雨水排水網の整備・増強等下水道事業を追加。
3. 砂防施設の整備等の土砂災害対策を追加。
4. 庄内川水系としての流域における対策、ソフト対策の概要を記載。
5. 流域における対策に「安全なまちづくり」に向けた取組の検討を追加。
(協議会での意見を踏まえ追加)

協議会での主な意見と対応

【中間とりまとめ(案)について】

意見：流域における対策として、頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組を検討していく旨を示すべき。

対応：流域における対策の方向性に関わる内容であるため、追記。

意見：流域治水プロジェクトに示す浸水想定範囲を想定最大規模で示すべき。

対応：他水系との横並びから浸水想定範囲を整備計画規模としている。年度末のプロジェクト策定に向けた参考として活用。

意見：各事象に即したタイムラインの明確化と周知が必要。

対応：年度末のプロジェクト策定に向けた、検討を進める上での参考として活用。

【その他】

流域全体の取組内容等の広く一般の方にもわかりやすい打ち出し方についても意見が出された。

庄内川流域治水協議会(第3回 開催概要)

- 令和2年10月13日、庄内川流域の関係自治体が一堂に会し、第3回庄内川流域治水協議会を開催。
- リーディング地区の名古屋市および多治見市より、本プロジェクトに対する対策を共有。
- あらゆる関係者から、流域治水対策に対し、全面的に協力・支援していくことを表明。
- 年度内の流域治水プロジェクト策定を目指し、今後の全体とりまとめイメージと進め方について確認。

日時：令和2年10月13日(火) 14:00~15:00
 場所：TKPガーデンシティPREMIUM名駅西口 2階会議室
 出席者：多治見市長、清須市長、他流域市町関係者(17市4町)
 岐阜県、愛知県、国土交通省多治見砂防国道事務所
 国土交通省庄内川河川事務所、
 オブザーバー(東海農政局、中部地方整備局 建政部・河川部、
 名古屋地方気象台、地方共同法人日本下水道事業団)

自治体代表挨拶

- ・ 県境という考えを捨て、それぞれの市町が河川を大切にしてい
くことが必要不可欠。流域住民の安全な暮らしのために、本協
議会を素晴らしいものにしていきたい。(多治見市)
- ・ 圏域市町の協議会出席は心強い。近年の気候変動を踏まえると、
東海豪雨級の災害はまた起こる可能性が十分にあり、流域市町
が一丸となって備えていくことが大切。(清須市)

リーディング地区による対策内容の共有



名古屋市代理
 (緑政土木局 西尾河川部長)
 『新しい時代にふさわしい豊かな未来を創る!世界に冠たる「NAGOYA」へ向けて、あらゆる関係者と協働し、県道枇杷島橋改築や、防災まちづくりの検討等の流域における対策、地下空間タイムラインの活用等のソフト対策を行っていくことを提示。(名古屋市)』



ふるかわ まさのり
古川雅典 多治見市長
 中流域の役割として、下流に位置する市町への流出負担軽減のために『オール多治見』による雨水流出抑制と市民の防災意識向上の実践や、安全なまちづくりに向けた更なる検討等を行っていくことを提示。(多治見市)

協議会で出された意見等

災害に強いまちづくりについては、1市では限界があるため、流域の市町が一体となって浸水被害の軽減、防止に取り組むことが大切。
ながた すみお
永田純夫 清須市長
 (清須市)

流域治水にかかる総合的・横断的な予算面、政策面での積極的な支援が必要。
 (春日井市)

農業用のため池は一定程度の貯留施設としての効果が考えられるが、あらゆる面での課題を解決していくことが必要。
 (瀬戸市)

支援体制の充実

- ・ オブザーバーより、安全なまちづくりや農業施設の活用等における事例や支援制度について紹介。
- ・ 今後の流域治水に対し、相談窓口となり、全面的にバックアップしていく旨を表明。



協議会の様子

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、座席間にはアクリル板を設置。マスク着用、消毒、検温等を徹底。

庄内川流域治水協議会(第4回 開催概要)



- 岐阜県 林政部長、愛知県 農林基盤局長、林野庁 中部森林管理局 名古屋事務所長が、構成員として新たに参加。
- 中部電力株式会社 事業創造本部、中日本高速道路株式会社 名古屋支社 名古屋保全・サービスセンター、名古屋高速道路公社 総務部、岐阜県 農政部が、オブザーバーとして新たに参加となり、あらゆる関係者との繋がりがさらに充実。
- 今後構成機関で実施予定の取組、流域治水プロジェクトを検討するうえでの課題について整理。

日時 : 令和2年12月14日(月) (書面開催)
構成員 : 流域市町(18市4町)、岐阜県(県土整備部、都市建築部、**林政部**)、愛知県(建設局、**農林基盤局**)、**林野庁**、多治見砂防国道事務所、庄内川河川事務所
オブザーバー : 東海農政局 農村振興部、中部地方整備局 建政部・河川部、気象庁 名古屋地方气象台、日本下水道事業団 事業統括部、**中部電力株式会社 事業創造本部、中日本高速道路株式会社 名古屋支社 名古屋保全・サービスセンター、名古屋高速道路公社 総務部、岐阜県 農政部**

※朱書下線 : 第4回協議会より新規参加

【今後構成員で実施予定の取組(12月25日時点)】

【河川における対策】

- ・堤防整備、河道掘削、橋梁改築 等

【流域における対策】

- ・流出抑制対策
(貯留管等の整備、**民間開発による貯留施設設置指導、雨水貯留施設設置補助金交付** 等)
- ・土砂災害対策
(砂防施設の整備、**森林保全** 等)
- ・内水被害軽減対策
(雨水排水網の新設・増強、ポンプ場の新設・増強等)
- ・頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組を検討

【ソフト対策】

- ・被害軽減対策
(避難場所や経路に関する情報の周知、住民の防災意識向上のための取組、**広域避難計画の策定、タイムラインの作成・周知、効率的なポンプ運転調整ルールの検討、水位周知下水道の指定・運用、要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進** 等)
- ・ソフト対策のための整備
(危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設 等)

【流域治水プロジェクトを検討するうえでの課題(12月25日時点)】

【河川における対策】

- ・普通河川の整備に関する支援制度はあるが、継続的(長期的)に事業を実施する必要があるため、対象となる支援制度の恒久化が必要。
- ・河川事業は、下流から整備を進めていくことや、上下流、本支川バランスを考慮していかなければならないため、上流にあたる自治体は、河川整備の早期実施が困難。

【流域における対策】

- ・ため池を貯留施設として有効活用するにあたって、様々な課題解決(施設管理者不足等のソフト面)を支援するための制度が必要。
- ・小規模な開発行為に対して、流出抑制指導の促進が必要。
- ・土砂災害対策の重要性を、住民にも分かりやすく理解してもらえる取組が必要。
- ・内水被害軽減策について、膨大な対策費用による事業の長期化や、維持費も含め、ポンプ場などの持続可能な維持管理に関する課題についての検討が必要。
- ・安全なまちづくりについて、新規で着手するような地域なら、まだハードルが低いが、既存市街地での対策は難しい部分があるため、長期的な目線での対応が必要。

【ソフト対策】

- ・水位情報等のリアルタイム情報や、避難場所などの情報の住民への迅速な周知や、防災教育の推進が必要。
- ・最大想定規模は、計画規模よりも浸水範囲が拡大するため、市民に対するQ&A等説明用資料が必要。
- ・民間施設を活用した避難場所の確保など、官民協力体制の誘導に向け、提供先施設の整備・改修等への助成制度創設が必要。

【その他】

- ・流域治水プロジェクトはSDGs(持続可能な開発目標)の趣旨と親和性が高いことから、SDGsとの関連付けを示していくべき。
- ・流域治水プロジェクトの対策を円滑に進めていくには、減災協議会や河川整備計画と同様、流域治水プロジェクトを法的に位置付けるとともに、支援施策の充実が必要。

庄内川流域治水協議会(第5回 開催概要)

- 令和3年3月25日、第5回庄内川流域治水協議会を開催し、庄内川水系流域治水プロジェクトをとりまとめた。
- 本プロジェクトは、枇杷島地区における3橋架替等の対策に加え、水害リスクの低い地域への居住誘導の推進、公園等を活用した高台の整備、地下空間・地区タイムラインの作成・周知等をあらゆる関係者で行っていくことを確認した。
- 10市町の首長より、本プロジェクトに対する各市町の流域治水対策について説明した。
- これまで本協議会をリーディング地区として牽引してきた多治見市長、名古屋市長より構成員の代表として、流域治水を進める力強い発言があった。

日時：令和3年3月25日(木) 14:00~15:00

場所：ホテルメルパルク名古屋

構成員

・18市5町

- (多治見市長、恵那市長、土岐市長、名古屋市長、犬山市長、稲沢市長、岩倉市長、清須市長、扶桑町長、大治町長、他流域市町首長)
- ・岐阜県 県土整備部・都市建設部・林政部、愛知県 建設局・農林基盤局
- ・東海農政局、中部森林管理局、多治見砂防国道事務所、庄内川河川事務所

オブザーバー(9機関)

中部地方整備局 建政部・河川部、気象庁名古屋地方気象台、地方共同法人 日本下水道事業団 事業統括本部、中部電力(株) 事業創造本部、中日本高速道路(株)名古屋支社 名古屋保全・サービスセンター、名古屋高速道路公社 総務部、岐阜県農政部、国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター中部整備局

出席者：41機関



代表自治体

多治見市長



上流部・中流部・下流部しっかり連携して取り組んでいきたい。

名古屋市長



土岐川・庄内川を守ることは日本を守ることであり、総合力で対策していかなければいけない。

中部地方整備局長



各市町より直接ご説明いただいたプロジェクトについて、しっかり進めていかなくてはならない。名古屋都市圏が止まると日本・世界が止まることを踏まえ、中部地方整備局としては、課題を共有し、皆様と解決していきたい。さらに、課題解決のための仕組み等も徐々に整えているところである。本プロジェクトにご協力いただき感謝申し上げます。事務所に筆頭に今後更に頑張っていきたい。

各市町が流域治水対策を説明



協議会の様子

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、座席間にはアクリル板を設置。マスク着用、消毒、検温等を徹底。

庄内川流域治水協議会(第6回 開催概要)

- 令和3年7月2日、庄内川流域のあらゆる関係者が一堂に会し、第6回庄内川流域治水協議会を開催。
- 上・中・下流の一体感をより強めるため、協議会名称を「**土岐川・庄内川流域治水協議会**」に変更することを確認。
- 流域治水プロジェクトにもとづく防災まちづくりの取組状況を共有。
- グリーンインフラの必要性や取組状況が共有され、流域治水プロジェクトに**グリーンインフラの観点を追加**することを確認。
- また、**地域住民の流域治水への理解や参画**を促すため、一般公募によるロゴマークの作成および今秋シンポジウムの開催を決定。

日時：令和3年7月2日(金) 10:00~11:00
場所：WEB開催(公開：庄内川河川事務所)
構成員

- ・18市5町
(多治見市長、瀬戸市長、犬山市長、稲沢市長、清須市長、あま市長、他流域市町関係者)
 - ・岐阜県 県土整備部・都市建築部・林政部、愛知県 建設局・農林基盤局
 - ・東海農政局、中部森林管理局、多治見砂防国道事務所、庄内川河川事務所
- オブザーバー(8機関)
- 中部地方整備局 建設部・河川部、気象庁名古屋地方気象台、地方共同法人 日本下水道事業団 東海総合事務所、中部電力(株) 事業創造本部、名古屋高速道路公社 総務部、岐阜県農政部、国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター中部整備局
- 出席者：40機関



協議会(公開会場)の様子

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、WEB方式で開催。

構成員による取組状況報告

■防災まちづくりに関する取組報告



伊藤保徳 瀬戸市長

水災害リスクを踏まえた土地区画整理事業の検討について



永田純夫 清須市長

水まちモデル都市として、水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討について



名古屋市長代理
(住宅都市局 渡辺都市計画部長)

水災害リスクを踏まえた立地適正化計画の見直しについて

■グリーンインフラに関する取組報告



古川雅典 多治見市長

多治見市は日常的にまちの真ん中を流れる土岐川に敬意を表しようとかわまちづくりの整備を進めている。国交省の提案するグリーンインフラについては十数年前から取り組んでいる。



山田拓郎 犬山市長

水と親しむことはまちづくりの重要な観点。河川だけでなくため池空間も含めて、グリーンインフラの取組はしっかり進めていきたい。

ロゴマークの作成・シンポジウム開催の決定

■名古屋市からの提案

- 流域治水の取組を推進していくためには、地域住民の方々の理解を得ることが非常に重要だと考えている。
- 地域住民の流域治水への理解や参画を促すためにも、一般公募によるロゴマークの作成および名古屋市を会場にシンポジウム開催について提案する。

■参加自治体からの賛同の声



加藤錠司郎 稲沢市長

市民の水害に対する意識の向上が重要であると考えている。



村上浩司 あま市長

我々の協議会と住民双方の協力が必要であると考えている。

庄内川流域治水協議会(第7回 開催概要)



- 令和3年10月21日、第7回土岐川・庄内川流域治水協議会を書面にて開催。
- 新たに岐阜地方气象台、名古屋地方气象台が構成員として参画、東海旅客鉄道株式会社 建設工事事部、環境省がオブザーバーとして参画。
- 新規参画構成員・オブザーバーの取組が共有され、あらゆる関係者による流域治水推進体制が拡充された。

日時：令和3年10月21日(木) 書面開催
 構成員：流域市町(18市5町)、岐阜県 県土整備部・都市建築部・林政部、愛知県 建設局・農林基盤局、東海農政局、中部森林管理局、**岐阜地方气象台、名古屋地方气象台**、多治見砂防国道事務所、庄内川河川事務所
 オブザーバー：中部地方整備局 建設部・河川部、地方共同法人 日本下水道事業団 東海総合事務所、中部電力(株) 事業創造本部、中日本高速道路(株) 名古屋支社 名古屋保全・サービスセンター、名古屋高速道路公社 総務部、岐阜県 農政部、国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター 中部整備局、**東海旅客鉄道株式会社 建設工事事部、環境省**
 ※朱書下線：第7回協議会より新規参画(名古屋地方气象台はオブザーバーより変更)

■ 規約(10月28日改訂)

土岐川・庄内川流域治水協議会

機関	役職	氏名
多治見市	市長	宮川 純典
瑞浪市	市長	水野 光二
美濃市	市長	小坂 善徳
土岐市	市長	加藤 達彦
名古屋市長	市長	河村 たかし
一宮市	市長	中野 正徳
瀬戸市	市長	伊藤 貞徳
春日井市	市長	伊藤 大
犬山市	市長	山田 純徳
江南市	市長	藤田 和徳
小牧市	市長	山下 克守徳
稲沢市	市長	加藤 健一郎
稲垣市	市長	石 和宏
岐阜市長	市長	久保田 勝徳
津市	市長	桑原 純夫
北名古屋市	市長	長瀬 隆
あま市	市長	村上 清生
長久手市	市長	鈴木 一平
豊山町	町長	鈴木 邦典
大口町	町長	鈴木 邦博
大治町	町長	稲葉 宗
笠置町	町長	村上 清生
岐阜県	県長	稲波 淳一
岐阜県	県土整備部長	稲波 淳一
岐阜県	都市政策部長	大野 真貴
岐阜県	建設部長	藤田 和徳
岐阜県	農林部長	桑原 純夫
愛知県	建設局長	藤田 和徳
愛知県	農林部長	桑原 純夫
東海農政局	農村部長	鈴木 邦典
東海農政局	治水部長	鈴木 邦典
中部森林管理局	名古屋事務所長	鈴木 邦典
気象庁	岐阜地方気象台長	藤田 和徳
気象庁	名古屋地方気象台長	中野 正徳
国土交通省	多治見砂防国道事務所長	加藤 達彦
国土交通省	庄内川河川事務所長	藤田 和徳

オブザーバー
 国土交通省 中部地方整備局 建設部・河川部、地方共同法人 日本下水道事業団 東海総合事務所、
 中部電力株式会社 事業創造本部、中日本高速道路株式会社 名古屋支社 名古屋保全・サービスセンター、
 名古屋高速道路公社 総務部、岐阜県 農政部、国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター
 中部整備局、東海旅客鉄道株式会社 建設工事事部、環境省

資料URL:
https://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/bousai/ryuiki_chisui_kyougikai/pdf/kiyaku.pdf

■ 岐阜地方气象台・名古屋地方气象台の取組

【名古屋・岐阜地方气象台】流域治水への取組

- 気象に関する予報精度の向上への取組として、観測降水等の予測精度の向上や最大危険度予測(土砂災害・洪水)等 洪水の被害を定める。
- 地域における気象防災関係の強化の取組として、近年頻発する自然災害を踏まえ、気象庁の情報が防災対応判断に活かされるよう、市町等で「情報・活用」したための支援を行う。
- 「情報・活用」の連携強化の取組
- 「気象庁の予報精度の向上」への取組として、観測降水等の予測精度の向上や最大危険度予測(土砂災害・洪水)等 洪水の被害を定める。
- 「気象庁の予報精度の向上」への取組として、観測降水等の予測精度の向上や最大危険度予測(土砂災害・洪水)等 洪水の被害を定める。
- 「気象庁の予報精度の向上」への取組として、観測降水等の予測精度の向上や最大危険度予測(土砂災害・洪水)等 洪水の被害を定める。

【名古屋・岐阜地方气象台】気象に関する予報精度の向上への取組について

- 気象に関する予報精度の向上への取組として、観測降水等の予測精度の向上や最大危険度予測(土砂災害・洪水)等 洪水の被害を定める。
- 「気象庁の予報精度の向上」への取組として、観測降水等の予測精度の向上や最大危険度予測(土砂災害・洪水)等 洪水の被害を定める。
- 「気象庁の予報精度の向上」への取組として、観測降水等の予測精度の向上や最大危険度予測(土砂災害・洪水)等 洪水の被害を定める。

資料URL:
https://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/bousai/ryuiki_chisui_kyougikai/pdf/07/004_S2-1Kisyocyo.pdf

■ 東海旅客鉄道株式会社 建設工事事部の取組

(国土交通省中部地方整備局・愛知県・名古屋市・清須市と協同して実施)

枇杷島地区狭窄部対策について

- 枇杷島地区は、庄内川の段差であるとともに、東海旅客鉄道を始め、桁下が低く、橋脚の間隔がせまい構造が顕著であり、洪水の嵩上げに大きな課題を呈していることから、庄内川特定構造物改善事業(「橋脚改善(引上げ)」及び「橋脚の強化」)を実施しています。
- 令和2年度に橋脚を除く左岸側の堤防整備が完成し、令和3年度より「枇杷島架橋(名古屋市施工)」に着手する予定であり、引き続き事業を推進していきます。(令和2年度より仮設の製作に着手し、工事の進捗を確保)
- 令和3年度に架橋が完成し、庄内川流域治水協議会(本ページ)として参画し、関係者の異なる推進を図ります。

資料URL:
https://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/bousai/ryuiki_chisui_kyougikai/pdf/07/005_S2-2toikairyakutetudo.pdf

■ 環境省の取組

自然生態系を基盤とする防災減災推進について

～庄内川流域を対象に生態系機能ポテンシャルマップの作成等～

- ・かつての氾濫原や溜池等の再生による流域全体での治水機能等の強化に向けた生態系機能ポテンシャルマップの作成、生態系機能ポテンシャルマップについては、今年度、庄内川流域を対象に作成予定
- ・地域におけるポテンシャルマップの実現に向けた方策の検討、手引きの取組み等。

事業イメージ

- ①令和16年度日本台風豪雨を受けた地域、Eco-DRR(災害)に関心のある地域(中・小規模事業者)
 - 生態系機能ポテンシャルマップの作成
 - ハード対策等 事業者向け
- ②生態系機能ポテンシャルマップの作成
 - 各種情報の収集(地形、気象、地質、土地利用、人口、産業)
 - 各種情報の整理・分析
 - 各種情報の可視化(ポテンシャルマップ)
 - 各種情報の活用(防災、減災)
- ③Eco-DRR(災害)の抽出
 - 土地利用計画との連携
 - 土地利用計画との連携
- ④多様な事業者(民間、自治体)との連携
 - 多様な事業者(民間、自治体)との連携
 - 多様な事業者(民間、自治体)との連携
- ⑤生態系機能ポテンシャルマップの活用
 - 生態系機能ポテンシャルマップの活用
 - 生態系機能ポテンシャルマップの活用

資料URL:
https://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/bousai/ryuiki_chisui_kyougikai/pdf/07/006_S2-3kanisyocyo.pdf

庄内川流域治水協議会（第8回 開催概要）

- 令和4年1月31日、第8回土岐川・庄内川流域治水協議会を書面にて開催。
- 一般投票により決定した土岐川・庄内川流域治水ロゴマークの活用方針が事務局より示され、ロゴマークの活用を通じて、土岐川・庄内川での流域治水を広く周知・PRし、流域に関わるあらゆる関係者（国・県・市町・企業・住民等）が主体的に流域治水に取り組む社会の構築を進めることを確認し、使用規程（案）、使用ガイドライン（案）が了承された。
- 今後の予定として、第9回協議会にて、流域治水プロジェクトの実施状況フォローアップ、グリーンインフラの取り組みを加速化、流域治水プロジェクトに基づく取組の「見える化」を実施することを確認した。

日 時：令和4年1月31日（月）書面開催
 構成員：流域市町（18市5町）、岐阜県 県土整備部・都市建築部・林政部、愛知県 建設局・農林基盤局、東海農政局、中部森林管理局、岐阜地方気象台、名古屋地方気象台、多治見砂防国道事務所、庄内川河川事務所
 オブザーバー：中部地方整備局 建政部・河川部、地方共同法人 日本下水道事業団 東海総合事務所、中部電力（株）事業創造本部、中日本高速道路（株）名古屋支社 名古屋保全・サービスセンター、名古屋高速道路公社 総務部、岐阜県 農政部、国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター 中部整備局、東海旅客鉄道株式会社 建設工事事務部、環境省

◆ロゴマーク 使用規程・使用ガイドライン

土岐川・庄内川流域治水ロゴマーク 使用規程

令和4年2月7日
土岐川・庄内川流域治水協議会

第1条 この規程は、土岐川・庄内川流域治水協議会（以下「当協議会」という。）が作成した土岐川・庄内川流域治水ロゴマークを使用する場合の取り扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。

第2条 ロゴマークに関する一切の権利は、当協議会に帰属する。

第3条 ロゴマークのデザインは、原則として、下記に示すものを基本として、形の変更や指定の色以外での使用は不可とする。

【カラー】



A C50 M0 Y100 K0
 B C75 M0 Y100 K0
 C C80 M10 Y45 K0
 D C70 M15 Y0 K0
 E C100 M0 Y0 K0 50%透明

【グレースケール】



A C38 M31 Y29 K0
 B C55 M45 Y43 K0
 C C57 M48 Y45 K0
 D C50 M41 Y39 K0
 E C57 M48 Y45 K0 50%透明

土岐川・庄内川流域治水ロゴマーク
使用ガイドライン

令和4年2月7日
土岐川・庄内川流域治水協議会



詳細はこちらに掲載



https://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/bousai/ryuuiqi_chisui_kyougikai/index.html

◆流域治水プロジェクトに基づく取組の「見える化」

令和3年3月30日 全国109の全ての一級水系で「流域治水プロジェクト」を公表

令和4年3月末
 令和3年度内の一級水系の各プロジェクトの取組を「見える化」

流域治水の根幹を支える
河川改修事業やダム事業の加速化
事業効果・進捗の見える化

全国109の全ての一級水系で、外水氾濫※を対象とした河川改修事業等による効果を公表

※国直轄区間における河川事業・ダム事業のみを対象 ※現況河道及び当面整備(概ね5か年)後のみ

降雨確率(10年に1度、100年に1度など)に応じた浸水範囲を重ねることにより現在の浸水リスクを示すとともに、戦後最大洪水等に対応した河川整備の進捗状況に応じた浸水範囲の変化を可視化し、将来のリスクも提示することにより、河川整備の効果を「見える化」し、水災害リスクを踏まえた防災まちづくりを推進

※令和4年度以降も引き続き内水を考慮するなど、水害リスク情報を追加・充実

あらゆる関係者の協働により、ハード・ソフト対策を推進


あらゆる関係者の協働による
ハード・ソフト一体となった事前防災対策の推進

指標を活用した流域治水プロジェクトの更なる推進

全国109の全ての一級水系でハード・ソフト各々の主要な取組の進捗を公表

流域治水のもと、あらゆる関係者の協働による事前防災対策の取組状況を「見える化」することにより地域が抱える諸課題に対し、先行事例を踏まえての更なる検討の促進や対策の充実を図る。

～流域治水プロジェクトに関する主な指標～



戦後最大洪水等に対応した河川の整備
農地・農業用施設の活用
流出抑制対策の実施
山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策

正地適正化計画における防災対策の作成
水害リスク情報の提供
高齢者等避難の実効性の確保

整備効果の見える化のイメージ

※1 河川名称は4桁の略号 ※2 河川名称・内水は河川別記号（集水域内は河川別記号の裏書き）

※現時点の案であり、今後変更となる可能性がある。

庄内川流域治水協議会(第9回 開催概要)

- 令和4年3月3日、庄内川流域のあらゆる関係者により、第9回土岐川・庄内川流域治水協議会を開催。
- 7市町の首長から、昨年度末にとりまとめた庄内川水系流域治水プロジェクトに基づく今年度の取組状況やグリーンインフラの取組について説明。また、オブザーバー等から、グリーンインフラに関わる取組や支援事業について共有。
- 流域治水の取組を推進するため、グリーンインフラに加え、事業効果や具体的な取組の見える化により、本プロジェクトの更なる充実を図ることを確認。

日時：令和4年3月3日(木) 15:30~16:30
場所：WEB開催(公開：庄内川河川事務所)

構成員

- ・18市5町
(多治見市長、恵那市長、土岐市長、犬山市長、稲沢市長、清須市長、扶桑町長、他流域市町関係者)
- ・岐阜県 県土整備部・都市建設部・林政部、愛知県 建設局・農林基盤局
- ・東海農政局、中部森林管理局、岐阜地方気象台、名古屋地方気象台、多治見砂防国道事務所、庄内川河川事務所

オブザーバー

- 中部地方整備局建設部・河川部、地方共同法人 日本下水道事業団 東海総合事務所、中部電力(株) 事業創造本部、中日本高速道路(株) 名古屋支社名古屋保全・サービスセンター、名古屋高速道路公社 総務部、岐阜県 農政部、東海旅客鉄道株式会社 建設工事事務部、環境省

出席者：43機関

構成員による取組状況報告



協議会(公開会場)の様子

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、WEB方式で開催

支援事業等の情報共有

岐阜県林政部

○林業就業相談、セミナー、相談会などを開催し、森林保全に関する人材確保に取組んでいる。

環境省

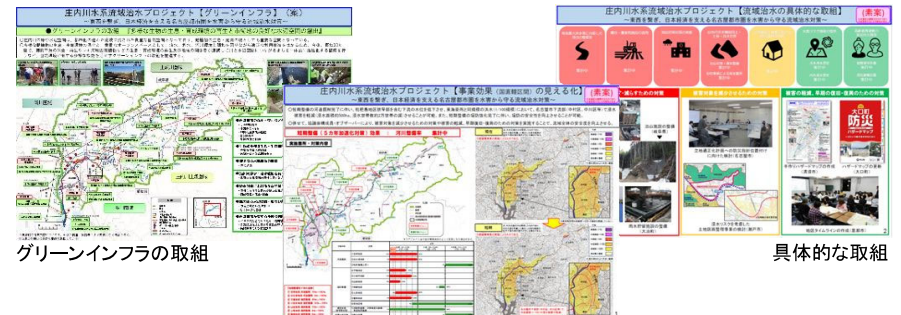
○生態系の保全・再生によって防災減災機能が期待できる取組の推進に向け、庄内川流域における生態系保全・再生ポテンシャルマップを作成した。

中部地方整備局建設部

○令和3年度に「グリーンインフラ活用型都市構築支援事業」に「防災・減災推進型」を創設し、地域のグリーンインフラ整備支援を拡充している。

庄内川水系流域治水プロジェクトの充実

- 本プロジェクトに、グリーンインフラの取組を追加、事業効果・具体的な取組の見える化していくことが確認された。



庄内川流域治水協議会(第10回 開催概要)

- 令和4年6月23日(木)、第10回土岐川・庄内川流域治水協議会を書面にて開催。
- 流域治水対策の取組状況として、ため池の有効活用(多治見市)、立地適正化計画への防災指針の位置付け(名古屋市)、水害リスク情報の充実(庄内川河川事務所)が共有された。また、東海農政局より、「田んぼダム」の手引きが共有された。
- 若い世代が流域治水について考え、協議会へ参加する機会を作り出し、流域治水に関する理解・親しみを持ってもらうことを目的として、自由研究の募集が提案され、構成員・オブザーバーの賛同のもと、募集が決定。
- 今後の予定として、第11回協議会にて、土岐川・庄内川流域治水の自由研究の表彰式を実施することを確認した。

◆構成員の取組状況(多治見市、名古屋市)

ため池の有効活用(多治見市)



○多治見市には、市内に35の農業用ため池があり、農業用として利用されているため池を、大雨の時に、雨水をためる防災用としても活用できるよう、協定書の締結を視野に入れ、地元管理組合と調整しているところ。

○現状水位を常時下げておくのか、予報に備えて水位を下げるのか等、治水活用のための貯留量確保の方法について、現在検討中。

<流域におけるため池位置図>



総貯留量(m³): 352,000

※愛知県・岐阜県のため池データベースより作成

御大池(みのりがいけ)



総貯留量(m³): 352,000

立地適正化計画への防災指針の位置付け(名古屋市)



○名古屋市では立地適正化計画として定める「なごや集約連携型まちづくりプラン」への防災指針の位置付けに取り組んでいる。

○令和3年度には名古屋市都市計画審議会立地誘導部会を3回開催し、有識者と議論を進めている。

◆これまでの検討経緯

- 第1回名古屋市都市計画審議会立地誘導部会(令和3年6月4日)
- 【議題】
 - (1)なごや集約連携型まちづくりプランの概要と見直しの必要性について
 - (2)見直しの内容と進め方について
- 第2回名古屋市都市計画審議会立地誘導部会(令和3年10月29日)
- 【議題】
 - (1)都市機能及び居住誘導に関する見直しについて
- 第3回名古屋市都市計画審議会立地誘導部会(令和4年2月15日)
- 【議題】
 - (1)居住環境向上施設について
 - (2)低床利用土地の有効活用について
 - (3)開発・激甚化する災害への対応について

第2回名古屋市都市計画審議会立地誘導部会の様子

(今後の予定)

立地誘導部会において議論
名古屋市都市計画審議会からの答申
令和4年度
パブリックコメントの実施
改定内容の公表
令和5年度
改定後の立地適正化計画の運用開始

2

◆土岐川・庄内川流域治水の自由研究

ときがわ しょうないがわ りゅういきちゅうさいん
土岐川・庄内川 流域治水調査員
じゅうけんきゅうだいほしゅう
自由研究大募集

みちか りゅういきちゅうさい ほうこく もと
～身近な流域治水の報告を求む!～



このダムはどんな働きをしているの?

学校のグラウンドはどのくらい水がためられるの?

この川にはどんな生物がいるの?

この川の工事は何のためにやっているの?

川から水があふれたときどうやって逃げるの?

<応募期限>
令和4年9月30日(金) 必着

<主催> 土岐川・庄内川流域治水協議会

<お問い合わせ・提出先>
国土交通省 中部地方整備局 庄内川河川事務所 調査課
〒462-0052 愛知県名古屋市中区福地15-52
TEL: 052-914-6713 Mail: cbr-shonai00@mlit.go.jp



詳しくはこちら

詳細はこちらに掲載

https://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/bousai/ryuuiki_chisui_kyougikai/10shiryo.html

庄内川流域治水協議会(第11回 開催概要)

- 令和5年3月2日に全ての構成員の参加のもと、第11回土岐川・庄内川流域治水協議会を対面(WEB併用)で開催。
- 開会にあたり春日井市長より「行政区域を超えて、関係者が一同に会し、流域治水について考え・取り組むことが大切」と挨拶。
- 6市町の首長から、庄内川水系流域治水プロジェクトに基づく今年度の取組状況について説明。
- 今年度実施した流域治水の自由研究については、出席された首長から有意義な取組である旨の発言があり、次年度以降も引き続き実施することを確認。また、自由研究に続く新たな取組として、流域治水カード作成等を行っていくことを確認。

【協議会概要】

日時：令和5年3月2日(木) 14:00~14:45

場所：文化フォーラム春日井(会議室A・B) [WEB併用]

構成員：

・ 2県18市5町

(多治見市長、瑞浪市長、瀬戸市長、春日井市長、清須市長、扶桑町長ほか)

・ 東海農政局、中部森林管理局、岐阜地方気象台、名古屋地方気象台、多治見砂防国道事務所、庄内川河川事務所

オブザーバー：9機関

【主な確認内容】

- 今年度実施した流域治水の自由研究について事務局から報告を行い、出席された首長からの提案・賛同を受け、次年度以降も引き続き実施することを確認。
- 6市町の首長より、庄内川水系流域治水プロジェクトに基づく今年度の取組状況や今後の予定等について説明。
- 昨年12月に国交省・農水省がとりまとめた「流域治水施策集」について農水省より紹介され、今後の取組への活用を促した。
- 3月末に、流域治水の具体的な取組指標の数値や、中期・中長期整備後における多段階浸水想定図・水害リスクマップを公表予定であることを確認。



会場の様子



開会挨拶(代表構成員(春日井市長))

構成員による取組状況報告



上流部のかわまちづくり、地区タイムラインの作成等について



土岐川橋の大規模改修、農業用防災ダムの維持管理等について



水野川流域の住宅地の嵩上げ、グリーンインフラの整備等について



内水被害軽減対策事業、立地適正化計画の見直し等について



雨水幹線整備・ポンプ場の改築、防災センター整備等について



調節池・貯留施設の機能確保、地域防災リーダー養成講座等について

土岐川・庄内川流域治水シンポジウム 開催概要



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

土岐川・庄内川流域治水協議会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

- 令和3年11月20日、流域住民の流域治水に対する理解を深めるため、シンポジウムを開催(約150名が参加)しました。
- 基調講演では、**土岐川・庄内川の水害における気象的な特徴**、注意が必要となる危険な気圧配置などを紹介しました。
- パネルディスカッションでは、**事前募集した一般からの質問に答える**と共に、**行政で実施できるハード面と地域住民も含めたソフト面の両立が必要不可欠**であることや、**都市計画と防災計画は別物ではなく手を組んでいくことが大事**であること等の意見が出されました。
- 式典では、一般投票により決定した**土岐川・庄内川流域治水ロゴマーク**を発表しました。

- 日時：令和3年11月20日(土) 13:30～15:30
- 場所：今池ガスホール(名古屋市千種区)
- 主催：土岐川・庄内川流域治水協議会
- 協賛：(一社)中部地域づくり協会
- プログラム

オープニング

- ・土岐川・庄内川流域治水MOVIE
- ・挨拶 中田 英雄(名古屋市副市長)
- 堀田 治(国土交通省中部地方整備局長)

基調講演「近年の気象災害について」

- ・土井 邦裕(NHK名古屋放送局 気象予報士)

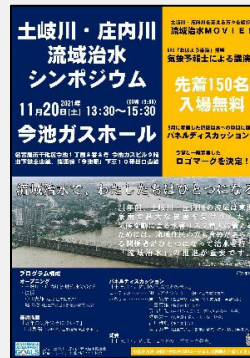
パネルディスカッション「土岐川・庄内川の流域治水の未来」

- ・コーディネーター…田中 逸人(NHK名古屋放送局 アナウンサー)
- ・パネリスト……岸田 晃彦(名古屋駅地区街づくり協議会 事務局長)
- 中田 英雄(名古屋市副市長)
- 長谷川 弘(庄内川・矢田川5学区水防連合会 会長)
- 秀島 栄三(名古屋工業大学大学院 教授)
- 古川 雅典(多治見市長)
- 蘆屋 秀幸(国土交通省中部地方整備局庄内川河川事務所長)

式典「土岐川・庄内川流域治水のロゴマーク発表」

■ その他参加者

- 清須市長(永田 純夫)、国会議員(熊田 裕通、古川 元久、丹羽 秀樹、安江 伸夫)、愛知県議会議員(森井 元志、福田 喜夫)、清須市議会議員(高橋 哲生、大塚 祥之、加藤 光則) (敬称略)



基調講演



土井邦裕
NHK名古屋放送局
気象予報士



パネルディスカッション



参加者からの声(アンケートより)

- 一般市民向けで理解しやすくよかったです。
- シンポジウムに参加して、流域治水のために沢山の方が様々な取り組みをされていることを知り、とても勉強になりました。一人として何ができるか考えて、行動につなげられたらと思っています。



ロビーでは土岐川・庄内川流域治水に関わるパネル展(東海豪雨から20年パネル等)を実施



みんなで作る土岐川・庄内川
土岐川・庄内川流域治水
ロゴマーク(最優秀賞)



土岐川・庄内川
流域治水

土岐川・庄内川流域治水MOVIE(庄内川河川事務所YouTubeチャンネルにて公開中)



土岐川・庄内川流域治水シンポジウム 開催概要



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

土岐川・庄内川流域治水協議会は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

基調講演 NHK名古屋放送局 気象予報士 土井 邦裕

「近年の気象災害について」

近年の水害

- 近年、毎年のように大きな災害が発生しています。
- 令和3年7月豪雨は、東海から関東南部を中心に記録的な大雨となり、静岡県熱海市で土石流が発生しました。
- この日は梅雨前線が西日本から東日本に停滞しており、同じような場所で雨が降り続いて、静岡県や関東の神奈川県箱根辺りでは平成7月1か月分の雨量の2倍近くが僅か4日で降るといった記録的な大雨になりました。



土井邦裕
NHK名古屋放送局
気象予報士

土岐川・庄内川の水害

- 土岐川・庄内川においても、平成23年9月の台風15号では、秋雨前線が東海付近にかかり、台風からの暖かく湿った空気が前線を刺激しました。
- こうなると東海地方は台風が接近する前から大雨になり、死者、行方不明者18名といった、大きな被害が起こりました。
- 守山区の志段味では庄内川などが越水し、住家への被害も多く出ました。
- 岐阜県の大治見市では、アンダーパスが浸水したり、大人の胸ぐらいまでの浸水被害も起きました。
- 平成12年の東海豪雨でも、秋雨前線が本州付近に停滞し、台風からの暖かく湿った空気が秋雨前線を刺激しました。
- このため、局地的な豪雨となり、愛知県内、岐阜県内、合わせて6万棟以上が浸水しました。



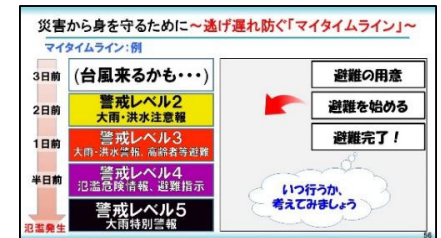
危険な天気図とは？

- 東海にとって大きな災害をもたらした現象から、大きく3つ、東海付近に梅雨前線や秋雨前線が停滞していること、本州の東から南東に高気圧がほとんど停滞していること、そして、西日本の南に台風や低気圧があり、暖かく湿った空気を大量にもたらすことが危険なパターンです。



災害から身を守るために

- では、こんな災害から身を守るために今後どのようなことを心がけなければいけないのか。
- 多くの防災情報が世の中にはあります。こういう情報をいざというときにどうやって手に入れればいいのかとならないように、**平常時に情報の入手先を確認することが大切です。私の経験上、最低でも3つ以上の情報の収集先を確保してください。**
- 例えば、テレビ、データ放送、ラジオ、防災無線、携帯のエリアメール、インターネットが使える方は川の防災情報や気象庁ホームページ、そして、NHKのニュース・防災アプリ、SNSや無線テレホンサービス等をご活用ください。
- また、逃げ遅れを防ぐ**マイタイムライン**をご紹介します。こちらは簡単に言うと避難の時間割です。
- 例えば災害が発生すると仮定して、ある家庭では危険度が上がる前に持病の薬を確認したり、注意報が出た段階でハザードマップを確認したり、こういう順を追ったものをあらかじめ決めておくことで、逃げ遅れを防ぎ避難を完了させることができます。
- こちらは各家庭、個人だけでなく、大きなコミュニティ、防災組織などでも活用することで大きな力を発揮するかと思います。



まとめ

- 土岐川・庄内川でも過去大きな水害が発生しました。そして、近年は大雨増加傾向です。今後も大雨の被害、記録的な雨が出ないとは限りません。危険な気圧配置に注意をしていただいて**早めに警戒を高めることが大切です。**そして、災害から命を守るために、防災情報の入手先3つ以上を確保してください。避難の時間割、マイタイムラインの作成も心がけてください。

土岐川・庄内川流域治水シンポジウム 開催概要



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

土岐川・庄内川流域治水協議会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

パネルディスカッション

「土岐川・庄内川の流域治水の未来」

コーディネーター・・・ 田中 逸人 (NHK名古屋放送局 アナウンサー)
 パネリスト・・・・・・・ 岸田 晃彦 (名古屋駅地区街づくり協議会 事務局長)
 中田 英雄 (名古屋市副市長)
 長谷川 弘 (庄内川・矢田川5学区水防連合会 会長)
 秀島 栄三 (名古屋工業大学大学院 教授)
 古川 雅典 (多治見市長)
 蘆屋 秀幸 (国土交通省中部地方整備局庄内川河川事務所長)



流域治水の取組とは

- 【蘆屋】
 - 今から21年前の平成12年9月東海豪雨以降、庄内川では国道1号の一色大橋の架け替えや洗堰のかさ上げ、庄内川本川の河道掘削等の対策を実施しました。
 - しかし、気候変動による水災害のリスクが増大している中、庄内川の安全度はまだまだ十分ではありません。
 - そこで、**昨年度、土岐川・庄内川流域では、国、県、流域の市町、民間企業の方々から構成される流域治水協議会を全国に先駆けて設立し、流域のあらゆる関係者が協働して水災害対策に取り組む体制が構築**されました。
- 【古川】
 - 多治見市は中流域にあります。我がまちだけを守るために下流に早く水を流したい、これが昔の考え方です。これでは流域治水になりません。できるだけゆっくり土岐川本川に吐き出していく。そのためにいろんな仕組みをつくりました。
 - 例えば、**運動場に一旦水をためる、地下に貯留槽を造る、農業ため池で一旦ためる。**
 - また、全国の中でもハード面の整備と共にタイムラインをしっかりと整備、活用**しています。
- 【中田】
 - 名古屋市における一番の課題は枇杷島の狭窄部を解消することです。**そこにはJRの東海道本線、東海道新幹線、県道枇杷島橋があり、流れにくい状況です。今年度からその中の県道枇杷島橋の架け替えを開始しました。このネックの解消に努めていきたいと考えております。
 - また、市街化されたことで、降った雨がすぐに川に流れていきます。当然、内水貯留が必要ということで、東海豪雨以来、貯留施設を積極的に市内に造っております。
 - 川に負担をかけず、内水をためて内水氾濫にも備える**ことで、多治見市さんから受けたバトンを引き継いでいきます。
- 【秀島】
 - 流域治水ということですが、どうも今まで川というものを1つの線として捉えることが強過ぎたのではないかと考えています。岸の手前と向こうで、手前はまち、向こうは川、そういう認識で来てしまった。**今まで都市計画と防災計画は別物という感じで来てしまったと。**
 - そうではなくて、地域、自治体同士で手を組んでいくことが大事だと思ふ次第です。**
 - また、今まで堤防や土木構造物で固めてきた治水を少し見直して、いわゆるグリーンインフラという展開も考えてはどうかと思っています。

民間企業、地域住民の皆様のご活動

- 【岸田】
 - 私たちが活動します名古屋駅周辺では、200年に1回発生するような降雨によって庄内川左岸が決壊した場合には、その3時間後に2m浸水するということが想定されています。
 - 風雨が強くなると利用者が増える地下施設においては、気象状況等の把握が非常に困難であり、浸水リスクは非常に高いです。
 - そこで、**風水害に備えた防災行動を検討するために2014年に検討会が立ち上げられ、庄内川決壊対応タイムライン検討案、また、名古屋地区地下空間タイムライン共通行動版案が策定**されました。
 - 地下街管理者の皆様は各事業者独自の基準によって防災行動を実施されていましたが、この策定におきまして、お互いの考え方、立場の違いを理解しながら、総合的に統一した行動を取れることを目指しています。
- 【長谷川】
 - 住民を代表してお話をさせていただきます。私は16歳のときに伊勢湾台風を経験しました。ある家では屋根が飛び、水浸しになった人たちは近くの頑丈な家に逃げ込むこともありました。急遽の避難所となったわけです。当時は近所のお付き合いが結構固く結ばれておりました。
 - あれから62年、あのときのように地域での助け合いなどが本当にできるものでしょうか。残念ながらそういう状況ではないと思っています。
 - 我々が住んでおる名古屋守山区西部地区は庄内川と矢田川に囲まれた低地です。弱い人や体の不自由な人たちがどうやって助けたいかなど、仲間の方と勉強会をしながら、もっといい環境にしたい**と思っています。



パネリスト
古川雅典
多治見市長



パネリスト
中田英雄
名古屋市副市長



パネリスト
岸田晃彦
名古屋駅地区街づくり協議会 事務局長



パネリスト
長谷川弘
庄内川・矢田川5学区水防連合会 会長



パネリスト
秀島栄三
名古屋工業大学大学院 教授



パネリスト
蘆屋秀幸
庄内川河川事務所長

土岐川・庄内川流域治水シンポジウム 開催概要



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

土岐川・庄内川流域治水協議会は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

パネルディスカッション

水災害に強いまちづくりの推進

- 【中田】 ・ 名古屋市ではコンパクトなまちづくりを行っています。浸水想定が深いところなど危険なところを除きながら居住の誘導をしよう、立地適正化計画の見直しを始めたところでございます。
- 見直しに当たっては河川管理者の皆様と協力し、災害の発生頻度、規模に応じた水災害リスクの周知を行っています。
- 【岸田】 ・ 水害が発生した時、行動できる時間は意外と少ないです。
- そして、地下空間には名古屋駅周辺の水害リスクとその対応をよく知らないお買物のお客様や地下鉄利用者等、様々な方がいらっしゃいます。
 - 日頃からの備えとして、名古屋駅周辺でどの程度の雨が降れば、どのように内水氾濫が起こって複雑に入り組んだ地下空間へ浸水が始まるのか等々を関係者間で情報共有しながら、エリアとして具体的にどこ最終避難場所へどのように誘導していくのか等を策定しながら対応していきたいと思っております。
- 【長谷川】 ・ 我々は、5学区連合でこの地域を災害に強いまちにするため広域避難を考えております。おかげさまで、どこへ何時にどうすればいいかというアウトラインはできました。
- しかし、それをどのように指定の避難所へ誘導するか、どのタイミングでどのように誘導するか、非常に大切なことだと思います。
 - 強いまちづくりのために地域が一丸となつていただくことを私は切に思っております。
- 【秀島】 ・ 流域、あるいはまちということで捉えてみれば、災害リスクが高いところもあれば低いところもあります。そこがどういう土地であるかを認識することは大事なわけですね。
- みんながオープンに情報を共有する。危ないところは危ない、そのようなコミュニケーションがもっと増えていくことがまちづくりの中で大事なことだと思います。
 - また、災害リスクの高いところを土木技術、建築技術で固めていくことには限度があります。ハードでできることとできないこと、そのバランスをみんなで考えていくことが今求められていることだと考えます。



グリーンインフラの活用

- 【蘆屋】 ・ 治水事業を行う際には、河川環境への影響に配慮して事業を行うことが非常に重要な観点です。
- 当事務所では、例えば、河道掘削における環境への影響を確認するための継続的なモニタリングをしております。
 - また、河川環境の創出として、土岐川では礫河原の再生、矢田川ではワンドの整備を行っています。
- 【古川】 ・ 多治見市には土岐川観察館という施設があります。土岐川にいる魚、鳥、植物を展示しながら、みんなに土岐川の大切さを教えている施設です。
- また、今行おうとしているのはかわまちづくりです。日常的に川に対して感謝をする、このようなことがほとんど行われてきませんでした。
 - 土岐川及び支川を徹底的に草刈りをする、ごみ拾いをする、たもを持ってずんどうをはいて魚を捕まえるなど、水害があったときだけ大騒ぎするのではなく、日常的に川に感謝をすることを子供のときから教えていく、これを楽しみながらやっているというのが多治見市の1つの大きな特徴です。
- 【秀島】 ・ 庄内川というのは沿川流域の資産価値が日本で最大ではないかというようなエリアで、グリーンインフラを今からつくりましょうというのはなかなか難しいと思っております。
- 今ですと、例えば小田井の遊水地、こうしたところが一種のグリーンインフラと捉えることができると思います。
 - 可能な限り、これ以上、緑、水面が減らないようにということを考えなければならない一方で、ゆくゆくは人口減少に伴い空き地が増えていくわけですから、少しずつ緑、水を増やしていくということもできるのではないかと考えています。

流域治水の推進のために

- 【古川】 ・ 上流域に対して感謝の気持ちをしっかり持ち、下流域に対して心を配る。
- 次のシンポジウムでは、中学生や高校生を含めて、問題を捉え発信していけるとすばらしい運動になっていくと思います。
- 【中田】 ・ 温暖化の影響がある中、持続可能な社会にするためには、治水、防災だけではなくカーボンゼロについても自治体間で一緒に取り組めたらと思います。
- 【蘆屋】 ・ 河川管理者としては、河道掘削等の治水事業をしっかり実行し、住民の皆様にも流域治水の取組を理解して行動していただけるよう情報の共有・提供等、一緒に考えていければと思っています。
- 【岸田】 ・ 災害後復旧という観点で、エリアの水害リスクをよく知った上でそれぞれの立場でBCPを考えておく必要性を非常に感じております。
- 【長谷川】 ・ 人の命は最も大切です。我々はソフトの部分でやれる範囲を頑張っています。
- 【秀島】 ・ 土岐川・庄内川の流域治水の取組は、自治体を超えて、企業、市民が総合的に考えていくものです。
- この取組がさらに活発化されるよう後回しにせず今すぐに始めなくてはならないと思っております。

土岐川・庄内川流域治水のロゴマーク決定



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

土岐川・庄内川流域治水協議会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

- 土岐川・庄内川流域治水協議会は、土岐川・庄内川流域治水のシンボルとなるロゴマークを一般公募(79作品の応募)し、候補5作品の一般投票を経て、令和3年11月20日開催の土岐川・庄内川流域治水シンポジウムにて最優秀賞を発表しました。
- 最優秀賞作品は土岐川・庄内川流域治水のロゴマークとして、今後、土岐川・庄内川での流域治水を広く周知・PRするために活用していきます。



みんなでももる土岐川・庄内川

土岐川・庄内川流域治水
ロゴマーク



ロゴマークの一般公募 (79作品の応募あり)



候補5作品の一般投票



古川 雅典 多治見市長(左)と
作者代表の小田 洋平氏(右)

土岐川・庄内川流域治水シンポジウムにて最優秀賞の発表

土岐川・庄内川流域治水MOVIE



土岐川・庄内川流域治水協議会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

- 土岐川・庄内川流域治水協議会は、土岐川・庄内川の流域で水災害対策に取り組む関係者を紹介する「土岐川・庄内川流域治水MOVIE」を作成し、令和3年11月20日開催の土岐川・庄内川流域治水シンポジウムにて放映しました。
- 本MOVIEは庄内川河川事務所YouTubeチャンネルにて公開中です。



庄内川河川事務所YouTubeチャンネルにて公開中
<https://youtu.be/5Hyxjxdr6oA>



NEXCO中日本 (災害時の高速道路一時利用)



小里川ダム管理支所 中部電力 (事前放流)



清須市役所です。



名古屋市守山区に住む長谷川です。



多治見市役所です。



庄内川河川事務所です。



名古屋大学防災サークル“輪”です。



名古屋大学防災サークル (防災教育)

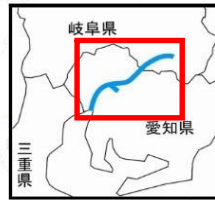


庄内川水系流域治水プロジェクト (全体版)

庄内川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、庄内川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 日本経済を支える産業集積地域である反面、日本一のゼロメートル地帯を有する流域であり、水害リスクが高い流域であることから、橋梁改築(狭窄部対策)や公園等を活用した高台の整備、地下空間・地区タイムラインの作成・周知等を実施する。
- これらの取組により、国管理区間においては、観測史上最大となった平成12年9月洪水(東海豪雨)および平成元年9月洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



土岐川圏域
【岐阜県】
土岐川・肥田川・小里川等の堤防整備、河道掘削等

新川圏域
【愛知県】
新川・五条川・地藏川等の堤防整備、河道掘削、ポンプ場の新設・増強、洪水調節池の整備等

庄内川上流圏域
【愛知県・名古屋市】
八田川・矢田川等の堤防整備、河道掘削等

堀川圏域
【名古屋市】
堀川等の堤防整備、河道掘削等

凡例

流域界	流域界
県境	県境
市町境	市町境
浸水想定範囲(整備計画規模)	浸水想定範囲(整備計画規模)
大臣管理区間	大臣管理区間
堤防整備・堤防強化	堤防整備・堤防強化
河道掘削・樹木伐採・低水護岸	河道掘削・樹木伐採・低水護岸
橋・橋梁改築	橋・橋梁改築
ポンプ場の新設・増強	ポンプ場の新設・増強

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- ・堤防整備、河道掘削、橋梁改築、洗堰分派対策、放水路整備
 - ・用排水路の改修
 - ・排水機場等の新設・増強・長寿命化対策
 - ・流出抑制対策
 - (既存ダム2ダムにおける事前放流等の実施・体制構築 (関係者: 国、土岐川防災ダム一部事務組合など)、貯留管等の整備、民間開発による貯留施設設置指導、各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援、ため池等の活用、水田の貯留機能向上、透水性舗装の整備、森林保全 等)
 - ・土砂災害対策 (砂防施設の整備、治山施設の整備 等)
 - ・内水被害軽減対策 (雨水排水網の新設・増強、ポンプ場の新設・増強・機能強化、効率的なポンプ運転調整ルールの検討 等)

- 被害対象を減少させるための対策**
- ・頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 (立地適正化計画への防災指針の位置づけ、水害リスクを考慮した居住誘導 等)
 - ・浸水ハザードエリアにおける各家庭等への浸水防止対策 (浸水防止塀設置の支援、出水期前に希望する市民への土のうの事前配布 等)

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- ・早期復旧に備えた対策 (防災拠点の整備、緊急河川敷道路の整備、大規模氾濫被害の軽減に向けた高速道路の一時利用 等)
 - ・被害軽減対策 (公園等を活用した高台の整備、広域避難計画の策定、地下空間・地区タイムラインの作成・周知、水位周知下水道の指定・運用、要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保、関係機関との連携強化、ハザードマップの更新、水害リスク空白域の解消、土砂災害警戒区域等の指定・周知 等)
 - ・住民の主体的な避難行動を促す取組 (避難場所や経路等に関する情報の周知、分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進、ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組 等)
 - ・ソフト対策のための整備 (危機管理型水位計・監視カメラの設置、増設 等)

● グリーンインフラの取組 詳細次ページ



※大臣管理区間以外は、県・政令市管理河川の代表的な箇所(河川)を示したものである。
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。
※上記の対策は代表的な事例を記載している。

庄内川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

●グリーンインフラの取組 『多様な生物の生息・生育環境の再生と市街地の良好な水辺空間の創出』

- 庄内川の緑や水辺空間は、都市化の進んだ流域に残された貴重な自然空間となっており、動植物の生息・生育の場としても重要な空間となっている。
- 多様な動植物の生息・生育環境の保全と、貴重なオープンスペースとして、治水、利水、河川環境と調和を図りながら利活用を推進するため、今後、概ね30年間で、藤前干潟の保全・再生やレキ河原固有植物などの生息・生育環境の再生及び地域の関係者が連携して川と水辺空間につながるまちを一体的に活性化させる整備を行うなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。



- **自然環境の保全・復元などの自然再生**
 - ・レキ河原再生
 - ・干潟保全・再生
 - ・河川の連続性の回復
 - ・ヨシ原再生
 - ・水際環境の創出
- **生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成**
 - ・大型水鳥等の採餌場保全
 - ・休憩地等の生息環境創出
- **健全なる水循環系の確保**
 - ・浄化浚渫
- **沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全**
 - ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全
- **治水対策における多自然川づくり**
 - ・整備における生物の多様な生育環境の保全
 - ・河川景観の保全・創出
- **魅力ある水辺空間・賑わい創出**
 - ・水辺の賑わい空間創出
 - ・ビオトープの整備
- **自然環境が有する多様な機能活用の取組み**
 - ・小中学校などにおける河川環境学習
 - ・自然環境保全に関する協議会等の活動
 - ・民間協働による水質調査

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。
 ※上記の対策は代表的な事例を記載している。

庄内川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

● 庄内川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】

- ・ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策として、狭窄部下流で水位低下を目的とした河道掘削や雨水排水網の整備等により、清須市や名古屋市下流部で浸水深・浸水面積の減少を図る。
- ・ 被害対象を減少させるための対策として、浸水防止堀設置の支援や立地適正化計画への防災指針の位置づけ等を推進する。
- ・ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策として、公園等を活用した高台の整備や水害リスク空白域の解消に向けた中小河川における浸水想定区域の指定を推進する。
- ・ グリーンインフラの取組として、森林保全等の生物の生息環境の維持に資する土地の保全や桜並木沿いの遊歩道整備等の水辺の賑わい空間の創出等を推進する。

【中期】

- ・ 短期に引き続き、狭窄部対策（橋梁改築（JR新幹線橋等3橋））等により、名古屋市下流部での浸水被害の解消を図るとともに、防災指針等を踏まえ、構成員が一体となり水害リスクを考慮した居住誘導の推進や、中小河川における浸水想定区域のハザードマップへの反映等を行う。グリーンインフラについて、短期に引き続き、生物の生息環境の維持に資する土地の保全や干潟保全・再生等を行う。

【中長期】

- ・ さらに、洗堰分派対策や狭窄部上流の河道掘削等により、中下流域の浸水被害解消を図るとともに、被害対象を減少させるための対策、被害の軽減、早期復旧・復興のための対策についても引き続き実施し、流域全体の安全度向上を図りつつ、グリーンインフラの取組を推進する。

【ロードマップ】

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。 ※■■■■■：対策実施に向けた調整・検討期間を示す。



【事業費】

■河川対策	全体事業費	約3,266億円 ※1
対策内容	堤防整備、河道掘削、橋梁改築等	
■砂防対策	全体事業費	約219億円 ※2
対策内容	砂防施設の整備、治山施設の整備等	
■下水道対策	全体事業費	約1,166億円 ※3
対策内容	貯留管等の整備、ポンプ場の新設・増強等	

※1：直轄及び各圏域の河川整備計画の残事業費を記載
 ※2：直轄砂防事業の残事業費を記載
 ※3：各市町における下水道事業計画の残事業費を記載

※1：実施主体ではないが、連携する機関 ※2：各対策による旗揚げでは、代表的な市町名を記載

庄内川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

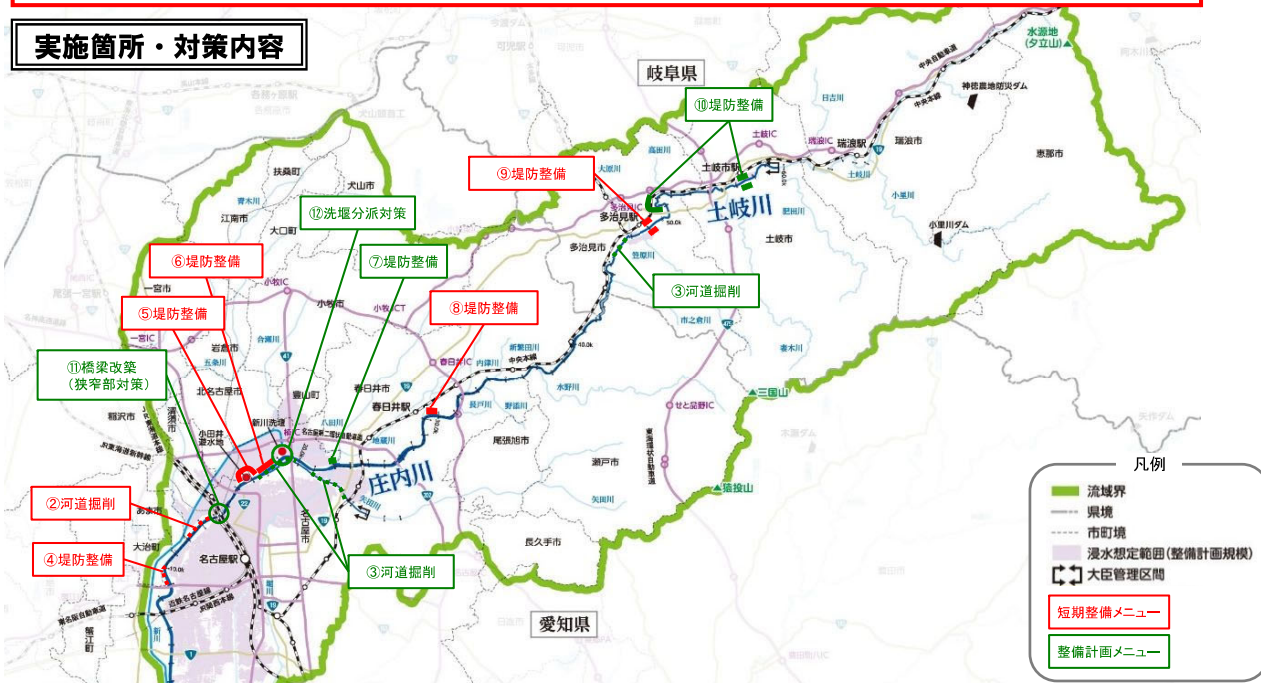
～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

○短期整備の河道掘削完了に伴い、枇杷島地区狭窄部を含む下流の水位を低下させ、清須市における中頻度(1/50規模)の洪水の浸水被害を解消し、東海豪雨と同規模の洪水(1/100規模)において、名古屋市下流部(中村区、中川区等)で浸水被害を軽減(浸水面積約500ha、浸水世帯数約2万世帯の減)させることが可能。また、短期整備の堤防強化完了に伴い、堤防の安全性を向上させることが可能。

○併せて、協議会構成員・オブザーバーにより、被害対象を減少させるための対策や被害の軽減、早期復旧・復興のための対策等を実施することで、流域全体の安全度を向上させる。

短期整備（5カ年加速化対策）効果：河川整備率 76% → 81%

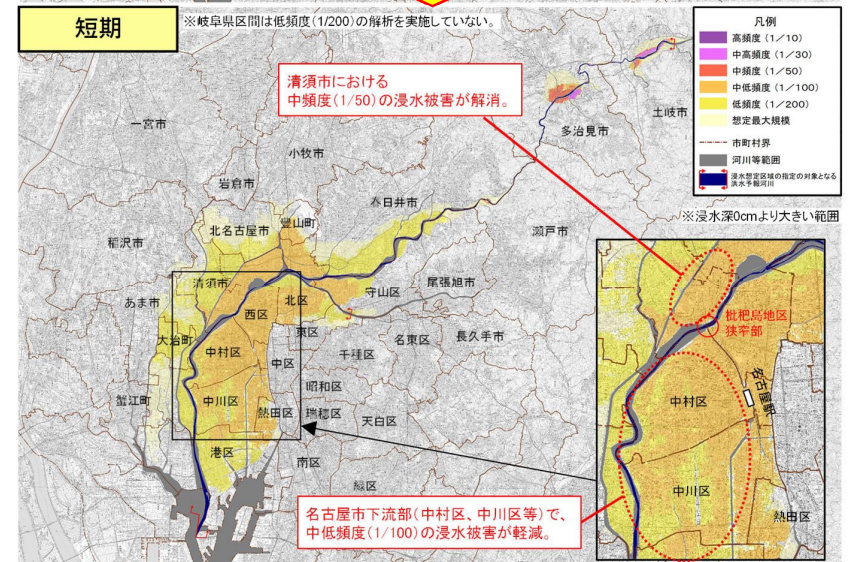
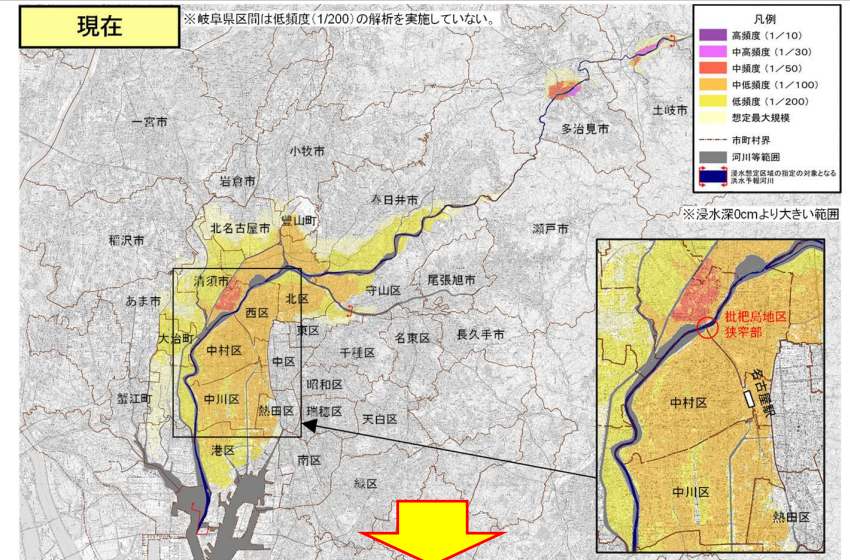
実施箇所・対策内容



区分	対策内容	区間	工程		
			短期 (R3~R7年度) 1/40~1/50 (※1)	中期 (R8~R13年度) 1/50~1/90 (※1)	中長期 (R14~R19年度) 1/90~1/100 (※1)
河道掘削	①宝神地区	19%	100%		
		②日比津地区	0%	100%	
		③枇杷島橋上流~			0%
堤防整備	④万場地区	59%	100%		
	⑤小田井地区	36%	100%		
	⑥山田地区	70%	100%		
	⑦味噌地区			0%	100%
	⑧上条地区	0%	100%		
	⑩泉地区等	0%	100%		100%
橋梁改良(狭窄部対策)	⑪JR新幹線橋、JR東海道本線橋、県道枇杷島橋	0%		100%	
	⑫新川洗堰		0%	100%	

【短期整備完了時の進捗】

- ①宝神地区 河道掘削 19%→100%
- ②日比津地区 河道掘削 0%→100%
- ④万場地区 堤防整備 59%→100%
- ⑤小田井地区 堤防整備 36%→100%
- ⑥山田地区 堤防整備 70%→100%
- ⑧上条地区 堤防整備 0%→100%
- ⑩豊岡地区 堤防整備 0%→100%



・当該指標は愛知県区間について示したものです。また、この確率以下の洪水においても、侵食等により破堤する可能性があります。(※1)
 ・右図は、外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合があります。
 ・短期の図については、国直轄事業の実施による効果です。

庄内川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備



整備率 81%
(概ね5か年後)

農地・農業用施設の活用



5市町村
(令和3年度末時点)

流出抑制対策の実施



274施設
(令和2年度実施分)

山地の保水機能向上
および土砂・流木災害対策



治山対策等の実施箇所
6箇所
(令和3年度実施分)
砂防関係施設の整備数
0施設
(令和3年度完成分)

立地適正化計画における
防災指針の作成



0市町村
(令和3年12月末時点)

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定区域
9河川
(令和3年12月末時点)
内水浸水想定区域
3団体
(令和3年11月末時点)

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保 洪水 3592施設
計画 土砂 168施設
(令和3年9月末時点)
個別避難計画
16市町村
(令和4年1月1日時点)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策



八田川の堤防整備
(愛知県)

治山施設の整備
(岐阜県)



雨水貯留施設の整備
(北名古屋市)



雨水貯留施設の整備
(大治町)

被害対象を減少させるための対策



立地適正化計画への防災指針位置付け
に向けた検討(名古屋市)

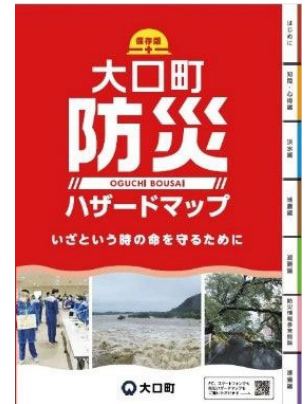


立地適正化計画(策定中)に防災指針を定め
事業化を進める土地地区画整理事業(瀬戸市)

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策



手作りハザードマップの作成
(清須市)



ハザードマップの更新
(大口町)



地区タイムラインの作成(恵那市)

庄内川水系流域治水プロジェクト (各施策版)

■堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備用水路の改修、排水機場等の新設・増強・長寿命化対策【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

取組事例

① 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備

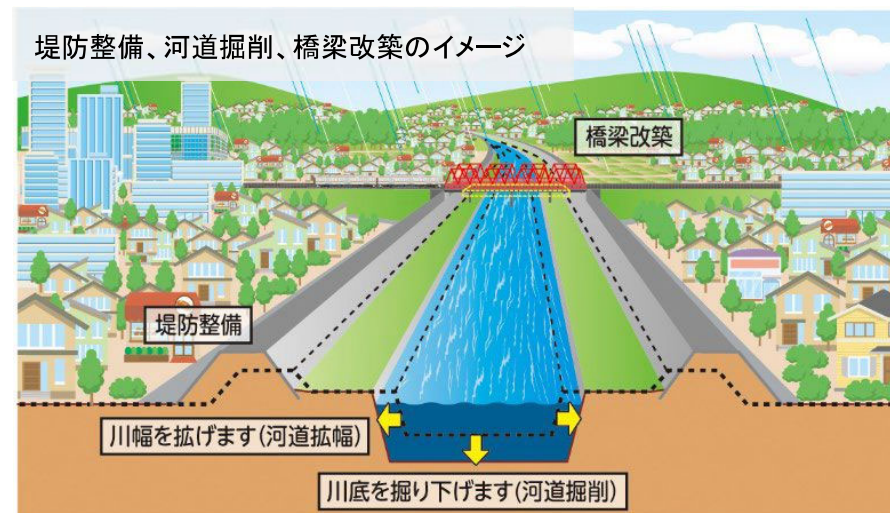
- ・ 狭窄部における橋梁改築
- ・ 準用河川・普通河川整備
- ・ 河川浚渫
- ・ 橋梁改築、堤防（護岸）整備
- ・ 河道内の樹木伐採等の実施
- ・ 河道掘削の調査、継続的な維持管理

② 用排水路の改修

- ・ 新木津用水路 薬師川河川供用区間の改修（国営総合農地防災事業）

③ 排水機場等の新設・増強・長寿命化対策

- ・ 久田良木川排水機場増強
- ・ 地蔵川排水機場（新設）、水場川及び鴨田川排水機場（増強）等



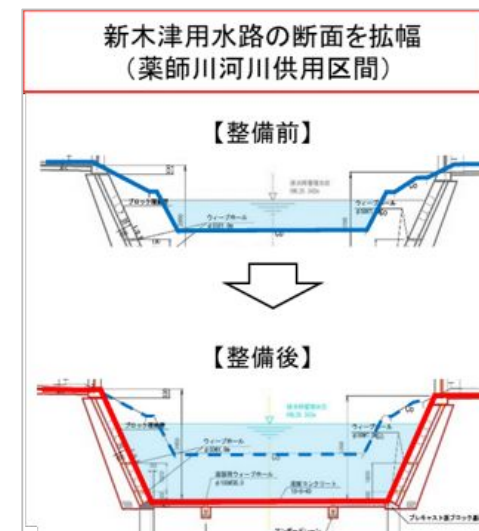
橋梁改築—狭窄部対策(庄内川河川事務所)



準用河川整備(小牧市)



堤防整備(一宮市(準)千間堀川)



用排水路の改修(東海農政局)

土岐川・庄内川流域治水協議会構成員のうち、上記と同様の取組を行っている関係機関

多治見市^①、瑞浪市^①、恵那市^①、土岐市^①、名古屋市^{①③}、一宮市^①、瀬戸市^①、小牧市^①、長久手市^①、豊山町^{①③}、大治町^①、岐阜県^①、愛知県^{①③}、東海農政局^②、庄内川河川事務所^①

■ 流出抑制対策 1/2 【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- ① 既存ダム2ダムにおける
事前放流等の実施・体制構築・貯留管等の整備
- ② 貯留管等の整備
- ③ 民間開発による貯留施設設置指導
- ④ 各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援

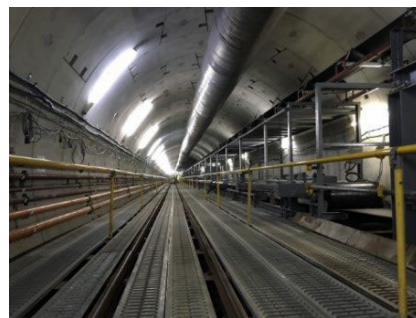
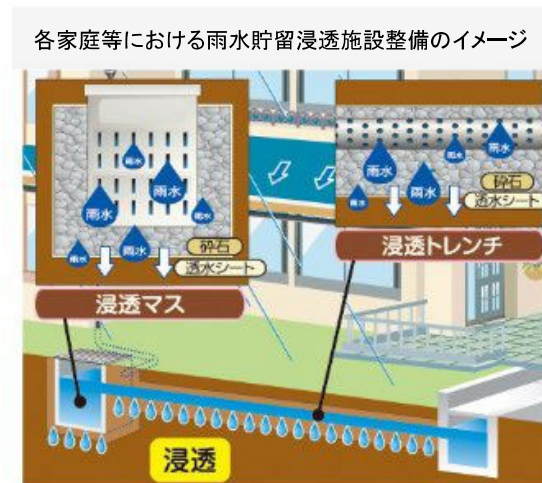
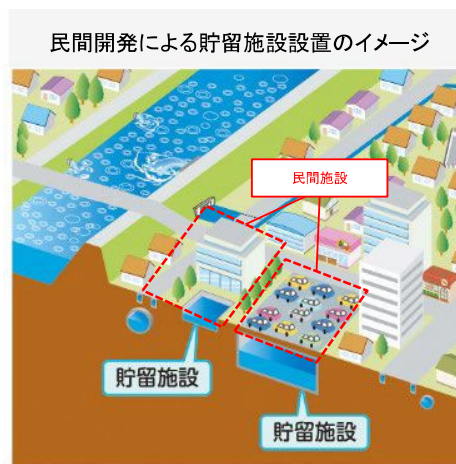
取組事例

- ① 既存ダム2ダムにおける
事前放流等の実施・体制構築・貯留管等の整備

- ② 貯留管等の整備
 - ・ 雨水貯留施設の新設
 - ・ 調整池の堆積土砂の浚渫
 - ・ 貯留施設、調整池、調節池、雨水貯留施設、
雨水幹線の整備、維持、回復

- ③ 民間開発による貯留施設設置指導
 - ・ 開発行為に対する流出抑制指導

- ④ 各家庭等における
雨水貯留浸透施設整備への支援
 - ・ 雨水貯留施設設置補助金交付
 - ・ 浄化槽雨水貯留施設転用費補助金交付



貯留管等の整備
(名古屋市)



雨水貯留施設の整備
(北名古屋市)



雨水貯留施設の整備
(大治町)

土岐川・庄内川流域治水協議会構成員のうち、上記と同様の取組を行っている関係機関

多治見市^{②③④}、瑞浪市^{①③}、土岐市^③、名古屋市^{②③④}、一宮市^{②④}、春日井市^{②④}、犬山市^④、江南市^{②③④}、小牧市^{②④}、
稲沢市^{②④}、尾張旭市^②、岩倉市^{②④}、清須市^{②③④}、北名古屋市^{②③④}、あま市^②、扶桑町^{②③④}、大治町^{②③}、蟹江町^{②④}、
愛知県^②、庄内川河川事務所^①

■ 流出抑制対策 2/2 【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

⑤ ため池等の活用

⑦ 透水性舗装の整備

⑥ 水田の貯留機能向上

⑧ 森林保全

取組事例

⑤ ため池等の活用

- ・ 既設貯留施設(ため池等)の事前放流
- ・ 河川・ため池・調節池の堆積土砂の浚渫等
- ・ ため池の機能強化(施設改良、耐震化)

⑥ 水田の貯留機能向上

- ・ 水田利用による雨水流出抑制対策

⑦ 透水性舗装の整備

⑧ 森林保全

- ・ 間伐等森林の整備による洪水緩和機能の保全・強化
- ・ 森林の適正な管理



【整備前】



【整備後】

河川・ため池・調節池の堆積土砂の浚渫(名古屋市)



透水性舗装の整備のイメージ



森林保全のイメージ



森林保全“間伐”(恵那市)

土岐川・庄内川流域治水協議会構成員のうち、上記と同様の取組を行っている関係機関

多治見市^⑤、恵那市^{⑤⑧}、土岐市^{⑤⑧}、名古屋市^{⑤⑦}、瀬戸市^⑤、春日井市^⑤、犬山市^⑤、小牧市^{⑤⑥}、

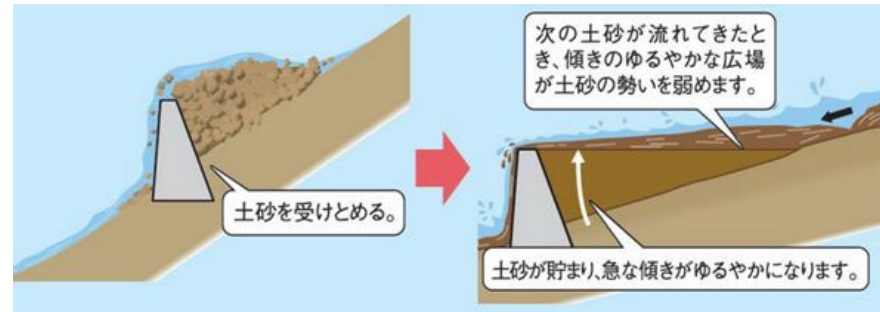
尾張旭市^{⑤⑥⑦}、清須市^⑦、あま市^⑦、長久手市^⑤、岐阜県^⑧、林野庁^⑧、東海農政局^{⑤⑥}、多治見砂防国道事務所^⑧

■土砂災害対策 【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- ① 砂防関係施設の整備
- ② 治山施設の整備

取組事例

- ① 砂防関係施設の整備
 - ・ 砂防関係施設の整備
 - ・ 急傾斜地崩壊防止施設の整備
- ② 治山施設の整備
 - ・ 治山施設の整備



砂防施設の整備のイメージ



＜岩山第4砂防堰堤＞
砂防施設の整備(多治見砂防国道事務所)



治山ダム工

治山施設の整備(愛知県)



治山堰堤

治山施設の整備(岐阜県)



木製枝倉式ダム工

治山施設の整備(愛知県)

土岐川・庄内川流域治水協議会構成員のうち、上記と同様の取組を行っている関係機関

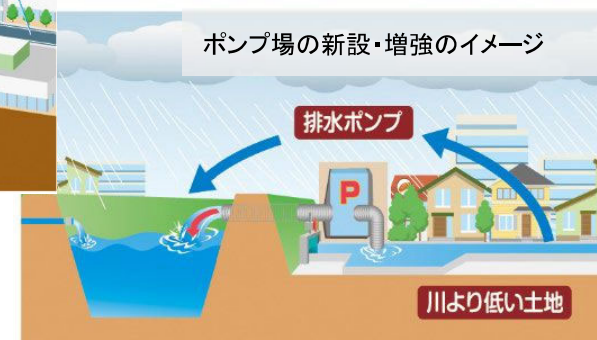
岐阜県①②、愛知県①②、多治見砂防国道事務所①、林野庁②

■内水被害軽減対策【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- ① 雨水排水網の新設・増強
- ② ポンプ場の新設・増強・機能強化
- ③ 効率的なポンプ運転調整ルール of 検討

取組事例

- ① 雨水排水網の新設・増強
 - ・ 下水道雨水管渠の整備
 - ・ 排水施設の整備・維持管理
- ② ポンプ場の新設・増強・機能強化
 - ・ ポンプの新設、機能強化、更新(耐震化、耐水化)
- ③ 効率的なポンプ運転調整ルール of 検討
 - ・ より効果的、効率的なポンプ運転調整、排水調整ルール of 検討



雨水排水網の新設・増強
雨水排水路(多治見市)



雨水排水網の増強(名古屋市)



地蔵川排水機場の整備(愛知県)

土岐川・庄内川流域治水協議会構成員のうち、上記と同様の取組を行っている関係機関

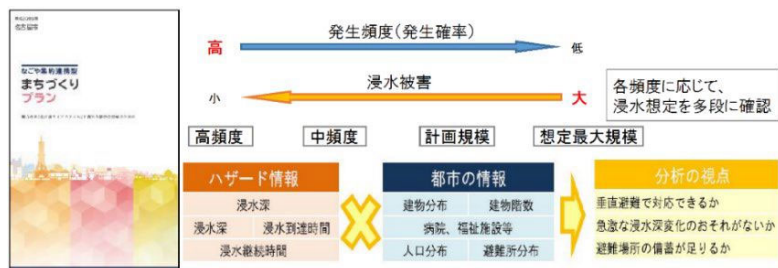
多治見市①、名古屋市①②③、一宮市①②③、春日井市①②、犬山市①、小牧市①③、稲沢市③、尾張旭市①、岩倉市②③、清須市①②③、北名古屋市①②③、あま市②③、豊山町①③、大治町②③、蟹江町②、愛知県③

■ 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組、 浸水ハザードエリアにおける各家庭等への浸水防止対策 【被害対象を減少させるための対策】

- ① 立地適正化計画への防災指針の位置付け
- ② 水害リスクを考慮した居住誘導
- ③ 浸水防止塀設置の支援
- ④ 出水期前に希望する市民への土のうの事前配布

取組事例

- ① 立地適正化計画への防災指針の位置付け
 - ・ 安全なまちづくりの推進
 - ・ 防災指針の検討・作成
 - ・ 防災指針のガイドライン検討のモデル都市
- ② 水害リスクを考慮した居住誘導
 - ・ 立地適正化計画に基づく居住誘導
- ③ 浸水防止塀設置の支援
- ④ 出水期前に希望する市民への土のうの事前配布



安全なまちづくりの推進(名古屋市)



浸水防止塀設置の支援
(扶桑町)



出水期前に希望する市民への
土のうの配布(春日井市)

土岐川・庄内川流域治水協議会構成員のうち、上記と同様の取組を行っている市町村
 多治見市①、瑞浪市①、名古屋市①②、瀬戸市②、春日井市①④、犬山市①、尾張旭市①④、清須市①、北名古屋市①②、
 扶桑町③

■ 早期復旧に備えた対策【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

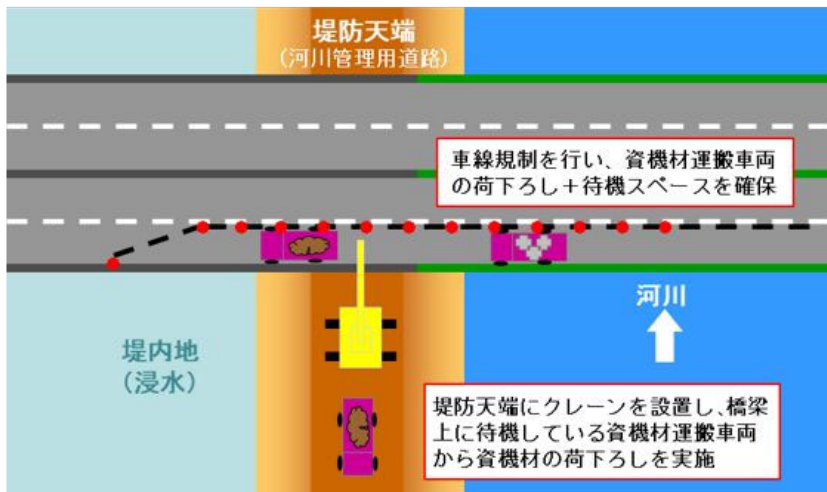
- ① 防災拠点の整備
- ② 緊急河川敷道路の整備
- ③ 大規模氾濫被害の軽減に向けた高速道路の一時利用

取組事例

- ① 防災拠点の整備
 - ・ 一次避難地となる防災公園整備
 - ・ 後方支援を担う基幹的防災拠点の整備
 - ・ 防災拠点の整備
- ② 緊急河川敷道路の整備
- ③ 大規模氾濫被害の軽減に向けた高速道路の一時利用



防災拠点の整備(愛知県)



大規模氾濫被害の軽減に向けた高速道路の一時利用イメージ
(庄内川河川事務所)



中日本高速道路株式会社名古屋支社
名古屋保全・サービスセンターとの締結式



名古屋高速道路公社との締結式

土岐川・庄内川流域治水協議会構成員のうち、上記と同様の取組を行っている市町村
清須市①、大治町①、愛知県①、庄内川河川事務所①②③

■被害軽減対策 1/2 【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- ① 公園等を活用した高台の整備
- ② 広域避難計画の策定
- ③ 地下空間・地区タイムラインの作成・周知
- ④ 水位周知下水道の指定・運用
- ⑤ 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保

取組事例

- ① 公園等を活用した高台の整備
- ② 広域避難計画の策定
 - ・ 想定最大規模の洪水を踏まえた広域避難の策定
- ③ 地下空間・地区タイムラインの作成・周知
 - ・ 自治体タイムラインの作成、周知
(運用・住民周知・見直しの実施、地区タイムラインの作成支援)
- ④ 水位周知下水道の指定・運用
- ⑤ 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
 - ・ 高齢者避難行動計画の策定



公園等を活用した高台の整備
(名古屋市)



地区タイムラインの作成・周知
(多治見市)



地区タイムライン作成(恵那市)

土岐川・庄内川流域治水協議会構成員のうち、上記と同様の取組を行っている市町村

多治見市^③、瑞浪市^③、恵那市^③、土岐市^③、名古屋市^{①②③④}、清須市^②、あま市^③、蟹江町^③、岐阜県^②、
全市町^⑤、岐阜・名古屋地方气象台^③、多治見砂防国道事務所^③

■被害軽減対策 2/2 【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- ⑥ 関係機関との連携強化
- ⑦ ハザードマップの更新
- ⑧ 水害リスク空白域の解消
- ⑨ 土砂災害警戒区域等の指定・周知
- ⑩ 気象に関する予報精度の向上

取組事例

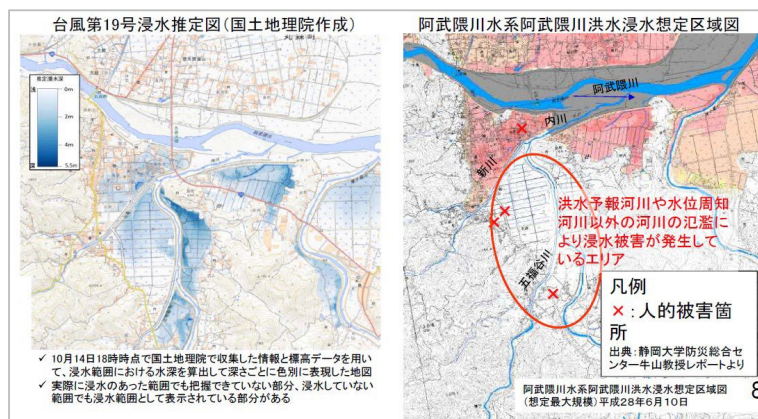
- ⑥ 関係機関との連携強化
 - ・ 多治見市浸水対策協議会
 - ・ 土岐川流域新五流総地域委員会の開催
- ⑦ ハザードマップの更新
 - ・ ハザードマップの作成、活用、更新、配布
- ⑧ 水害リスク空白域の解消
- ⑨ 土砂災害警戒区域等の指定・周知
- ⑩ 気象に関する予報精度の向上



土岐川流域新五流総地域委員会
(岐阜県・多治見市・瑞浪市・土岐市・恵那市)



ハザードマップの更新
(大口町)



水害リスク空白域の解消イメージ
(※国土交通省<中小河川の水害リスク評価に関する技術検討会>より)

土岐川・庄内川流域治水協議会構成員のうち、上記と同様の取組を行っている市町村

多治見市^{⑥⑦}、瑞浪市^{⑥⑦}、恵那市^⑥、土岐市^⑥、名古屋市^⑦、瀬戸市^⑦、春日井市^⑦、犬山市^⑦、小牧市^⑦、稲沢市^⑦、尾張旭市^⑦、岩倉市^⑦、北名古屋市^⑦、あま市^⑦、長久手市^⑦、大口町^⑦、大治町^⑦、蟹江町^⑦、岐阜県^{⑥⑨}、愛知県^⑨、岐阜・名古屋地方气象台^{⑥⑩}、多治見砂防国道事務所^⑥、庄内川河川事務所^⑥

■住民の主体的な避難行動を促す取組【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- ① 避難場所や経路等に関する情報の周知
- ② 分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進
- ③ ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組

取組事例

① 避難場所や経路等に関する情報の周知

- ・ 気象・防災情報の提供
- ・ 防災ハンドブック改訂・防災メール
- ・ ハザードマップ更新に伴う防災の手引き配布
- ・ 避難場所・経路の情報推進
- ・ 電話・登録制メール、防災行政無線による情報伝達
- ・ あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供
- ・ 土地購入時における水災害リスク情報の提供
- ・ 土砂災害関連情報配信
- ・ ハザードマップ等の全戸配布



みずから守るプログラムによる
手作りハザードマップ(清須市)



水防訓練(尾張旭市)

② 分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進

- ・ 防災教育の実施
- ・ 住民防災意識向上のための取組(小学生対象の防災教育)
- ・ 住民への普及・啓発(雨水流出抑制の推進)

③ ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組

- ・ 水防・自主防災訓練等の実施
- ・ 住民連携による施設維持(点検および操作訓練)
- ・ 手作りハザードマップの作製
- ・ マイタイムライン作成の推進
- ・ ハザードマップ等の全戸配布



洪水避難ビル誘導標識(江南市)



防災教育(瀬戸市)

土岐川・庄内川流域治水協議会構成員のうち、上記と同様の取組を行っている市町村

多治見市^{②③}、瑞浪市^{①③}、土岐市^{②③}、名古屋市^{①②③}、一宮市^①、瀬戸市^{①②}、春日井市^②、犬山市^{①②}、江南市^{①②}、小牧市^{①②}、稲沢市^①、岩倉市^{①②③}、清須市^{①②③}、北名古屋市^{①②③}、あま市^{①②③}、豊山町^{①②}、扶桑町^{①②}、大治町^{②③}、蟹江町^③、岐阜県^{①②}、愛知県^{①②③}、岐阜・名古屋地方气象台^③、多治見砂防国道事務所^③

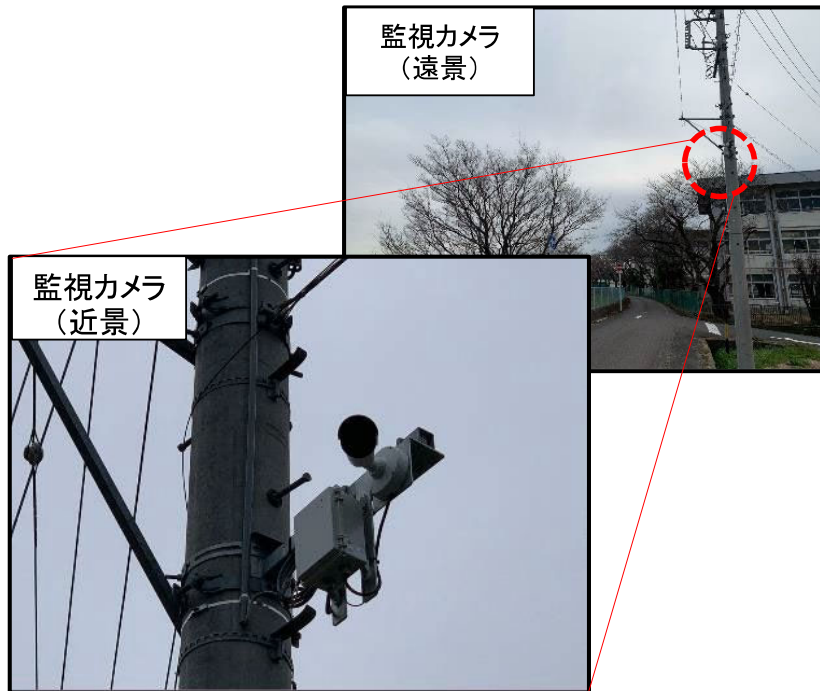
■ソフト対策のための整備【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

① 危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設

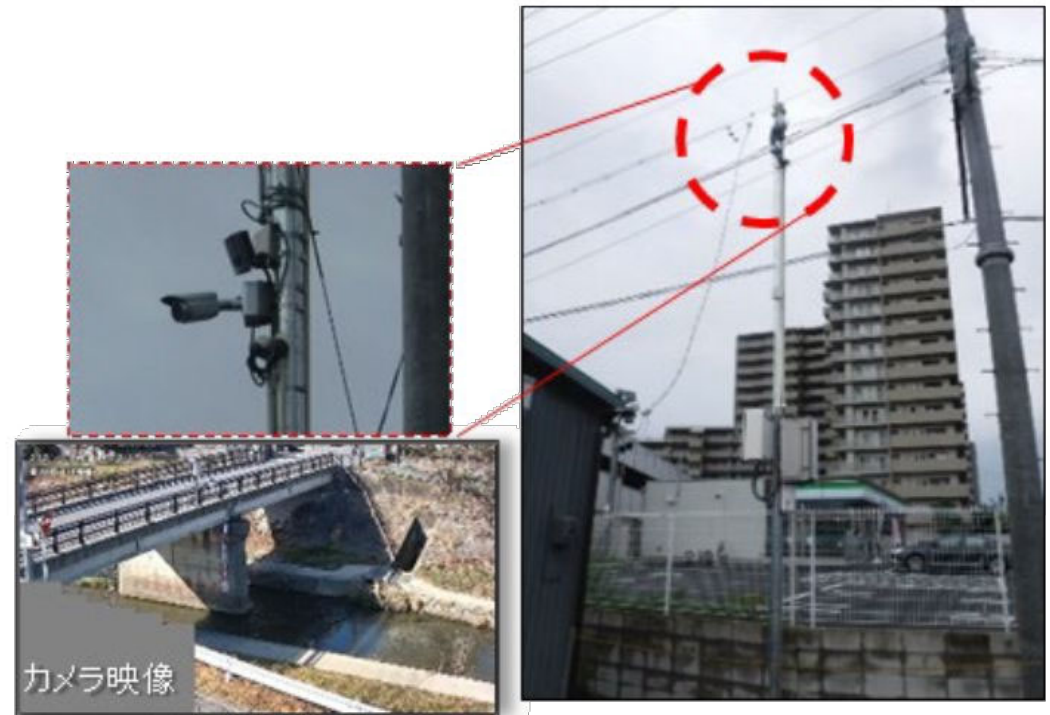
取組事例

- ① 危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設
 - ・ ライブカメラ等による水位情報等の配信

危機管理型水位計の設置・増設のイメージ



監視カメラの設置・増設(稲沢市)



監視カメラの設置・増設(長久手市)

土岐川・庄内川流域治水協議会構成員のうち、上記と同様の取組を行っている市町村

土岐市^①、名古屋市^①、春日井市^①、犬山市^①、稲沢市^①、尾張旭市^①、長久手市^①、大口町^①、岐阜県^①、愛知県^①、庄内川河川事務所^①

■ 自然環境の保全・復元などの自然再生【グリーンインフラの取組】

- ① レキ河原再生
- ② 干潟保全・再生
- ③ 河川の連続性の回復
- ④ ヨシ原再生
- ⑤ 水際環境の創出

取組事例

① レキ河原再生



レキ河原再生【国長橋下流】
(庄内川河川事務所)

② 干潟保全・再生

- ・ 藤前干潟の保全
- ・ あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金を通じた民間団体による干潟保全活動等への支援

③ 河川の連続性の回復

- ・ フィッシュウェイ・サポーターとの協働による魚道点検
- ・ 魚道整備



魚道整備【矢田川】
(愛知県)

④ ヨシ原再生

- ・ 藤前干潟の保全
- ・ あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金を通じた民間団体によるヨシ原再生活動への支援



藤前干潟の保全
(名古屋市)

⑤ 水際環境の創出

- ・ 矢田川バープエプロジェクト

土岐川・庄内川流域治水協議会構成員のうち、上記と同様の取組を行っている市町村
名古屋市^{②④}、岐阜県^③、愛知県^{②③④⑤}、庄内川河川事務所^{①②④}

■生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成、健全なる水循環系の確保【グリーンインフラの取組】

- ① 大型水鳥等の採餌場保全
- ② 休憩地等の生息環境創出
- ③ 浄化浚渫

取組事例

① 大型水鳥等の採餌場保全

- ・ 藤前干潟の保全



② 休憩地等の生息環境創出

- ・ 五条川における生物生息調査と外来生物の駆除
- ・ 藤前干潟の保全
- ・ 都心の生きもの復活事業



五条川における生物生息調査と外来生物の駆除
(岩倉市)

③ 浄化浚渫

- ・ 河床掘削



土岐川・庄内川流域治水協議会構成員のうち、上記と同様の取組を行っている市町村
名古屋市^{①②③}、岩倉市^②、庄内川河川事務所^①

■沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全【グリーンインフラの取組】

生物の生息環境の維持に資する土地の保全

取組事例

① ため池

- ため池の事前放流等による水位調整
- ため池の保全、浚渫、機能強化
- 農業水利施設の活用
- 既存ため池の嵩上げ・余水吐の改良による雨水流出抑制
- 農業用ため池の低水位管理



間伐等森林整備（岐阜県）

② 森林

- 森林保全
- 間伐等森林整備
- 砂防関係施設の整備
- 治山施設整備による森林の保全
- あいち森と緑づくり里山林整備事業を通じた市民やNPOによる里山林の活用活動への支援



治山対策（林野庁）

③ 水田

- 畔の嵩上げ・排水路改修による雨水流出抑制
- 農業振興地域内農用地の保全



畔の嵩上げ・排水路改修による
雨水流出抑制（小牧市）

④ 遊水地

- 小田井遊水地の強化対策

土岐川・庄内川流域治水協議会構成員のうち、上記と同様の取組を行っている市町村

多治見市^①、瑞浪市^①、恵那市^{①②}、土岐市^①、名古屋市^①、瀬戸市^①、春日井市^①、犬山市^①、小牧市^{①③}、
尾張旭市^{①③}、長久手市^①、岐阜県^{①②}、愛知県^②、林野庁^②、東海農政局^{①③}、庄内川河川事務所^④

■治水対策における多自然川づくり、魅力ある水辺空間・賑わい創出【グリーンインフラの取組】

- ① 整備における生物の多様な生育環境の保全
- ② 河川景観の保全・創出
- ③ 水辺の賑わい空間創出
- ④ ビオトープの整備

取組事例

① 整備における生物の多様な生育環境の保全

- ・ 堤防整備、河道掘削
- ・ 藤前干潟の保全
- ・ 現地発生の巨礫を河岸に残し、砂州の回復等を実施

② 河川景観の保全・創出

- ・ 河川美化活動

③ 水辺の賑わい空間創出

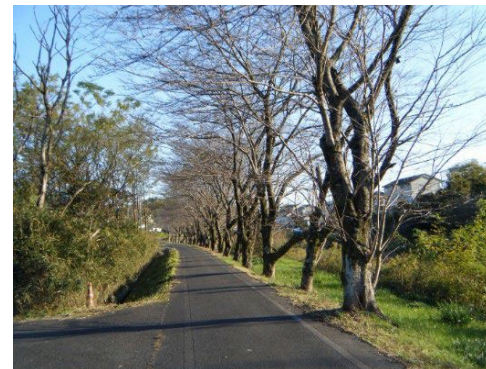
- ・ かわまちづくり
- ・ りばーぴあ
- ・ 河川沿いの桜並木を鑑賞できる遊歩道整備
- ・ 河川空間の利用促進、水辺空間の利活用
- ・ 「岩倉の水辺を守る会」による五条川におけるイベント
- ・ 小田井遊水地の強化対策
- ・ 水辺の緑の回廊事業

④ ビオトープの整備

- ・ 志段見ビオトープ
- ・ あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金を通じたNPOや民間団体によるビオトープ創出活動等への支援



水辺空間の利活用【堀川納屋橋】
(名古屋市)



河川沿いの桜並木を鑑賞できる遊歩道整備
(瀬戸市)



りばーぴあ (多治見市)

土岐川・庄内川流域治水協議会構成員のうち、上記と同様の取組を行っている市町村

多治見市^③、名古屋市^{①②③}、瀬戸市^③、江南市^③、岩倉市^③、清須市^{②③}、岐阜県^{①③}、愛知県^{①③④}、
庄内川河川事務所^{①③④}

■ 自然環境が有する多様な機能活用の取組み【グリーンインフラの取組】

- ① 小中学校などにおける河川環境学習
- ② 自然環境保全に関する協議会等の活動
- ③ 民間協働による水質調査

取組事例

① 小中学校などにおける河川環境学習

- ・ 湧き水モニタリング
- ・ 水質環境目標市民モニタリング
- ・ 庄内川啓発イベント・動画
- ・ 親子ふれあい観察会
- ・ 五条川流域の小学校児童による五条川水生生物調査
- ・ 小学校における河川環境学習

② 自然環境保全に関する協議会等の活動

- ・ 藤前干潟の保全
- ・ 身近な自然(緑地・ため池など)の保全・再生
- ・ 土岐川流域グリーンベルト
- ・ 里山砂防
- ・ あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金を通じたNPO等主催によるフォーラム、学習会等への支援
- ・ 流域全体を対象とした清掃活動

③ 民間協働による水質調査

- ・ 市民団体との協働による水質調査



庄内川啓発イベント（名古屋市）



親子ふれあい観察会（江南市）

土岐川・庄内川流域治水協議会構成員のうち、上記と同様の取組を行っている市町村

土岐市①、名古屋市①②③、春日井市①、江南市①、岩倉市①、清須市①、豊山町①、岐阜県①②、愛知県②、
多治見砂防国道事務所②、庄内川河川事務所②

庄内川水系流域治水プロジェクト (各圏域版)

庄内川水系流域治水プロジェクト【土岐川圏域1/3】

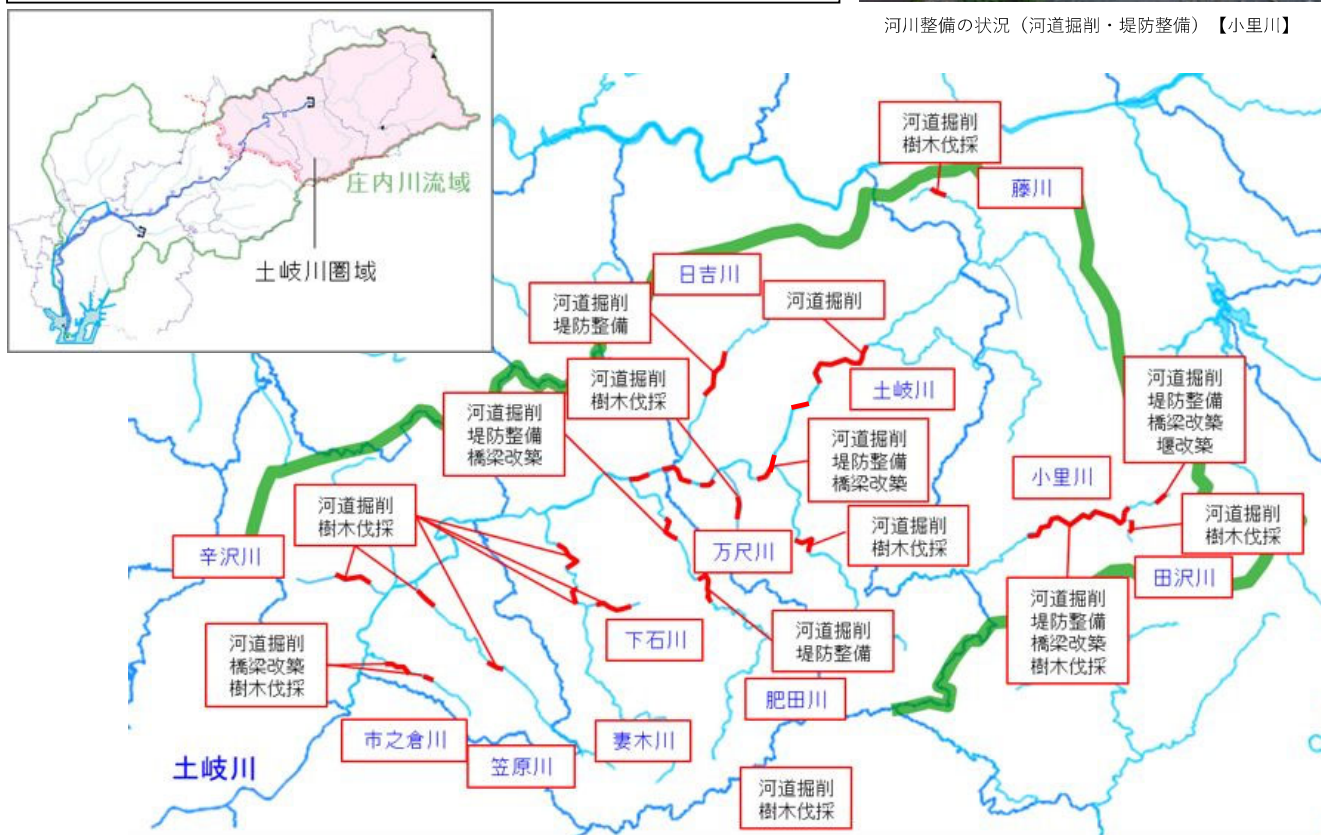
～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

土岐川圏域

- 土岐川（小里川合流点より下流）、日吉川、小里川は、平成元年9月洪水と同規模の洪水を安全に流すことを目指す。
（土岐川の小里川合流点より上流では平成11年6月洪水と同規模の洪水を対象）
- 市之倉川、笠原川、肥田川は、主要洪水（昭和58年9月洪水、平成元年9月洪水、平成11年6月洪水）や平成12年9月洪水（東海豪雨）のような局地性豪雨による洪水を安全に流すことを目指す。



河川整備の状況（河道掘削・堤防整備）【小里川】



■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・堤防整備、河道掘削、橋梁改築
- ・流出抑制対策
（既設2ダムにおける事前放流等の実施・体制構築、貯留管等の整備、民間開発による貯留施設設置指導、各家庭等における雨水貯留浸透施設設置への支援、ため池等の活用、森林保全）
- ・内水被害軽減対策
（雨水排水網の新設・増強）
- ・土砂災害対策
（砂防関係施設の整備、治山施設の整備）

■被害対象を減少させるための対策

- ・頻発・激化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
（立地適正化計画への防災指針の位置付け）

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・被害軽減対策
（広域避難計画の策定、地下空間・地区タイムラインの作成・周知、要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保、関係機関との連携強化、ハザードマップの更新、土砂災害警戒区域等の指定・周知、土砂災害リスク情報の現地表示（標識設置）、災害時応急対策用資機材備蓄拠点の整備）
- ・住民の主体的な避難行動を促す取組
（避難場所や経路等に関する情報の周知、分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進、ハザードマップの周知
および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
岐阜県土砂災害警戒ポータルによる危険度情報の発信、土砂災害警戒情報の発表、土砂災害防止月間等における広報活動、防災訓練の実施）
- ・ソフト対策のための整備
（危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設）

■グリーンインフラの取組

- ・自然環境の保全・復元などの自然再生
（河川の連続性の回復
（フィッシュウェイ・サポーターとの協働による魚道点検））
- ・沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全
（生物の生息環境の維持に資する土地の保全
（ため池の事前放流等、砂防関係施設の整備、治山施設整備による森林の保全等））
- ・治水対策における多自然川づくり
（整備における生物の多様な生育環境の保全）
- ・魅力ある水辺空間・賑わい創出
（水辺の賑わい空間創出（かわまちづくり））
- ・自然環境が有する多様な機能活用の取組み
（小中学校などにおける河川環境学習、自然環境保全に関する協議会等の活動
（流域全体を対象とした清掃活動））

※緑線等は、河道掘削や堤防整備を含む

庄内川水系流域治水プロジェクト【土岐川圏域2/3】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

土岐川 圏域

区分	対策メニュー	実施主体	短期	中期	中・長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、河道掘削、橋梁改築	岐阜県 多治見市 土岐市 瑞浪市 恵那市	橋脚・設計等 普通河川の河道掘削の実施 (瑞浪市・恵那市) 本橋梁の改築等(土岐市)	機件管理計画等の設計(土岐市) 普通河川の河道掘削の実施(多治見市) 普通河川での河道掘削の実施(土岐市) 本橋梁の改築等(土岐市)	一般河川での架け橋・本橋梁(多治見市・土岐市・瑞浪市・恵那市) 普通河川の河道掘削の実施(多治見市) 普通河川での河道掘削の実施(土岐市) 本橋梁の改築等(土岐市)	
		既設2ダムにおける事前放流等の実施・体制構築	瑞浪市	事前放流等の実施(多治見市)	事前放流等の実施(多治見市)	
	流出抑制対策	貯留管等の整備	多治見市	設計・設計等 雨水貯留施設の整備等(多治見市)	雨水貯留施設の整備等(多治見市) 貯留施設等の維持・管理(多治見市)	
		民間開発による貯留施設設置指導	多治見市 土岐市 瑞浪市		民間開発による貯留施設設置指導(多治見市) 民間開発による貯留施設設置指導(土岐市) 民間開発による貯留施設設置指導(土岐市)	
		各家庭等における雨水貯留・浸透施設設置への支援	多治見市		各家庭等における雨水貯留・浸透施設設置への支援(多治見市)	
		ため池等の活用	多治見市 土岐市 恵那市	設計・設計・地元調整等(多治見市)	ため池等の活用(多治見市) ため池等の活用(土岐市) ため池等の活用(土岐市)	
	内水被害軽減対策	森林保全	岐阜県 土岐市 恵那市		森林保全の実施(多治見市) 森林保全の実施(土岐市)	
		雨水排水網の新設・増強	多治見市	設計・設計等		
	土砂災害対策	砂防関係施設の整備	岐阜県 土岐市		砂防関係施設の整備(多治見市・土岐市・瑞浪市・恵那市) 砂防関係施設の整備(土岐市)	
		治山施設の整備	岐阜県		治山施設の整備(多治見市・土岐市・瑞浪市・恵那市)	
被害対象を減少させるための対策	脆弱・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組	多治見市 瑞浪市	立地適正化計画への防災指針の位置付け			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	被害軽減対策	岐阜県	広域避難計画の策定	広域避難計画の策定(岐阜県)	広域避難計画の実施(岐阜県)	
		多治見市 土岐市 瑞浪市 恵那市	地下空間・地区タイムラインの作成・周知	タイムラインの活用・住民参加・見学の実施(多治見市・土岐市・瑞浪市・恵那市) 地区タイムライン・自治会タイムラインの作成支援(多治見市・恵那市)		
		多治見市 土岐市 瑞浪市 恵那市	要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進(多治見市・土岐市・瑞浪市・恵那市)		
		岐阜県 多治見市 土岐市 瑞浪市 恵那市	関係機関との連携強化	土岐川流域都市圏防災協議会 治水防災協議会(多治見市)		
		多治見市 土岐市 瑞浪市 恵那市	ハザードマップの更新	ハザードマップの更新・防災訓練等(多治見市・土岐市・瑞浪市・恵那市)		
		岐阜県	土砂災害警戒区域等の指定・周知	土砂災害警戒区域等の指定・周知(岐阜県)		
		岐阜県	土砂災害リスク情報の現地表示(標識設置)	土砂災害リスク情報の現地表示(標識設置)(岐阜県)		
		岐阜県	災害時応急対策用資機材備蓄地点の整備	災害時応急対策用資機材備蓄地点の整備(岐阜県)		
	住民の主体的な避難行動を促す取組	岐阜県	避難場所や経路等に関する情報の周知	避難場所等に関する情報の周知(岐阜県)		
		岐阜県 多治見市 土岐市	分かりやすい教材等を用いた防災教育	防災教育の実施		
		多治見市 土岐市 瑞浪市	ハザードマップの周知 および住民の水害リスクに対する理解促進の取組	水防訓練の実施(多治見市) 住民と連携した点検及び点検訓練の実施(土岐市)		
		岐阜県	岐阜県土砂災害警戒情報ポータルによる危険度情報の発信	岐阜県土砂災害警戒情報ポータルによる危険度情報の発信		
		岐阜県	土砂災害警戒情報の発表	土砂災害警戒情報の発表		
		岐阜県	土砂災害防止月間等における広報活動、防災訓練の実施	土砂災害防止月間等における広報活動、防災訓練の実施		
	ソフト対策のための整備	危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設	岐阜県 土岐市		一般河川での水位計や監視カメラの設置・増設(多治見市・土岐市・瑞浪市・恵那市) 普通河川での危機管理型水位計の設置(土岐市) 監視カメラの設置(土岐市) 普通河川での監視カメラの設置(土岐市)	
		グリーンインフラの取組み	自然環境の保全・復元などの自然再生	河川の連続性の回復	ファンクション・インフラとしての河川による多様な機能(土岐市・日野町・瑞浪市・大原町・大井町・大井町・大井町)	
	グリーンインフラの取組み	治水対策における多自然川づくり	整備における生物の多様な生育環境の保全		多自然川づくりの実施(土岐市・日野町・瑞浪市・大原町・大井町・大井町・大井町)	
		自然環境が有する多様な機能活用の取組み	小中学校などにおける河川環境学習		小中学校などにおける河川環境学習(土岐市・日野町・瑞浪市・大原町・大井町・大井町)	
自然環境保全に関する協議会等の活動		自然環境保全に関する協議会等の活動		自然環境保全に関する協議会等の活動		
治山対策等による森林の再生基盤確保		砂防関係施設の整備		砂防関係施設の整備		

庄内川水系流域治水プロジェクト【土岐川圏域3/3】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

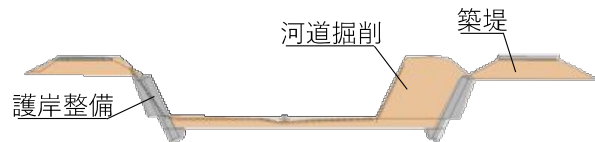
土岐川圏域

【対策事例】

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策実施例】

- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築

堤防整備・河道掘削



橋梁改築



- 内水被害軽減対策

雨水排水網の新設・増強



雨水排水路(多治見市)

- 土砂災害対策

治山施設の整備



治山堰堤(瑞浪市)

- 流出抑制対策

既設2ダムにおける事前放流等の実施・体制構築



神徳防災ダム(瑞浪市)

貯留管等の整備



雨水貯留施設(多治見市)

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策実施例】

- 被害軽減対策

地下空間・地区タイムラインの作成・周知



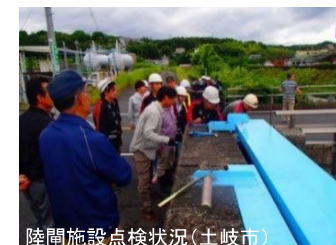
地区タイムライン作成(恵那市)

関係機関との連携強化



土岐川流域新五流総地域委員会
(岐阜県・多治見市・瑞浪市・土岐市・恵那市)

- 住民の主体的な避難行動を促す取組み
ハザードマップの周知および住民の
水害リスクに対する理解の促進の取組



陸間施設点検状況(土岐市)

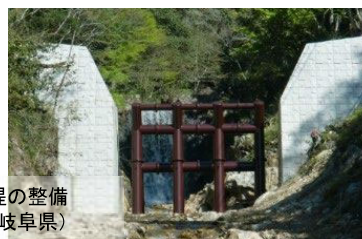
【グリーンインフラの取組】

- 沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全

生物の生息環境の維持に資する土地の保全



間伐等の森林整備
(岐阜県)



砂防堰堤の整備
不動川(岐阜県)

- 治水対策における多自然川づくり

整備における生物の多様な生育環境の保全



巨礫を河岸に残し砂州の回復を図る
小里川(岐阜県)

- 自然環境が有する多様な機能活用の取組み

小中学校などにおける河川環境学習



笠原川(岐阜県)

庄内川水系流域治水プロジェクト【新川圏域1/4】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

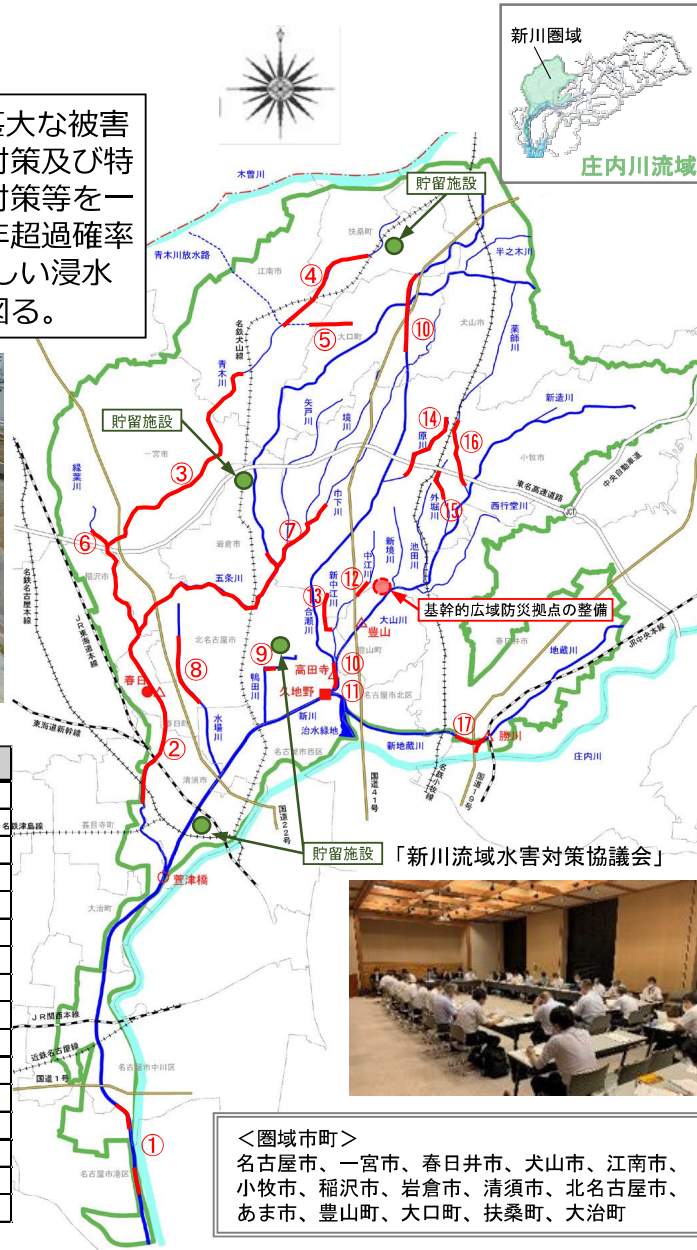
新川圏域

○平成12年9月洪水（東海豪雨）で、甚大な被害が発生した新川圏域では、総合治水対策及び特定都市河川浸水被害対策法に基づく対策等を一層推進していくことで、流域全体で年超過確率1/10の洪水が発生した場合でも、著しい浸水被害（住宅床上浸水被害）の解消を図る。



地蔵川排水機場の整備状況（愛知県）

位置	河川名	主な整備内容（愛知県・圏域市町）
①	新川	堤防整備、堤防強化（耐震）、雨水ポンプ（新設・増強）
②	五条川	堤防整備、河道掘削、調節池、雨水ポンプ（増強）
③④	青木川	堤防整備、河道掘削、調節池
⑤	緑葉川	放水路
⑥	縁葉川	堤防整備、河道掘削
⑦	巾下川	堤防整備、河道掘削、調節池
⑧	水場川	堤防整備、河道掘削、調節池、排水機場（増強）
⑨	鴨田川	堤防整備、河道掘削、排水機場（増強）
⑩	合瀬川	堤防整備、河道掘削、雨水ポンプ（新設）
⑪	大山川	堤防整備、河道掘削、調節池、雨水ポンプ（増強）
⑫	中江川	堤防整備、河道掘削、調節池
⑬	新中江川	堤防整備、河道掘削
⑭	原川	堤防整備、河道掘削、調節池
⑮	外堀川	堤防整備、河道掘削
⑯	薬師川	堤防整備、河道掘削
⑰	地蔵川	河道掘削、排水機場（新設）



＜圏域市町＞
名古屋市、一宮市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、岩倉市、清須市、北名古屋市、あま市、豊山町、大口町、扶桑町、大治町

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
 - ・堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 等
 - ・排水機場等の新設・増強・長寿命化対策
 - ・流出抑制対策
(貯留管等の整備、民間開発による貯留施設設置指導、各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援、ため池等の活用、水田の貯留機能向上、透水性舗装の整備)
 - ・土砂災害対策（砂防関係施設の整備、治山施設の整備）
 - ・内水被害軽減対策
(雨水排水網の新設・増強、ポンプ場の新設・増強・機能強化、効率的なポンプ運転調整ルールの検討)

- 被害対象を減少させるための対策**
 - ・頻発・激化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
(立地適正化計画への防災指針の位置づけ、水害リスクを考慮した居住誘導)
 - ・浸水ハザードエリアにおける各家庭への浸水防止対策
(浸水防止塀設置の支援、出水期前に希望する市民への土のうの事前配布)

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
 - ・早期復旧に備えた対策（防災拠点の整備）
 - ・被害軽減対策
(公園等を活用した高台の整備、広域避難計画の策定、地区タイムラインの作成・周知、要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保、ハザードマップの更新、土砂災害警戒区域等の指定・周知)
 - ・住民の主体的な避難行動を促す取組
(避難場所や経路等に関する情報の周知、分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進、ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組)
 - ・ソフト対策のための整備
(危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設)

- グリーンインフラの取組**
 - ・自然環境の保全・復元などの自然再生
(干潟の保全・再生、ヨシ原再生)
 - ・生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成（大型水鳥等の採餌場保全、休憩地等の生息環境創出）
 - ・治川の保水・遊水機能を有する土地を保全
(生物の生育環境の維持に資する土地の保全)
 - ・治水対策における多自然川づくり
(整備における生物の多様な生育環境の保全、河川景観の保全・創出)
 - ・魅力ある水辺空間・賑わい創出
(水辺の賑わい空間創出、ビオトープの整備)
 - ・自然環境が有する多様な機能活用の取組み
(小中学校などにおける河川環境学習、自然環境保全に関する協議会等の活動)

庄内川水系流域治水プロジェクト【新川圏域2/4】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

新川圏域

対策項目	対策メニュー	実施主体	短期	中期	中長期		
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 等	愛知県、名古屋市、一宮市、小牧市、豊山町、大治町	新川、五条川、栗原川、(幸)生嶺川、(幸)糠川、(幸)千代田川、(幸)新川、(幸)小針川 等				
	排水機場等の新設・増強・長寿命化対策	愛知県、名古屋市、豊山町	吉木川放水路	地蔵川排水機場(新設)、久田長木川排水機場(増強)	水桶川及び鴨田川排水機場(増強)、地蔵川排水機場(新設)	長寿命化対策	
	流出抑制対策	貯留管等の整備	愛知県、一宮市、春日井市、江南市、小牧市、稲沢市、岩倉市、清須市、北名古屋市、あま市、扶桑町、大治町	雨水調整池 等	調整池の整備(青木川、大山川)	調整池の整備(五条川、市下川 等)	
		民間開発による貯留施設設置指導	名古屋市、江南市、清須市、北名古屋市、扶桑町、大治町	開発における雨水逶送随時行為指導、等			
		各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援	名古屋市、一宮市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、岩倉市、清須市、北名古屋市、扶桑町	雨水貯留施設等設置補助、浄化槽雨水貯留施設転用費補助 等			
		ため池等の活用	名古屋市、春日井市、小牧市	堆積土砂の浚渫の推進、ため池の機能強化 等			
		水田の貯留機能向上	小牧市	水田の活用による流出抑制			
		透水性舗装の整備	名古屋市、清須市、あま市	透水性舗装の実施			
		土砂災害対策	砂防関係施設の整備	愛知県	砂防関係施設の整備(倉曾沢地区 等)		
	治山施設の整備		愛知県	治山ダム工の整備(犬山市、小牧市)			
	内水被害軽減対策	雨水排水網の新設・増強	名古屋市、一宮市、春日井市、犬山市、小牧市、清須市、北名古屋市、豊山町	雨水排水網の整備・増強 等			
		ポンプ場の新設・増強・機能強化	名古屋市、一宮市、春日井市、岩倉市、清須市、北名古屋市、あま市、大治町	雨水排水ポンプ場の整備			
		効率的なポンプ運転調整ルールへの検討	愛知県、名古屋市、一宮市、小牧市、稲沢市、岩倉市、清須市、北名古屋市、あま市、豊山町、大治町	排水調整ルールの運用			
	被害対象を減少させるための対策	頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組	立地適正化計画への防災指針の位置づけ	名古屋市、春日井市、犬山市、清須市	防災指針の作成、立地適正化計画に基づく検討		
			水害リスクを考慮した居住誘導	名古屋市	立地適正化計画に基づく居住誘導		
		浸水ハザードエリアにおける各家庭への浸水防止対策	浸水防止塀設置の支援	扶桑町	浸水防止塀設置の支援		
			出水期前に希望する市民への土のうの事前配布	春日井市	出水期前に希望する市民への土のうの事前配布		

庄内川水系流域治水プロジェクト【新川圏域3/4】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

新川圏域

対策項目	対策メニュー		実施主体	短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	早期復旧に備えた対策	防災拠点の整備	愛知県、清須市、大治町	▲	▲	▲
		公園等を活用した高台の整備	名古屋市	▲	▲	▲
	被害軽減対策	広域避難計画の策定	清須市	▲	▲	▲
		地区タイムラインの作成・周知	あま市	▲	▲	▲
		要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	名古屋市、一宮市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、岩倉市、北名古屋市、清須市、あま市、豊山町、大口町、扶桑町、大治町	▲	▲	▲
		ハザードマップの更新	名古屋市、春日井市、犬山市、小牧市、稲沢市、岩倉市、北名古屋市、あま市、豊山町、大口町	▲	▲	▲
		土砂災害警戒区域等の指定・周知	愛知県	▲	▲	▲
	住民の主体的な避難行動を促す取組	避難場所や経路等に関する情報の周知	愛知県、名古屋市、一宮市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、岩倉市、清須市、北名古屋市、あま市、豊山町、扶桑町	▲	▲	▲
		分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進	愛知県、名古屋市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、岩倉市、清須市、北名古屋市、あま市、豊山町、扶桑町、大治町	▲	▲	▲
		ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組	愛知県、名古屋市、岩倉市、清須市、北名古屋市、あま市、大治町	▲	▲	▲
	ソフト対策のための整備	危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設	愛知県、名古屋市、春日井市、犬山市、稲沢市、大口町	▲	▲	▲
	グリーンインフラの取組	自然環境の保全・復元などの自然再生	干潟保全・再生	愛知県、名古屋市	▲	▲
ヨシ原再生			愛知県、名古屋市	▲	▲	▲
生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成		大型水鳥等の採餌場保全	名古屋市	▲	▲	▲
		休憩地等の生息環境創出	名古屋市、岩倉市	▲	▲	▲
沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全		生物の生育環境の維持に資する土地の保全(ため池)	名古屋市、犬山市、小牧市	▲	▲	▲
		生物の生育環境の維持に資する土地の保全(水田)	小牧市	▲	▲	▲
治水対策における多自然川づくり		整備における生物の多様な生育環境の保全	愛知県、名古屋市	▲	▲	▲
		河川景観の保全・創出	名古屋市、清須市	▲	▲	▲
魅力ある水辺空間・賑わい創出		水辺の賑わい空間創出	江南市、岩倉市	▲	▲	▲
		ビオトープの整備	愛知県	▲	▲	▲
自然環境が有する多様な機能活動の取組み		小中学校などにおける河川環境学習	名古屋市、江南市、岩倉市、清須市、豊山町	▲	▲	▲
		自然環境保全に関する協議会等の活動	名古屋市	▲	▲	▲

庄内川水系流域治水プロジェクト【新川圏域4/4】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

新川圏域

【対策事例】

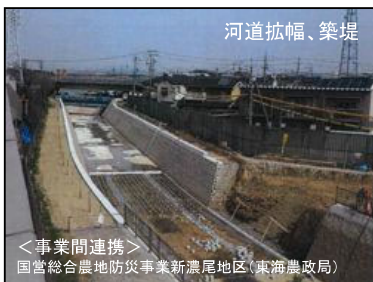
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

●堤防整備(愛知県 新川)



堤防耐震

●堤防整備(愛知県 薬師川)



河道拡幅、築堤

<事業間連携>
国営総合農地防災事業新濃尾地区(東海農政局)

●流出抑制対策

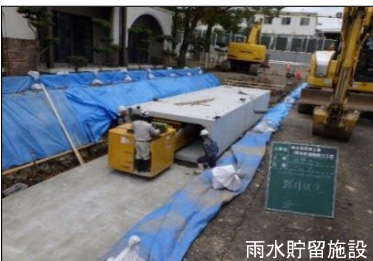
(貯留管等の整備<愛知県>)



青木川第4調節池

●流出抑制対策

(貯留管等の整備<大口町>)



雨水貯留施設

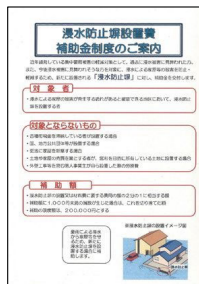
【被害対象を減少させるための対策】

●浸水ハザードエリアにおける各家庭への浸水防止対策

(浸水防止塀設置の支援<扶桑町>)



浸水防止塀



【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

●早期復旧に備えた対策 (防災拠点の整備<愛知県>)



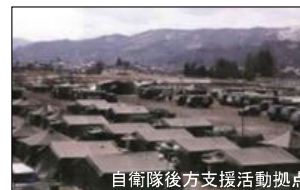
支援物資保管・作業ヤード



緊急消防援助隊ベースキャンプ



災害医療支援
(SCU)



自衛隊後方支援活動拠点



防災拠点
予定地

大山川調節池の整備

●住民の主体的な避難行動を促す取組

(避難場所や経路等に関する情報の周知)



洪水避難ビル誘導標識(江南市)

(分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進)



水防訓練(岩倉市)

(ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組)



みずから守るプログラムによる
手作りハザードマップ(清須市)

【グリーンインフラの取組】

●沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全 (生物の生育環境の維持に資する土地の保全 <小牧市>)

畔の嵩上げ・流出量調節ゲート



●自然環境が有する多様な機能活動の取組み

(小中学校などにおける
河川環境学習<岩倉市>)



ミジシミアカミガズ(外来種)



五条川生態調査

庄内川水系流域治水プロジェクト【庄内川上流圏域1/3】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

庄内川上流圏域

○平成12年9月洪水（東海豪雨）および平成23年9月洪水（15号台風）で、大きな被害が発生した庄内川上流圏域に位置する河川では、平成25年10月に策定した「河川整備計画」に基づき、年超過確率1/30～1/5の降雨に対しても、洪水を安全に流し、圏域における浸水被害の軽減を図る。

位置	河川名	主な整備内容（愛知県・圏域市町）
①	八田川	堤防・護岸整備、河道掘削、雨水ポンプ（増強）
②	地藏川	函渠改築
③	内津川	雨水ポンプ（新設）
④⑤	内津川	護岸整備、河道掘削
⑥	野添川	堤防・護岸整備
⑦⑧	香流川	護岸整備、河道掘削
⑨	天神川	護岸整備、河道掘削
⑩	矢田川	護岸整備、河道掘削
⑪	矢田川	堤防整備、河道掘削
⑫⑬	瀬戸川	護岸整備、河道掘削
⑭	守山川	調節池
⑮	隅除川	調節池
⑯	(準)長戸川	堤防・護岸整備
⑰	(普)香流川	維持浸漕
⑱	(準)千種台川	河川整備

●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・堤防整備、河道掘削、橋梁改築 等
- ・流出抑制対策
(貯留管等の整備、各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援、ため池等の活用、水田の貯留機能向上、透水性舗装の整備)
- ・土砂災害対策
(砂防関係施設の整備、治山施設の整備)
- ・内水被害軽減対策
(雨水排水網の新設・増強・ポンプ場の新設・増強・機能強化、効率的なポンプ運転調整ルールを検討)

●被害対象を減少させるための対策

- ・頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
(立地適正化計画への防災指針の位置づけ、水害リスクを考慮した居住誘導)
- ・浸水ハザードエリアにおける各家庭への浸水防止対策
(出水期前に希望する市民への土のうの事前配布)

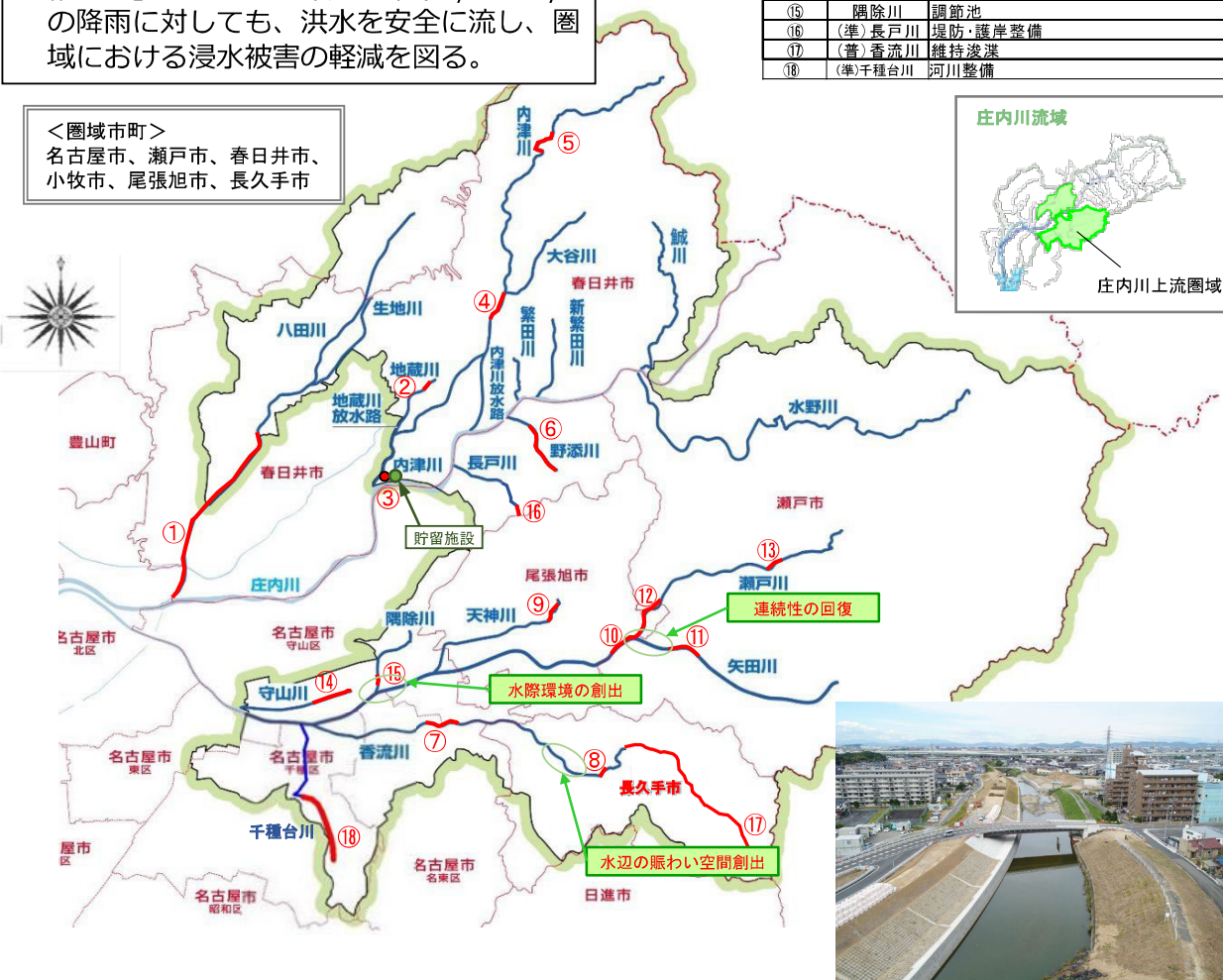
●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・被害軽減対策
(要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保、ハザードマップの更新、土砂災害警戒区域等の指定・周知)
- ・住民の主体的な避難行動を促す取組
(避難場所や経路等に関する情報の周知、分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進、ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組)
- ・ソフト対策のための整備
(危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設)

●グリーンインフラの取組

- ・自然環境の保全・復元などの自然再生
(河川の連続性の回復、水際環境の創出)
- ・沿川の保水、遊水機能を有する土地を保全
(生物の生育環境の維持に資する土地の保全)
- ・治水対策における多自然川づくり
(整備における生物の多様な生育環境の保全)
(河川景観の保全・創出)
- ・魅力ある水辺空間・賑わい創出 (水辺の賑わい空間創出)
- ・自然環境が有する多様な機能活用の取組み
(小中学校などにおける河川環境学習、自然環境保全に関する協議会等の活動)

<圏域市町>
名古屋市、瀬戸市、春日井市、小牧市、尾張旭市、長久手市



八田川の整備状況（愛知県）

庄内川水系流域治水プロジェクト【庄内川上流圏域2/3】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

庄内川上流圏域

対策項目	対策メニュー	実施主体	短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、河道掘削、橋梁改築 等	愛知県、名古屋市、瀬戸市、長久手市	八田川、野瀬川(豊橋市) 等			
	流出抑制対策	貯留管等の整備	名古屋市、春日井市、小牧市、尾張旭市	雨水調整池 等		
		各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援	名古屋市、春日井市、小牧市	雨水貯留浸透施設等設置補助、浄化槽雨水貯留施設設置補助 等		
		ため池等の活用	名古屋市、瀬戸市、春日井市、尾張旭市	遊撃中継の浸水の回避、ための遊撃池等 等		
		水田の貯留機能向上	小牧市、尾張旭市	水田の活用による流出抑制		
		透水性舗装の整備	名古屋市、尾張旭市	透水性舗装の整備		
	土砂災害対策	砂防関係施設の整備	愛知県	砂防関係施設の整備(大野田12条田) 等		
		治山施設の整備	愛知県	治山工事の整備(春日井市、瀬戸市)		
	内水被害軽減対策	雨水排水網の新設・増強	名古屋市、春日井市、尾張旭市	雨水排水網の新設・増強		
		ポンプ場の新設・増強・機能強化	名古屋市、春日井市	雨水排水ポンプ場の整備		
		効率的なポンプ運転調整ルールの検討	名古屋市	効率的なポンプ運転調整ルールの検討		
	被害対象を減少させるための対策	頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組	名古屋市、春日井市、尾張旭市	防災情報の収集、早期通告計画に基づく検討		
浸水ハザードエリアにおける各家庭への浸水防止対策		名古屋市、瀬戸市	浸水ハザードマップの作成・活用			
浸水ハザードエリアにおける各家庭への浸水防止対策		春日井市、尾張旭市	出水前に希望する市民への土のうの事前配布			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	被害軽減対策	公園等を活用した高台の整備	名古屋市	高台の整備		
		要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成推進と避難の実効性確保	名古屋市、瀬戸市、春日井市、小牧市、尾張旭市、長久手市	避難確保計画の作成		
		ハザードマップの更新	名古屋市、瀬戸市、春日井市、小牧市、尾張旭市、長久手市	ハザードマップの作成・更新		
		土砂災害警戒区域等の指定・周知	愛知県	土砂災害警戒区域等の指定・周知		
	住民の主体的な避難行動を促す取組	避難場所や経路等に関する情報の周知	愛知県、名古屋市、瀬戸市、小牧市	防災情報の収集、早期通告計画に基づく検討		
		分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進	愛知県、名古屋市、瀬戸市、春日井市、小牧市	防災教育の推進、防災訓練の開催、雨水浸水対策の普及(市民、事業者への普及・啓発の策定) 等		
		ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組	愛知県、名古屋市	みずから学ぶプログラムによる市民向けハザードマップの普及、マイハザードマップの作成支援 等		
ソフト対策のための整備	危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設	愛知県、名古屋市、春日井市、長久手市	危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設 等			
グリーンインフラの取組	自然環境の保全・復元などの自然再生	河川の連続性の回復	愛知県	八田川 魚道の整備		
		水際環境の創出	愛知県	水田川岸アースプロテクト		
	沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全	生物の生育環境の維持に資する土地の保全(ため池)	名古屋市、瀬戸市、春日井市、小牧市、尾張旭市、長久手市	ため池の浸水・保全、活用、維持のための取上げ、雨水社の改良 等		
		生物の生育環境の維持に資する土地の保全(水田)	小牧市、尾張旭市	畦の取上げ、透水性舗装による雨水流出抑制		
	治水対策における多自然川づくり	整備における生物の多様な生育環境の保全	愛知県	遊撃池等、河川掘削		
		河川景観の保全・創出	名古屋市	河川美化活動		
	魅力ある水辺空間・賑わい創出	水辺の賑わい空間創出	愛知県、瀬戸市	水辺の緑の回復整備、河川沿いの親水空間の整備		
	自然環境が有する多様な機能活動の取組み	小中学校などにおける河川環境学習	名古屋市	湧き水モニタリング、水質環境調査等市民参加型モニタリング		
		自然環境保全に関する協議会等の活動	愛知県	水辺の緑の回復整備、河川沿いの親水空間の整備		

庄内川水系流域治水プロジェクト【庄内川上流圏域3/3】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

庄内川上流圏域【対策事例】

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

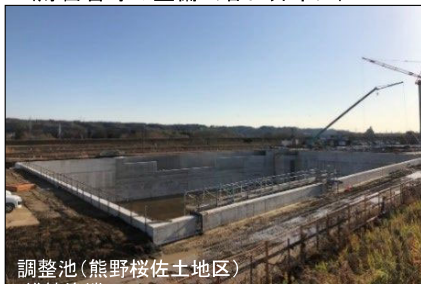
●堤防整備(名古屋市 野添川)



河道拡幅

●流出抑制対策

(貯留管等の整備<春日井市>)



調整池(熊野桜佐土地区)

●土砂災害対策

(砂防堰堤の整備<愛知県>)



砂防堰堤

●土砂災害対策

(治山施設の整備<愛知県>)



木製校倉式ダム工

【被害対象を減少させるための対策】

●浸水ハザードエリアにおける各家庭への浸水防止対策

(出水期前に希望する市民への土のうの事前配布<春日井市>)



市から土のうを配布します

市から土のうを配布します

「土のう」は、洪水が来たときに、家の入り口や窓の隙間に詰めておくと、水が入り込まないで済みます。事前に配布する土のうは、お家の入り口や窓の隙間に詰めておくと、水が入り込まないで済みます。

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

●住民の主体的な避難行動を促す取組

(分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進)



防災教育(瀬戸市)



水防訓練(尾張旭市)

●ソフト対策のための整備

(危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設)

(避難場所や経路等に関する情報の周知)



防災ガイドブックの配布(小牧市)



カメラ映像

監視カメラの設置(長久手市)

【グリーンインフラの取組】

●自然環境の保全・復元などの自然再生

(河川の連続性の回復<愛知県>)



魚道の整備(矢田川)

(水際環境の創出<愛知県>)



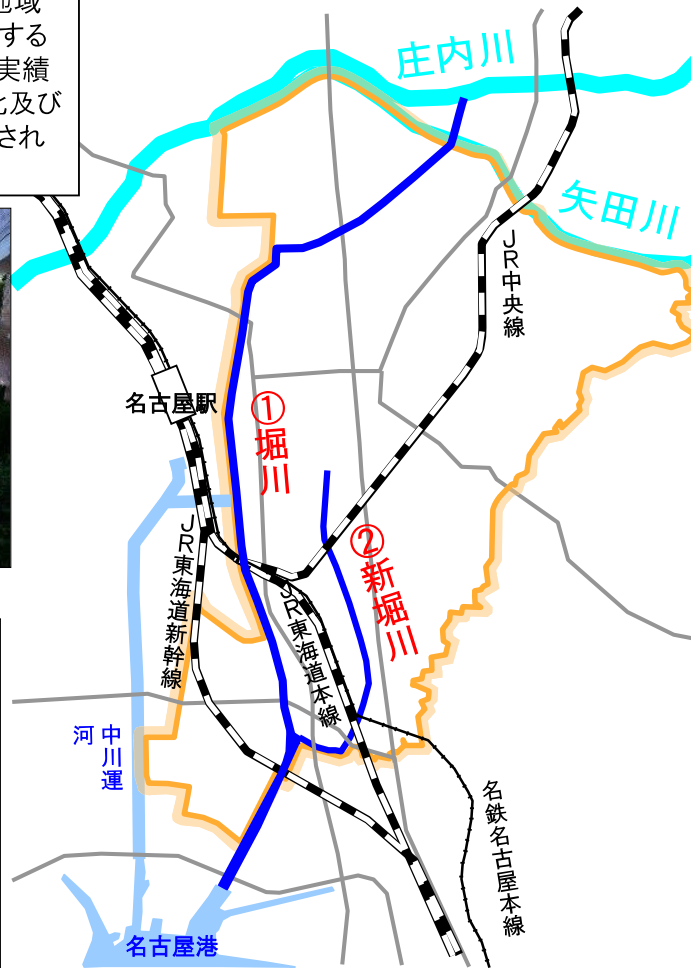
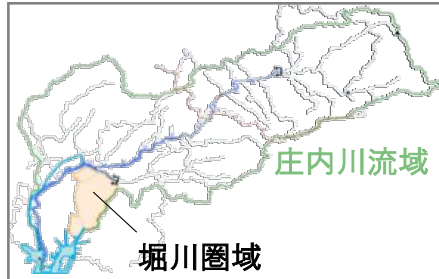
バープエ(矢田川)

庄内川水系流域治水プロジェクト【堀川圏域1/3】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

堀川圏域

- 治水対策は、下水道整備と整合を図りながら、概ね10年に1回程度発生することが予想される降雨（24時間雨量205mm、1時間雨量63mm）による洪水を安全に流下させることを目標とする。
- 目標とする治水安全度を超える規模の洪水に対しては、雨量や河川水位などの防災情報を地域住民や関係機関に提供し、水防活動を支援する。さらに、災害時のみならず平常時から浸水実績図をはじめとする情報提供、水防体制の強化及び関係機関や地域住民との連携に努め、想定される被害の軽減を図る。



【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備（橋梁改築、堤防(護岸)整備、河床掘削）
- 流出抑制対策
 - ・貯留管等の整備(調節池)
 - ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援（雨水貯留施設設置補助金交付）
 - ・ため池等の活用(河川・ため池・調節池の堆積土砂の浚渫等)（ため池の機能強化(耐震化)）
 - ・透水性舗装の整備
- 内水被害軽減対策
 - ・雨水排水網の新設・増強
 - ・ポンプ場の新設・増強・機能強化（雨水ポンプの増強・機能強化(耐震化、耐水化)）

【被害対象を減少させるための対策】

- 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
 - ・立地適正化計画への防災指針の位置付け(防災指針の作成)
 - ・水害リスクを考慮した居住誘導(立地適正化計画に基づく居住誘導)

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保（要配慮者利用施設等における避難確保計画の取組の促進）
 - ・ハザードマップの更新
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・避難場所や経路等に関する情報の周知(ハザードマップ等の全戸配布)
 - ・分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進（住民への普及・啓発(雨水流出抑制の推進)）
 - ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組（ハザードマップ等の全戸配布）
- ソフト対策のための整備
 - ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設（独自システムを用いた水位状況、ポンプ運転状況等の常時配信）

【グリーンインフラの取組】

- 生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成
 - ・休憩地等の生息環境創出(都心の生きもの復活事業)
- 健全なる水循環系の確保
 - ・浄化浚渫(河床掘削)
- 沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全
 - ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全(ため池の浚渫・保全)
- 治水対策における多自然川づくり
 - ・河川景観の保全・創出(河川美化活動)
- 魅力ある水辺空間・賑わい創出(水辺空間の利活用)
- 自然環境が有する多様な機能活用の取組み
 - ・小中学校などにおける河川環境学習（湧き水モニタリング、水質環境目標値市民モニタリング）
 - ・民間協働による水質調査（市民団体との協働による水質調査(堀川1000人調査隊)）

河川名	整備内容
① 堀川	堤防(護岸)整備、河床掘削、雨水ポンプの増強
② 新堀川	調節池、雨水ポンプの増強

庄内川水系流域治水プロジェクト【堀川圏域2/3】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

堀川圏域

対策項目	対策メニュー		短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	橋梁改築、堤防（護岸）整備、河道整備		堀川			
	流出抑制対策	貯留管等の整備			新堀川（調節池）	
		各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援		雨水貯留施設設置補助金交付		
		ため池等の活用		河川・ため池・調整池の堆積土砂の浚渫等		
					ため池の機能強化（耐震化）	
	内水被害軽減対策	透水性舗装の整備		透水性舗装の実施		
		雨水排水網の新設・増強		雨水排水網の新設・増強		
		ポンプ場の新設・増強・機能強化		雨水ポンプの増強		
				雨水ポンプの機能強化（耐震化・耐水化）		
	被害対象を減少させるための対策	類発化・激化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組		立地適正化計画への防災指針の位置付け		
		防災指針の作成				
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	被害軽減対策	公園等を活用した高台の整備		整備の検討		
		要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保		要配慮者利用施設等における避難確保計画の取組の促進		
		ハザードマップの更新		情報の収集・検討等 名古屋市ハザードマップ完成		
	住民の主体的な避難行動を促す取組	避難場所や経路等に関する情報の周知		ハザードマップ等の全戸配布		
		分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進		住民への普及・啓発（雨水流出抑制の推進）		
		ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組		ハザードマップ等の全戸配布		
	ソフト対策のための整備		危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設	独自システムを用いた水位状況、ポンプ運転状況等の常時配信		
	グリーンインフラの取組	生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成		休憩地等の生息環境創出	都心の生きもの復活事業	
健全なる水循環系の確保		浄化浚渫	河床掘削			
沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全		生物の生息環境の維持に資する土地の保全	ため池の浚渫、ため池の保全			
治水対策における多自然川づくり		河川景観の保全・創出	河川美化活動			
魅力ある水辺空間・賑わい創出		水辺の賑わい空間創出	水辺空間の利活用			
自然環境が有する多様な機能活用の取組み		小中学校などにおける河川環境学習	湧き水モニタリング、水質環境目標値市民モニタリング			
		民間協働による水質調査	市民団体との協働による水質調査（堀川1000人調査隊）			

庄内川水系流域治水プロジェクト【堀川圏域3/3】

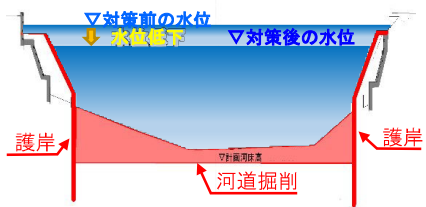
～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

堀川圏域

【対策事例】

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

● 橋梁改築、堤防(護岸)整備、河床掘削



堤防(護岸)整備



● 流出抑制対策

・ため池等の活用



● 内水被害軽減対策

・雨水ポンプ場の増強・機能強化



・雨水排水網の新設・増強



【被害対象を減少させるための対策】

● 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組

・立地適正化計画への防災指針の位置づけ
(防災指針の作成)

・水害リスクを考慮した居住誘導
(立地適正化計画に基づく居住誘導)



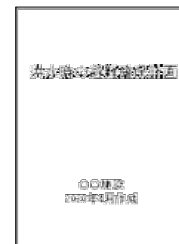
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

● 被害軽減対策

・ハザードマップの更新
・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
(要配慮者利用施設における避難確保計画の取組の促進)

● 住民の主体的な避難行動を促す取組

・避難場所や経路等に関する情報の周知
・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
・分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進
(住民への普及啓発(雨水流出抑制の推進))



【グリーンインフラの取組】

● 生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成

・休憩地等の生息環境創出(都心の生きもの復活事業)

● 健全なる水循環系の確保

・浄化浚渫(河床掘削)

● 魅力ある水辺空間・賑わい創出

・水辺の賑わい空間創出(水辺空間の利活用)

● 自然環境が有する多様な機能活用の取組み

・小中学校などにおける河川環境学習
(湧き水モニタリング、水質環境目標値市民モニタリング)
・民間協働による水質調査
(市民団体との協働による水質調査(堀川1000人調査隊))



庄内川水系流域治水プロジェクト (各構成員版)

構成員

 多治見市 (P59)	 瑞浪市 (P60)	 恵那市 (P61)	 土岐市 (P62)
 名古屋市 (P63)	 一宮市 (P65)	 瀬戸市 (P66)	 春日井市 (P67)
 犬山市 (P68)	 江南市 (P69)	 小牧市 (P70)	 稲沢市 (P71)
 尾張旭市 (P72)	 岩倉市 (P73)	 清須市 (P74)	 北名古屋市 (P75)
 あま市 (P76)	 長久手市 (P77)	 豊山町 (P78)	 大口町 (P79)
 扶桑町 (P80)	 大治町 (P81)	 蟹江町 (P82)	
 岐阜県 県土整備部・都市建築部・林政部		 愛知県 建設局・農林基盤局	
 多治見砂防国道事務所・庄内川河川事務所		 東海農政局 (P83)	
 林野庁 中部森林管理局 (P84)		 気象庁 岐阜地方気象台・名古屋地方気象台 (P85)	

【多治見市の流域治水対策】



オール多治見による**雨水流出抑制と市民の防災意識向上を實踐**、中流域の役割として**下流に位置する市町への流出負担軽減**

- 2011年台風15号豪雨被害を受け、平成24年に「多治見市平和町、池田町、前畑町、田代町等雨水排水対策協議会」を設置し、71事業を実施。対象区域の床上浸水が概ね解消。
【事業期間】2011年から2018年(8年間) 【総事業費】74.9億円(うち 国費:40.2億円)
- さらなる浸水対策推進のため、市内全域を対象にした、国・県・市等関係者による多治見市浸水対策協議会を平成31年に設置。今後は、流域治水対策とともに事業を実施予定。



H23洪水時の様子

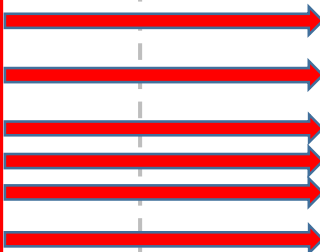


対策メニュー

短期 中・長期

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備
- 河道掘削
- 流出抑制対策
 - ・貯留管等の整備(雨水貯留施設の新設(駅南再開発)、貯留施設機能の維持・回復(調整池堆積土砂の浚渫))
 - ・民間開発による貯留施設設置指導(開発行為に対する流出抑制指導)
 - ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援(雨水貯留施設設置補助金交付)
 - ・ため池等の活用(ため池等農業施設の活用、既設貯留施設(ため池等)の事前放流)
- 内水被害軽減対策
 - ・雨水排水網の新設、増強(雨水排水網の新設、増強)



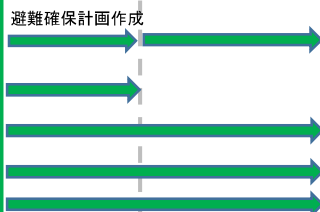
【被害対象を減少させるための対策】

- 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
- 立地適正化計画への防災指針の位置付け



【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
 - ・地下空間、地区タイムラインの作成、周知(タイムラインの作成、周知(運用・住民周知・見直しの実施、地区タイムラインの作成支援))
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保(高齢者等の避難確保計画の策定の推進)
 - ・関係機関との連携強化(多治見市浸水対策協議会、土岐川流域新五流総地域委員会)
 - ・ハザードマップの更新(ハザードマップの作成、活用)
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進(防災教育の実施)
 - ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組(水防訓練の実施)



【グリーンインフラの取組】

- 沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全
 - ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全(ため池の事前放流等による水位調整)
- 魅力ある水辺空間・賑わい創出
 - ・水辺の賑わい空間創出(かわまちづくり、りばーぴあ)



※短期目標は5年程度、中・長期目標は10～20年程度を想定

【瑞浪市の流域治水対策】



瑞浪市は、上流域に位置する自治体として、**豊かな水辺環境の維持に努める**とともに、中・下流域への流出負担軽減を推進し、市民の防災意識の向上を図る



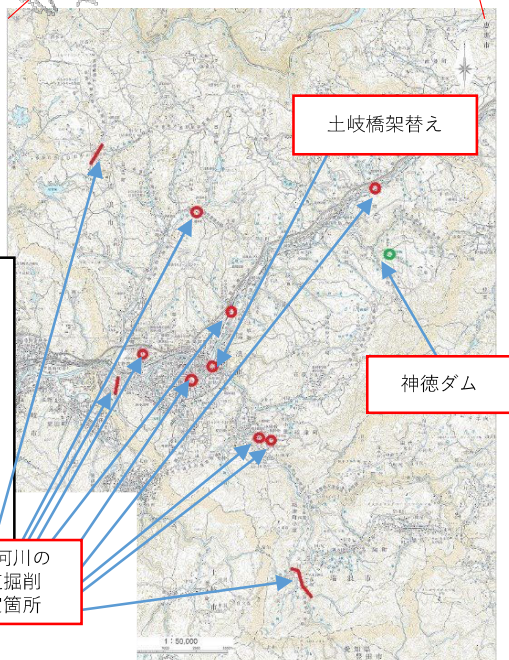
土岐橋
一級河川での河川橋梁改築



小井沢川
普通河川の河道掘削の実施



神徳ダム
既設ダム2ダムにおける事前放流等の実施・体制構築



対策メニュー

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備
 - ・一級河川での河川橋梁改築
 - ・普通河川の河道掘削及び浸水対策の実施
- 流出抑制対策
 - ・既設ダム2ダムにおける事前放流等の実施・体制構築
 - ・民間開発による貯留施設設置指導（開発行為に対する流出抑制指導（貯留・浸水施設））

【被害対象を減少させるための対策】

- 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
 - ・立地適正化計画への防災指針の位置付け（立地適正化計画へ防災指針の位置付け）

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

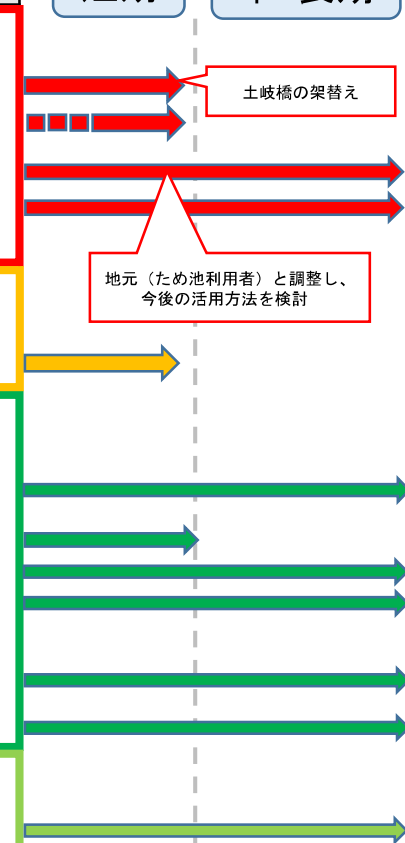
- 被害軽減対策
 - ・地下空間・地区タイムラインの作成・周知（自治体タイムラインの周知）
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保（高齢者等の避難確保計画の策定の推進）
 - ・関係機関との連携強化（土岐川流域新五流総地域委員会）
 - ・ハザードマップの更新（ハザードマップの更新・活用）
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・避難場所や経路等に関する情報の周知（気象・防災情報の提供）
 - ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組（マイタイムライン作成の促進）

【グリーンインフラの取組】

- 沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全
- 生物の生息環境の維持に資する土地の保全（ため池）

短期

中・長期



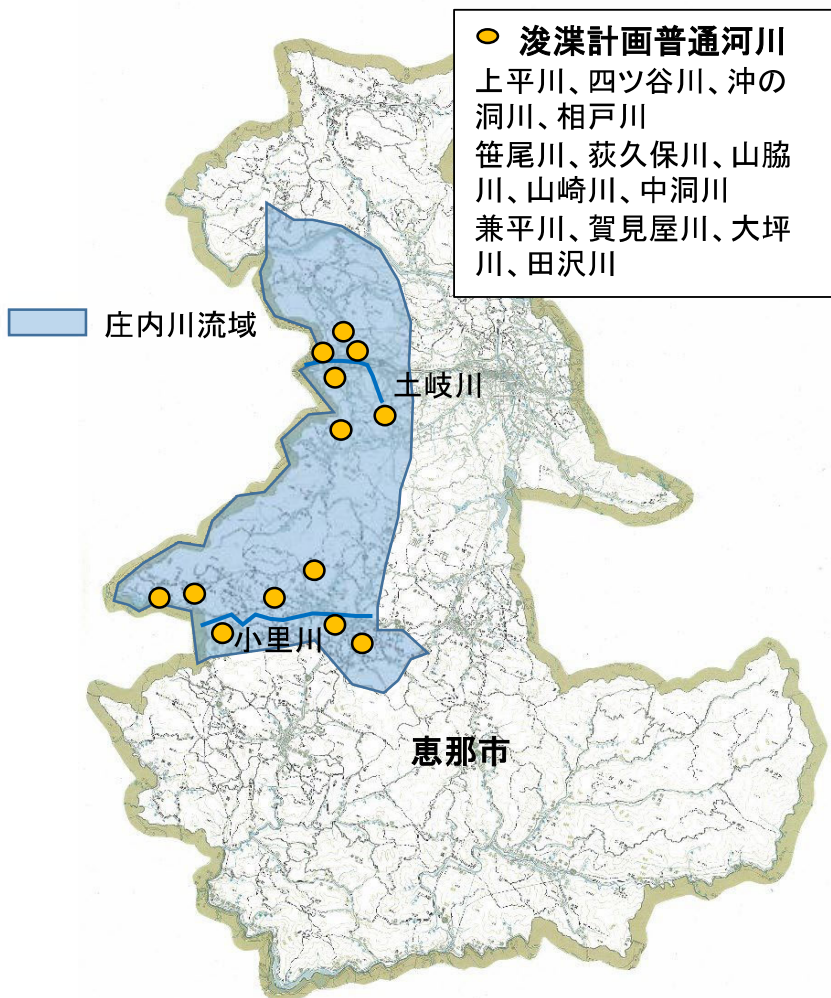
※短期目標は5年程度、中・長期目標は10～20年程度を想定

【恵那市の流域治水対策】



庄内川流域の源流部に位置する恵那市

“水源地の森林を守り、育て豊かな水を下流域へ” を目標に森林保全事業を実施



森林整備面積 (ha)

令和2年度 3.50ha
 令和元年度 10.38ha
 平成30年度 21.55ha

(森林環境保全直接支援事業、
 環境保全林整備事業)



森林整備状況

対策メニュー	短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 ● 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 (河川浚渫 令和2年度～令和6年度) ● 流出抑制対策 ・農業水利施設の活用 (農業用ため池の整備) ・森林保全 (森林整備“間伐”)	→	→
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 ● 被害軽減対策 ・地下空間、地区タイムラインの作成・周知 (タイムラインの作成推進“自治会”) ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進 と避難の実効性確保 (高齢者等の避難計画策定の推進) ・関係機関との連携強化 (土岐川流域新五流総地域委員会の開催)	→	→
【グリーンインフラの取組】 ● 沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全 ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全 (農業水利施設の活用) (森林保全)	→	→

※短期目標は5年程度、中・長期目標は10年～20年程度を想定

【土岐市の流域治水対策】



土岐市では、【上流域の自治体として雨水流出抑制に努め、市民の防災意識向上を目指す】
 森林保全やため池貯留等による雨水流出抑制、災害図上訓練や小学生を対象とした防災教育による
 防災意識の向上に努める。



対策メニュー		短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 ・普通河川での河道掘削 ・橋梁改築 ●流出抑制対策 ・民間開発による貯留施設設置指導 (開発行為に対する流出抑制指導(貯留・浸水施設)) ・ため池等の活用 (既設貯留施設(ため池等)の事前放流) ・森林保全 (間伐等森林の整備による洪水緩和機能の保全・強化) ●土砂災害対策 ・砂防施設の整備 (急傾斜施設の整備(妻木旭町で実施中)) 		※短期目標は5年程度、中・長期目標は10~20年程度を想定	
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 ・地下空間、地区タイムラインの作成・周知 (自治体タイムライン作成・周知(随時見直し)) ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (高齢者等の避難確保計画の策定の推進) ・関係機関との連携 (関係機関との連携(土岐川流域新五流総地域委員会)) ●住民の主体的な避難行動を促す取組 ・分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進 (住民防災意識向上のための取組(小学生対象の防災教育)) ・ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組 (ハザードマップの作成・活用(災害図上訓練の実施)、住民連携による施設維持(点検および操作訓練)) ●ソフト対策のための整備 ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設 (普通河川に於ける危機管理型水位計及び監視カメラの設置) 			
【グリーンインフラの取組】 <ul style="list-style-type: none"> ●沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全 ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全(ため池の事前放流) ●自然環境が有する多様な機能活用の取組み ・小中学校などにおける河川環境学習 			

【名古屋市の流域治水対策①】



新しい時代にふさわしい豊かな未来を創る！世界に冠たる「NAGOYA」へ向けて、あらゆる関係者により、**広範囲に存在する災害リスクに対応し、名古屋大都市圏の中核都市として、全国の都市部の先駆けとなるような流域治水を展開**



枇杷島橋完成イメージ図

平成12年9月12日 枇杷島地区

対策メニュー

短期 中・長期

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備（橋梁改築、堤防(護岸)整備、河床掘削等）
- 排水機場の新設・増強・長寿命化(排水機場の増強)
- 流出抑制対策
 - ・貯留管等の整備（調整池、調節池）
 - ・民間開発による貯留施設設置指導（開発行為に対する流出抑制指導）
 - ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援（雨水貯留施設設置補助金交付）
 - ・ため池等の活用（河川・ため池・調節池の堆積土砂の浚渫等）（ため池の機能強化(施設改良、耐震化)）
 - ・透水性舗装の整備
- 内水被害軽減対策
 - ・雨水排水網の新設・増強
 - ・ポンプ場の新設・増強・機能強化（雨水ポンプの新設・増強・機能強化(耐震化、耐水化)）
 - ・効率的なポンプ運転調整ルールの検討

【被害対象を減少させるための対策】

- 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
 - ・立地適正化計画への防災指針の位置付け（防災指針の作成）
 - ・水害リスクを考慮した居住誘導（立地適正化計画に基づく居住誘導）

※短期目標は5年程度、中・長期目標は10～20年程度を想定

【名古屋市の流域治水対策②】



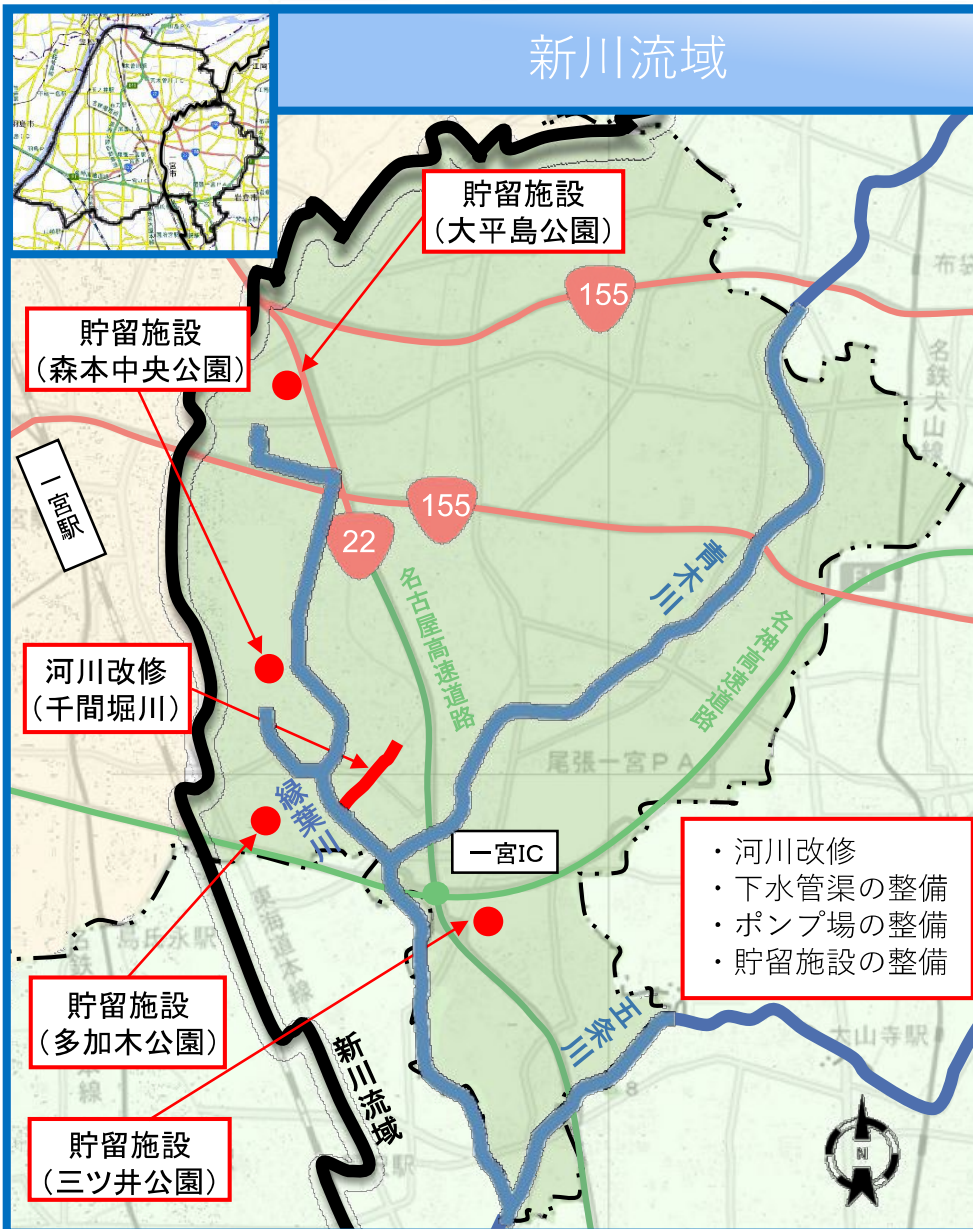
取組事例	対策メニュー	短期	中・長期
<div data-bbox="134 223 571 518"> <p>名古屋中央雨水調整池</p> </div> <div data-bbox="470 399 952 678"> <p>広川ポンプ所</p> </div> <div data-bbox="168 734 425 1093"> <p>なごやハザードマップ防災ガイドブック</p> </div> <div data-bbox="436 734 929 1093"> <p>なごやハザードマップ防災ガイドブック</p> </div> <div data-bbox="134 1165 526 1444"> <p>船頭場公園完成イメージ図</p> </div> <div data-bbox="537 1165 952 1444"> <p>水辺空間の利活用【堀川納屋橋】</p> </div>	<p>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・公園等を活用した高台の整備 ・広域避難計画の策定 (想定最大規模の洪水を踏まえた広域避難計画の策定) ・地下空間、地区タイムラインの作成・周知 (地下空間タイムラインの活用) ・水位周知下水道の指定・運用 ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (要配慮者利用施設等における避難確保計画の取組の促進) ・ハザードマップの更新 ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所や経路等に関する情報の周知(ハザードマップ等の全戸配布) ・分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進 (住民への普及・啓発(雨水流出抑制の推進)) ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組(ハザードマップ等の全戸配布) ●ソフト対策のための整備 <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設 (独自システムを用いた水位状況、ポンプ運転状況等の常時配信) <p>【グリーンインフラの取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自然環境の保全・復元などの自然再生 <ul style="list-style-type: none"> ・干潟保全・再生(藤前干潟の保全) ・ヨシ原再生(藤前干潟の保全) ●生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成 <ul style="list-style-type: none"> ・大型水鳥等の採餌場保全(藤前干潟の保全) ・休憩地等の生息環境創出(藤前干潟の保全、都心の生きもの復活事業) ●健全なる水循環系の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・浄化浚渫(河床掘削) ●沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全 <ul style="list-style-type: none"> ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全 (ため池の浚渫、ため池の保全) ●治水対策における多自然川づくり <ul style="list-style-type: none"> ・整備における生物の多様な生育環境の保全(藤前干潟の保全) ・河川景観の保全・創出(河川美化活動) ●魅力ある水辺空間・賑わい創出 <ul style="list-style-type: none"> ・水辺の賑わい空間創出(水辺空間の利活用) ●自然環境が有する多様な機能活用の取組み <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校などにおける河川環境学習(湧き水モニタリング、水質環境目標市民モニタリング、庄内川啓発イベント・動画) ・自然環境保全に関する協議会等の活動(藤前干潟の保全、身近な自然(緑地・ため池など)の保全・再生) ・民間協働による水質調査 (市民団体との協働による水質調査(堀川1000人調査隊)) 		

※短期目標は5年程度、中・長期目標は10～20年程度を想定

【一宮市の流域治水対策】



みんなで取り組む流域治水
～浸水被害ゼロの新たなまちづくり～



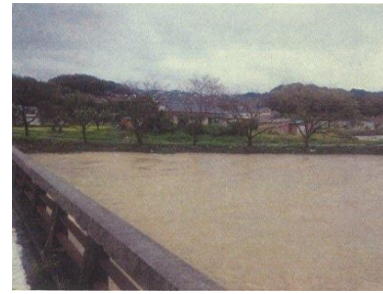
H12東海豪雨時の浸水状況

対策メニュー		短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】			
●堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 (河川改修(千間堀川等))			→
●流出抑制対策 ・貯留管等の整備 (貯留施設の整備(多加木公園及び大平島公園等))			→
・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (浸水対策施設設置補助)			→
●内水被害軽減対策 ・雨水排水網の新設・増強 (下水管渠の整備)		→	→
・ポンプ場の新設・増強・機能強化 (ポンプ場の整備)		→	→
・効率的なポンプ運転調整ルールの検討		→	→
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】			
●被害軽減対策 ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と 避難の実効性確保		→	→
●住民の主体的な避難行動を促す取組 ・避難場所や経路等に関する情報の周知 (防災ハンドブック改訂) (防災メール)		→	→

【瀬戸市の流域治水対策】



“住みたいまち 誇れるまち 新しいせと” 水災害リスクを低減するまちづくり



一級河川 水野川 (平成23年9月 台風15号)

対策メニュー		短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ● 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 (一級河川以外の市管理河川で、河床掘削や河道内の樹木伐採等の実施) ● 流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ため池等の活用 (ため池の活用を実施) 		対象河川は検討中	→
【被害対象を減少させるための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ● 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 ・水害リスクを考慮した居住誘導 (水害リスクの低い地域への移住誘導を検討) 			→
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ● 被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (作成した計画に基づく避難訓練の実施促進) ・ハザードマップの更新 (現行のハザードマップの背景地図を更新) ● 住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所や経路等に関する情報の周知 ・分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進 			→
【グリーンインフラの取組】 <ul style="list-style-type: none"> ● 沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全 ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全(ため池) ● 魅力ある水辺空間・賑わい創出 <ul style="list-style-type: none"> ・水辺の賑わい空間創出 (河川沿いの桜並木を鑑賞できる遊歩道整備) 		区画整理の進捗に合わせて実施	→

一級河川以外の市管理河川で、河床掘削や河道内の樹木伐採等の実施(検討中)

ため池の活用 | 移住誘導の検討 | 避難訓練の促進 | ハザードマップの更新

瀬戸市全域図

※短期目標は5年程度、中・長期目標は10～20年程度を想定

【春日井市の流域治水対策】



★安全安心で快適な住環境が整ったライフタウン! —これからも住みつづけたいまちへ向けて、国・県、そして市民とともに進める庄内川・八田川・地蔵川・内津川流域全体の治水対策—



【犬山市の流域治水対策】



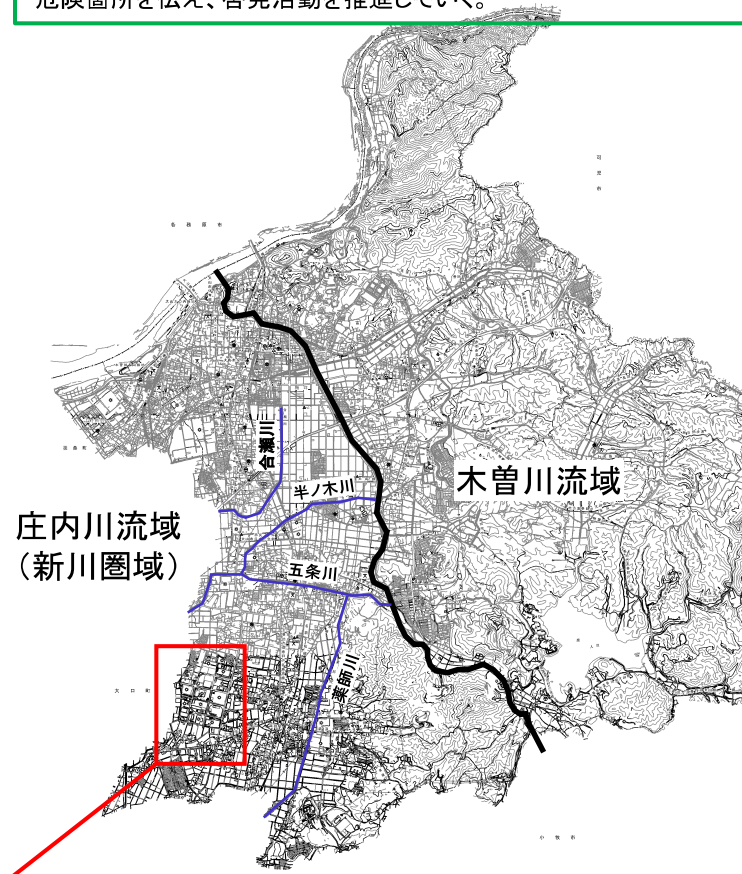
○犬山市では、上流域の役割として下流に位置する市町村への流出負担軽減及び市民の防災意識向上の実施をめざす。

○具体の施策としては、内水被害軽減対策として雨水排水網の増強や、ハザードマップ作成等により住民の防災意識向上を実施していく。

◎市民を対象にハザードマップを活用した防災講話を実施。避難行動の重要性や危険箇所を伝え、啓発活動を推進していく。



平成25年9月の豪雨時の状況



◎近年の豪雨により浸水被害が発生している地区を優先し、排水網の新設・増強を行うとともに、放流河川への負荷を軽減させるための調整池を整備する。

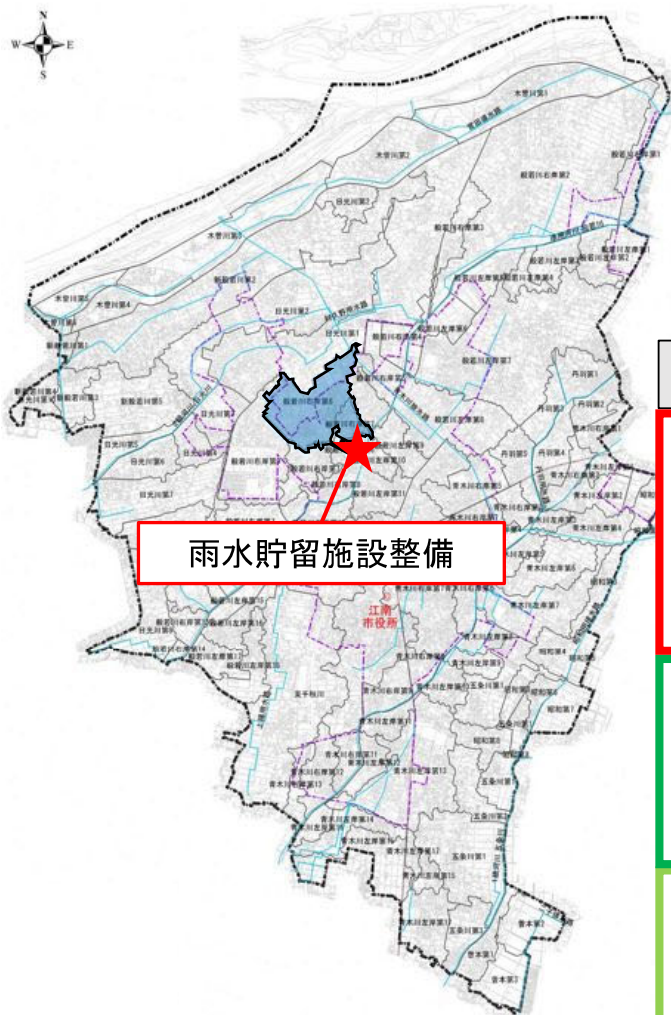
対策メニュー	短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援（雨水貯留浸透施設設置費の補助） ・ため池等の活用（ため池の機能強化） ●内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・雨水排水網の新設・増強 	→	→
【被害対象を減少させるための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 ・立地適正化計画への防災指針の位置付け（立地適正化計画に基づく検討） 	→	→
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保（高齢者等の避難確保計画策定の推進） ・ハザードマップの更新（ハザードマップを作成し、住民の防災意識向上に向けた取組を実施） ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所や経路等に関する情報の周知 ・分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進（住民の防災意識向上のための取組） ●ソフト対策のための整備 <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設（監視カメラの設置・増設） 	→	→
【グリーンインフラの取組】 <ul style="list-style-type: none"> ●沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全 ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全（ため池の機能強化） 	→	→

R2年度
避難確保計画作成済み

【江南市の流域治水対策】



○江南市では、浸水被害のないまちづくりを推進し、【地域とつくる多様な暮らしを選べる生活都市】をめざす。
 ○具体の施策としては、雨水貯留施設整備や避難情報周知等の流域治水対策を実施していく。



対策メニュー	短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備 (雨水貯留施設や雨水管線の整備) ・民間開発による貯留施設設置指導 (江南市雨水流出抑制基準に基づく流出抑制指導) ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (雨水貯留浸透施設設置費補助に対する助成) 	→	→
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成推進と避難の実効性確保 ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所や経路等に関する情報の周知 ・分かりやすい教材を用いた防災教育・人材育成の推進 (住民の防災意識向上のための取組(防災教育の推進等)) 	→	→
【グリーンインフラの取組】 <ul style="list-style-type: none"> ●魅力ある水辺空間・賑わい創出 <ul style="list-style-type: none"> ・水辺の賑わい空間創出 (河川空間の利用促進(環境学習や憩いの場としての利活用)) ●自然環境が有する多様な機能活用の取組み <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校などにおける河川環境学習 (親子ふれあい観察会(ビオトープ池で、生き物を観察し、自然の大切さについて学ぶ)) 	→	→

【小牧市の流域治水対策】

・いつ起きるか分からない大雨による**浸水被害を最小限に抑制**し、市民の貴重な生命と財産を守る。
 ・市民自らが災害に備えるとともに、**地域住民がお互いに顔の見える関係を構築**することで、災害発生時に**地域が一体となって被害を最小限に抑えられる**まちを目指す。



準用河川整備

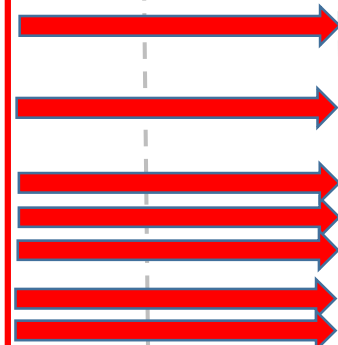


対策メニュー

短期 中・長期

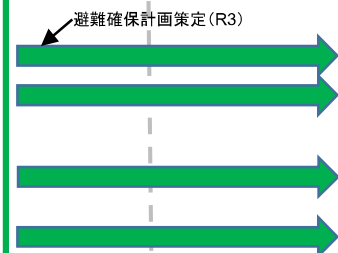
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備
(準用河川整備(新川・小針川))
- 流出抑制対策
 - ・貯留管等の整備
(公園等の活用を含む雨水貯留施設整備((仮称)第3老人福祉センター・井領公園・本田会館北公園))
 - ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援
(雨水貯留施設等設置補助金)
 - ・ため池等の活用(ため池の機能強化)
 - ・水田の貯留機能向上(水田利用による雨水流出抑制対策)
- 内水被害軽減対策
 - ・雨水排水網の新設・増強(大山川排水区・薬師川排水区・下小針雨水幹線)
 - ・効率的なポンプ運転調整ルールを検討



【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画策定の作成促進と避難の実効性確保
(高齢者等の避難確保計画の策定の推進)
 - ・ハザードマップの更新
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・避難場所や経路等に関する情報の周知
(小牧市防災ガイドブック配布、HP掲載)
 - ・分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進
(学校区単位の防災訓練、講師による防災講演会)



【グリーンインフラの取組】

- 沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全
- ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全
(既存ため池の高上げ・余水吐の改良による雨水流出抑制)
(畔の高上げ・排水路改修による雨水流出抑制)

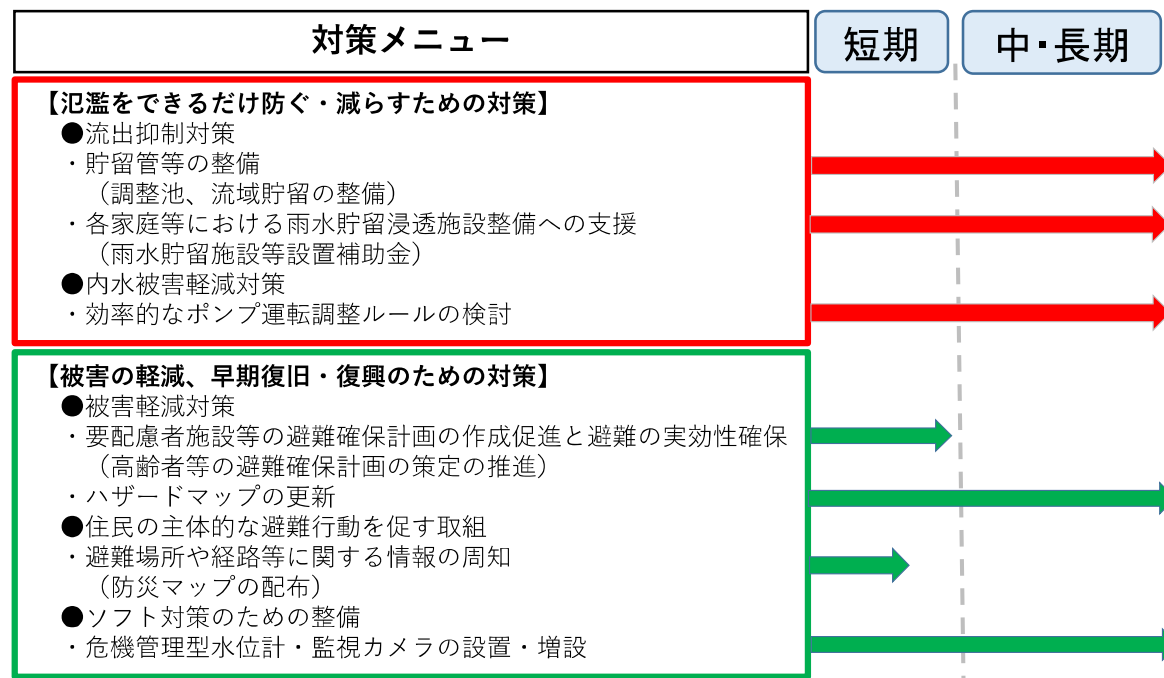
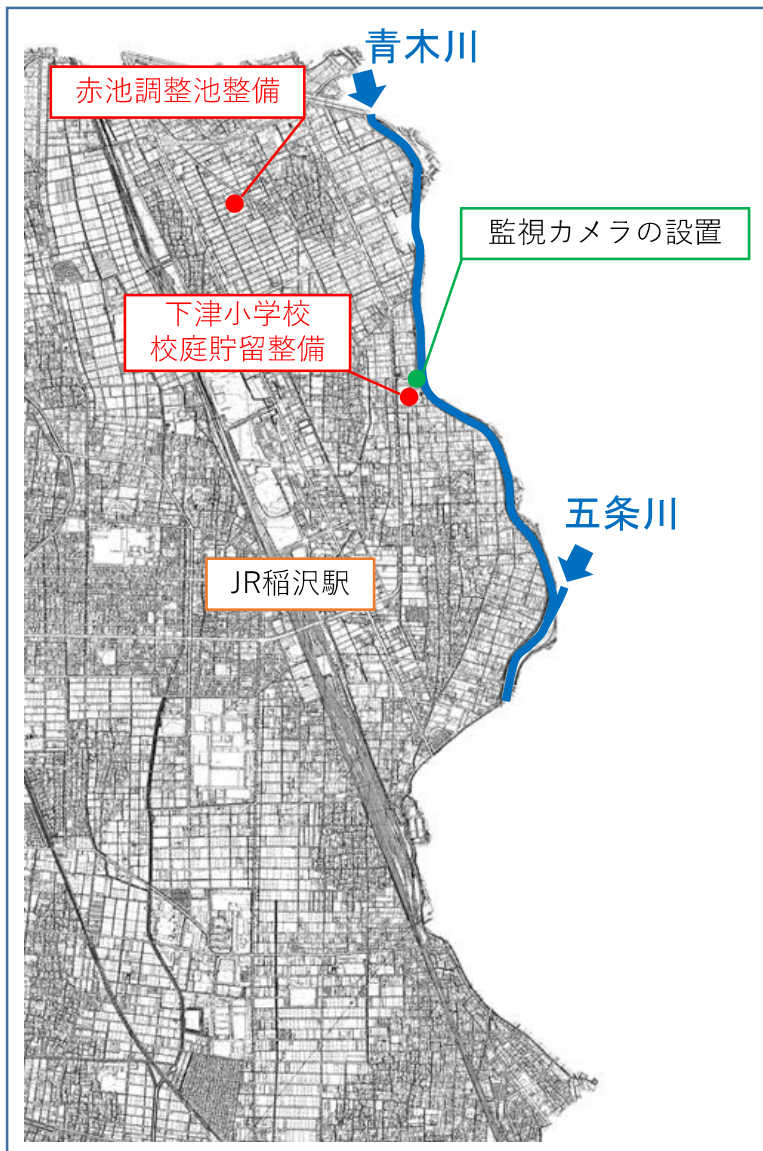


※短期目標は5年程度、中・長期目標は10～20年程度を想定

【稲沢市の流域治水対策】



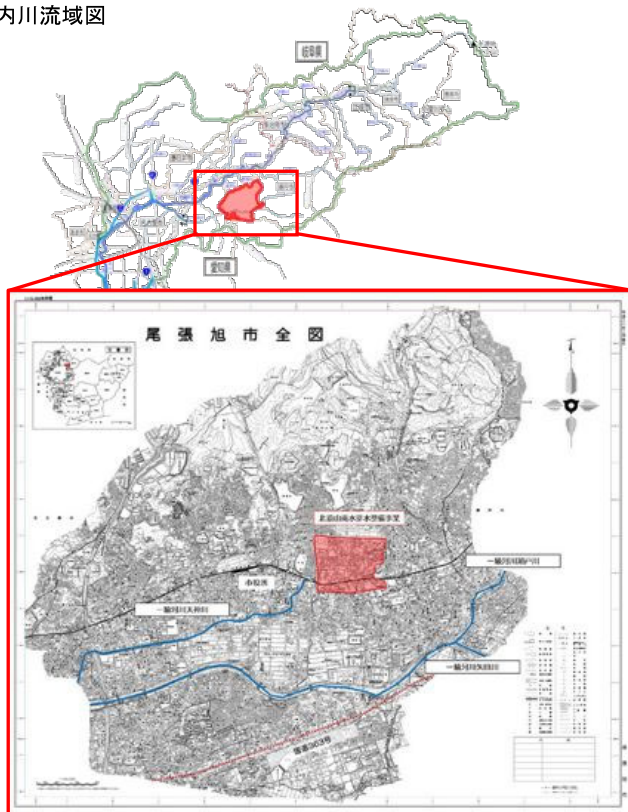
- 安全・安心に暮らせるまち「INAZAWA」をめざす。
- 雨水貯留施設の整備、被害の軽減対策を実施していく。



【尾張旭市の流域治水対策】

○「すくすくのびのび尾張旭市」自然に恵まれたまちだからこそ、雨に強いまちづくり
○排水施設の整備・維持管理を行い、大雨による浸水被害を最小限に抑制する

庄内川流域図



平常時

増水時 (R2.7.18 30mm/h)

一級河川天神川 【写真】天神川1号橋より下流側を撮影

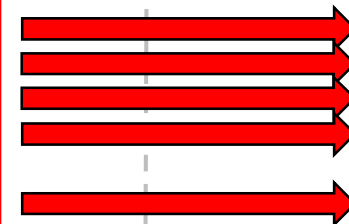
対策メニュー

短期

中・長期

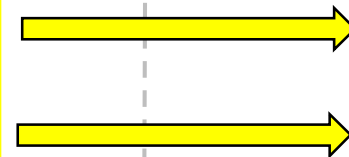
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 流出抑制対策
 - ・貯留管等の整備（貯留施設の整備・保全）
 - ・ため池等の活用（ため池の活用による流出抑制）
 - ・水田の貯留機能向上（水田の活用による流出抑制）
 - ・透水性舗装の整備
- 内水被害軽減対策
 - ・雨水排水網の新設・増強（排水施設の整備・維持管理）



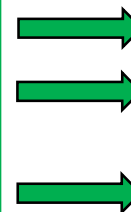
【被害対象を減少させるための対策】

- 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
 - ・立地適正化計画への防災指針の位置付け（防災指針の検討・作成）
- 浸水ハザードエリアにおける各家庭等への浸水防止対策
 - ・出水期前に希望する市民への土のうの事前配布



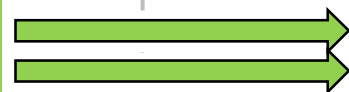
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
 - ・ハザードマップの更新
- ソフト対策のための整備
 - ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設（河川管理カメラ）



【グリーンインフラの取組】

- 沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全
 - ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全（農業用ため池の低水位管理）
 - （農業振興地域内農用地の保全）



【岩倉市の流域治水対策】



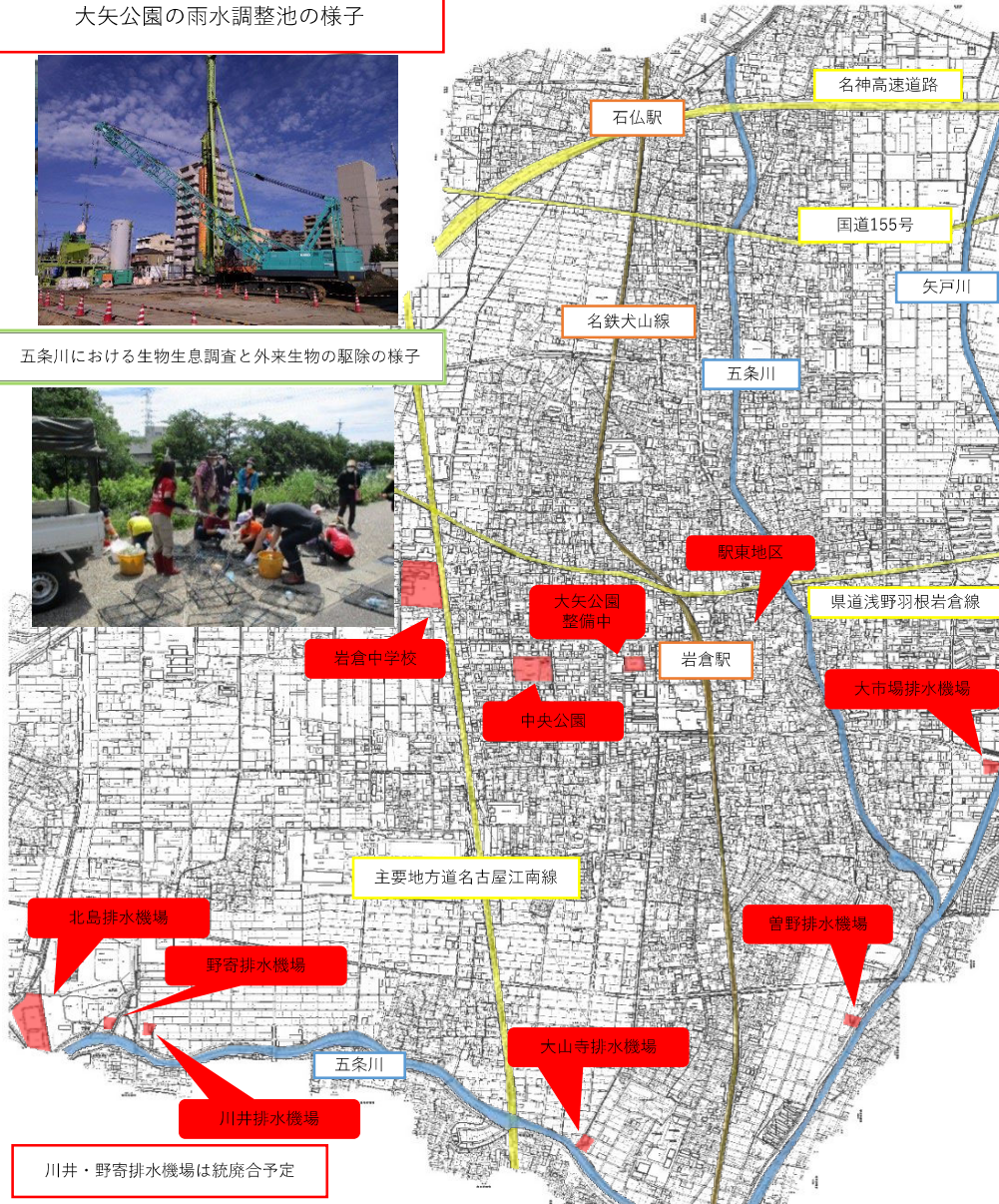
○「住むなら岩倉！子育て・健幸・安心なまち」治水対策にも取り組み「やっぱり岩倉がい〜わ」といわれる市を目指す
 ○公共施設(公園、学校等)に雨水調整池を整備、排水機場の更新、避難計画策定などの対策を行う

※短期は5年程度、中・長期は10〜20年以上を想定

大矢公園の雨水調整池の様子



五条川における生物生息調査と外来生物の駆除の様子



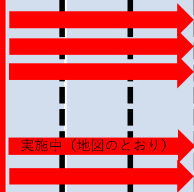
川井・野寄排水機場は統廃合予定

対策メニュー

短期 中・長期

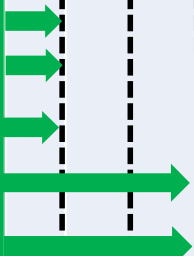
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 内水被害軽減対策
 - ・ポンプ場の新設・増強・機能強化
(農業排水施設等の活用として大市場・大山寺・北島・野寄・川井の排水機場の更新)
(雨水排水ポンプ場の新設として首野・大山寺・北島・野寄排水機場の排水機能強化)
 - ・効率的なポンプ運転調整ルールの検討
- 流出抑制対策
 - ・貯留管等の整備
(岩倉中学校・中央公園・大矢公園・駅東地区に雨水調整池を整備)
 - ・各家庭等における雨水貯留施設整備への支援
(雨水貯留施設等設置費補助金)



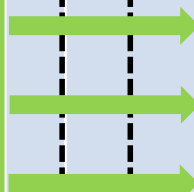
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
(高齢者等の避難確保計画策定の推進)
 - ・ハザードマップの更新
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・避難場所や経路等に関する情報の周知
(避難場所・経路の情報推進)
 - ・分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進
(防災教育の推進)
 - ・ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組
(マイタイムライン策定の推進)



【グリーンインフラの取組】

- 生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成
 - ・休憩地等の生息環境創出
(五条川における生物生息調査と外来生物の駆除)
- 魅力ある水辺空間・賑わい創出
 - ・水辺の賑わい空間創出
(「岩倉の水辺を守る会」による五条川におけるイベント(水辺まつり、親子魚釣り教室等))
- 自然環境が有する多様な機能活用の取組み
 - ・小中学校などにおける河川環境学習
(五条川流域の小学校児童による五条川水生生物調査)



【清須市の流域治水対策】



★水と歴史に織りなされた安心・快適で元気な都市を目指し、市民と行政が一体となって災害への備えを充実させ、**安全で安心に暮らせるまちをつくる**

- ・避難確保計画の策定(小中学校)
- ・ハザードマップの活用方法や避難方法の啓発
- ・市内小学校環境学習



雨水ポンプ場の機能強化



H12東海豪雨

対策メニュー	短期	中長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備（雨水調整池の整備） ・民間開発による貯留施設設置指導（開発における雨水貯留浸透施設の設置指導） ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援（雨水貯留浸透施設設置補助金、浄化槽雨水貯留施設転用補助金） ・透水性舗装の整備 ●内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・雨水排水網の新設・増強（雨水幹線の整備） ・ポンプ場の新設・増強・機能強化（雨水ポンプ場の整備） ・効率的なポンプ運転調整ルールの検討 		
【被害対象を減少させるための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・立地適正化計画への防災指針の位置付け（防災指針のガイドライン検討のモデル都市） 		
【被害の軽減 早期復旧・復興のための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●防災拠点の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・防災拠点の整備（(仮称)五条川防災センター整備・市内小中学校体育館空調設備の設置） ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・広域避難計画の策定（広域避難について検討中） ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所や経路等に関する情報の周知（電話・登録制メール、防災行政無線による情報伝達） ・分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進（水害をテーマとした防災講演）（市内中学生の自主防災訓練への参加） ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組（手作りハザードマップの作成）（自主防災訓練等において、ハザードマップの活用方法や避難方法の啓発）（自主防災訓練等において避難訓練や避難危険箇所の確認） 		
【グリーンインフラの取組】 <ul style="list-style-type: none"> ●治水対策における多自然川づくり <ul style="list-style-type: none"> ・河川景観の保全・創出（河川美化活動） ・水辺の賑わい空間創出（りばーびあ） ●自然環境が有する多様な機能活用の取組み <ul style="list-style-type: none"> ・小学校における河川環境学習（市内小学校環境学習） 		

【北名古屋市の流域治水対策】



- 北名古屋市は、市民と行政が同じゴールをめざして協働してまちづくりを進めることで「健康快適都市」誰もがいきいきと安全・安心に暮らせるまちをめざす。
- 具体の施策としては、雨水による氾濫被害を軽減させるために、幹線排水路や貯留施設排水ポンプ場の整備を実施していく。

対策メニュー		短期	中・長期
I - ① 幹線排水路の改修 II - ① 雨水貯留施設の整備	【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ● 流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 貯留管等の整備 (雨水貯留施設の整備) ・ 民間開発による貯留施設設置指導 (開発における雨水浸透阻害行為指導) ・ 各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (雨水貯留施設整備の支援) ● 内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 雨水排水網の新設・増強 (幹線排水路の改修) ・ ポンプ場の新設・増強・機能強化 (排水ポンプ場の整備) ・ 効率的なポンプ運転調整ルールの検討 		
		【被害対象を減少させるための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ● 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 ・ 立地適正化計画への防災指針の位置付け ・ 水害リスクを考慮した居住誘導 (立地適正化計画に基づく居住誘導) 	
I - ② 排水ポンプ場の整備	【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ● 被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 ・ ハザードマップの更新 ● 住民の主体的行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難場所や経路等に関する情報の周知 ・ わかりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進 ・ ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組 		
		避難確保計画の作成	

対策イメージ
(雨水貯留設)

【あま市の流域治水対策】



“あまチカラ”により、住みやすいまちづくりを実現するための**雨水流出抑制・防災対策推進**を図り、**AMEと共存するAMAを創る**。

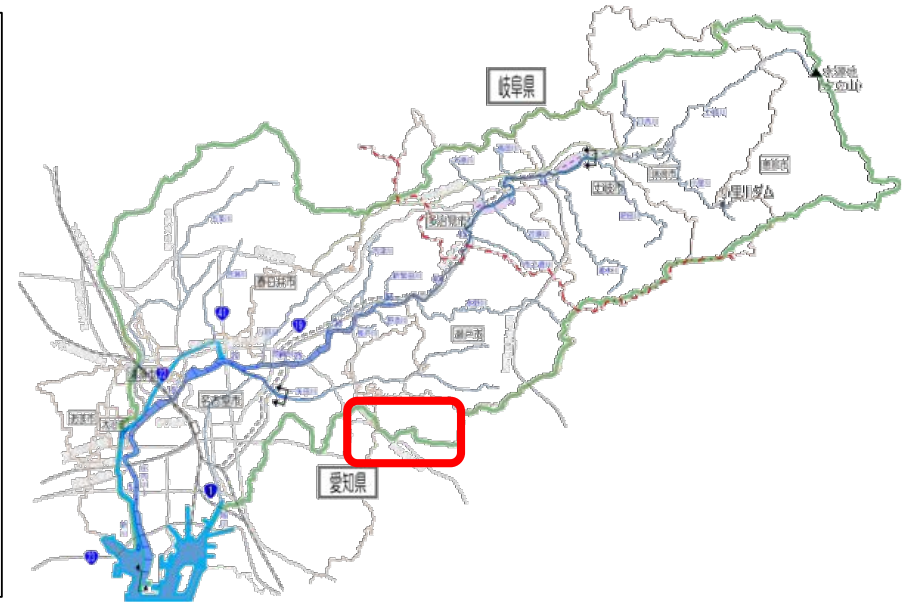
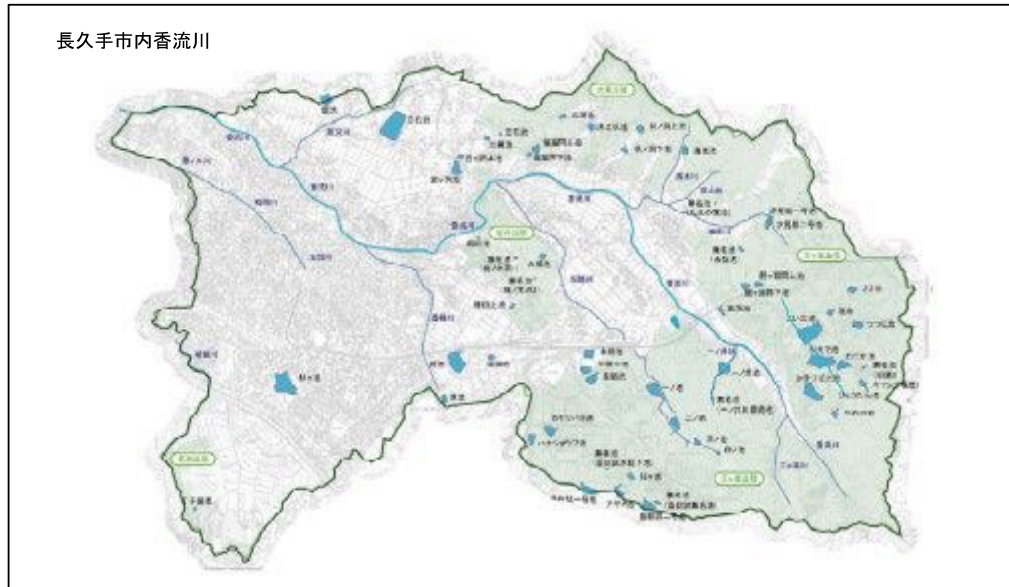


※短期目標は5年程度、
中・長期目標は10～20年程度を想定

対策メニュー		短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備 (保全調整池及び雨水貯留浸透施設の整備) ・透水性舗装の整備 ●内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ場の新設・増強・機能強化 (雨水排水ポンプの整備) ・効率的なポンプ運転調整ルールを検討 			
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・地下空間・地区タイムラインの作成・周知 (自治体タイムラインの作成・周知) ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (高齢者等の避難確保計画の策定の推進) ・ハザードマップの更新 ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所や経路等に関する情報の周知 ・分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進 (住民の防災意識向上のための取組(防災教育の推進等)) ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組 (マイタイムラインの作成の推進) 			

【長久手市の流域治水対策】

- 万博理念を継承し、自然環境にこだわるまちづくり。
- 具体的な施策としては、水害ゼロを目指し、河道の継続的な維持管理と早期避難を可能にする。









河畔林の繁茂状況



河川カメラの設置状況

一級河川香流川

対策メニュー	短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 <ul style="list-style-type: none"> ・河道掘削の調査、継続的な維持管理 ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ため池等の活用 		 <p>香流川を含む市内準用河川等</p>
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成 促進と避難の実効性確保 (要配慮者施設等の避難確保計画の作成) ・ハザードマップの更新 ●ソフト対策のための整備 <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設(河川カメラの設置) 		 <p>香流川を含む市内準用河川等</p>
【グリーンインフラの取組】 <ul style="list-style-type: none"> ●沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全 <ul style="list-style-type: none"> ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全(ため池) 		

【豊山町の流域治水対策】



被害軽減を目的とした流域治水対策及び町民の防災教育の推進等を実践し、「安全・安心で住みやすさを実感できるまちづくり」の実現を目指す



平成12年東海豪雨被害状況





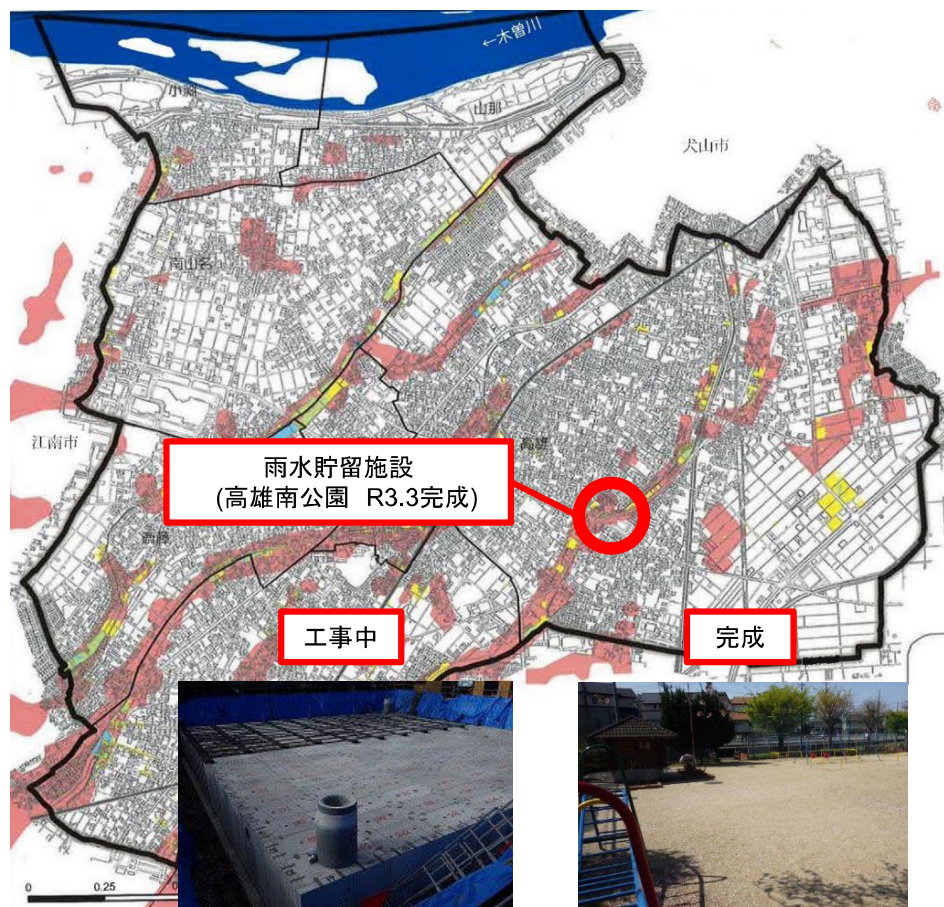
【大口町の流域治水対策】

◆大口町では、災害に強い豊かな生活基盤の創造を目指しています！

【扶桑町の流域治水対策】



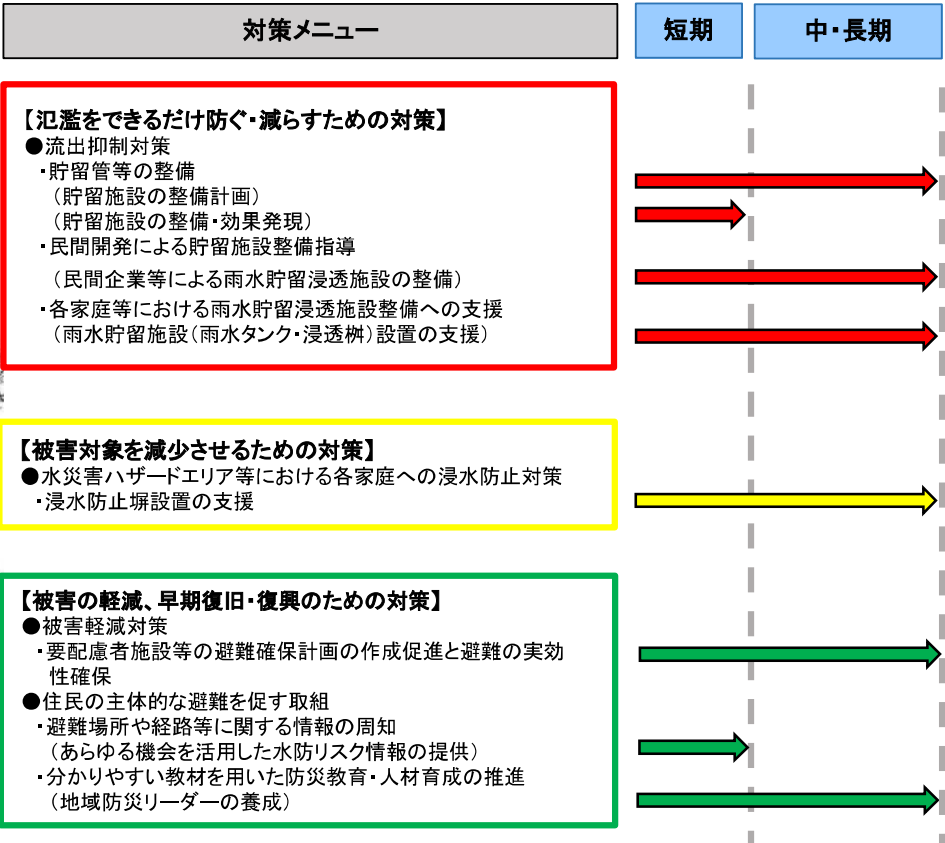
扶桑町ではみんなで“守る”まちづくりを目指し、雨水流出抑制と住民の防災意識向上を実践し下流域への流出抑制していく。



雨水貯留施設
(高雄南公園 R3.3完成)

工事中

完成

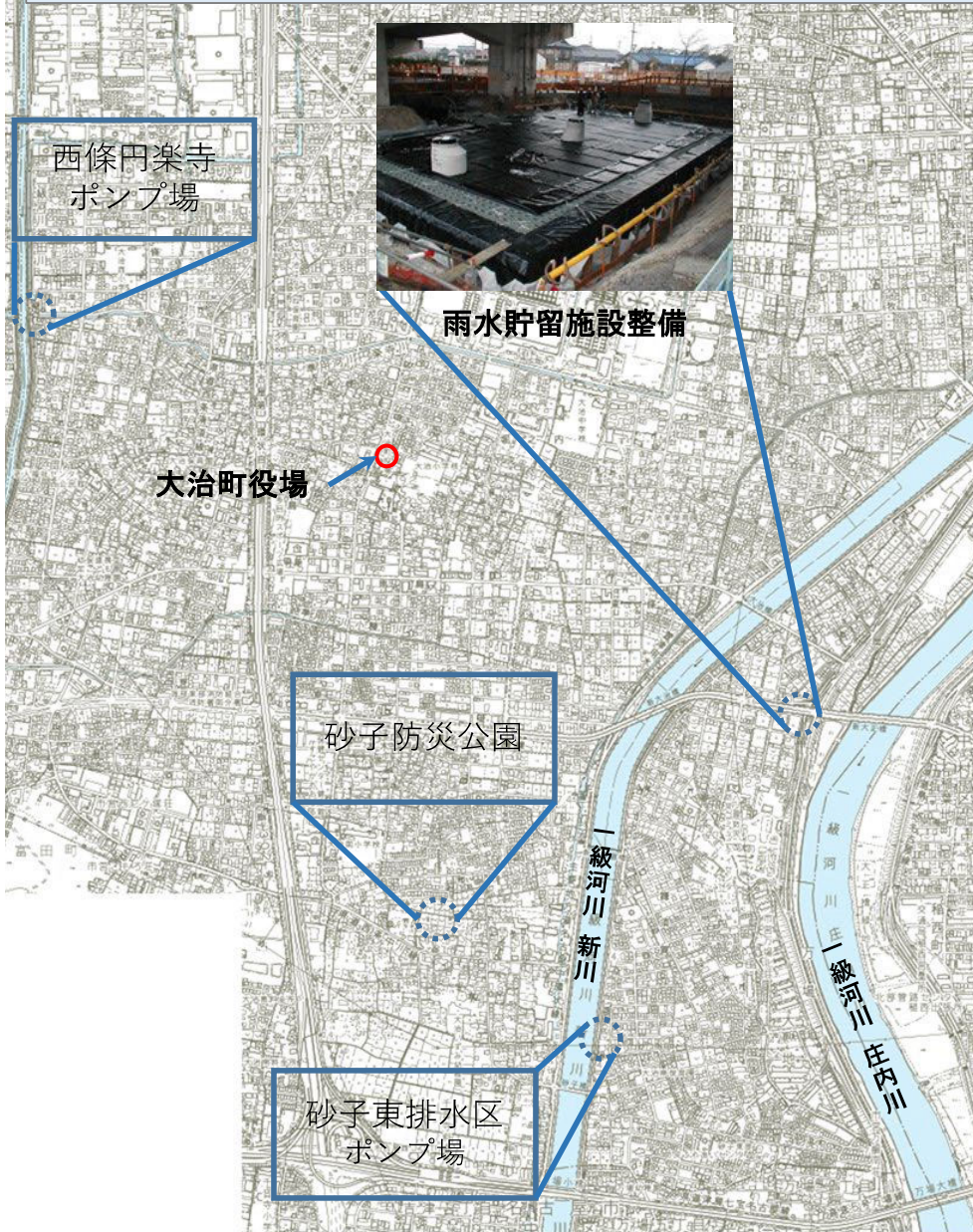


【大治町の流域治水対策】



安全で安心して暮らせるまちづくり

海拔ゼロメートル地域として、発生しやすい浸水被害の未然防止に努め、町民の防災意識を育む



対策メニュー		短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備（浚渫（準用河川）） ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備（貯留施設機能の維持） ・民間開発による貯留施設設置指導 〔開発行為に対する流出抑制指導（貯留浸透施設）〕 ●内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ場の新設・増強・機能強化 〔ポンプ場の整備（西条円楽寺地区・砂子東排水区）〕 ・効率的なポンプ運転調整ルールの検討 		→	→
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●早期復旧に備えた対策 <ul style="list-style-type: none"> ・防災拠点の整備（一次避難地となる防災公園整備） ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 〔要配慮者利用施設の避難確保計画の作成（更新・訓練実施の促進）〕 ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進（小学校における防災教育の実施） ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組 〔みずから守るプログラムによるハザードマップ作成〕 		→	→

【蟹江町の流域治水対策】



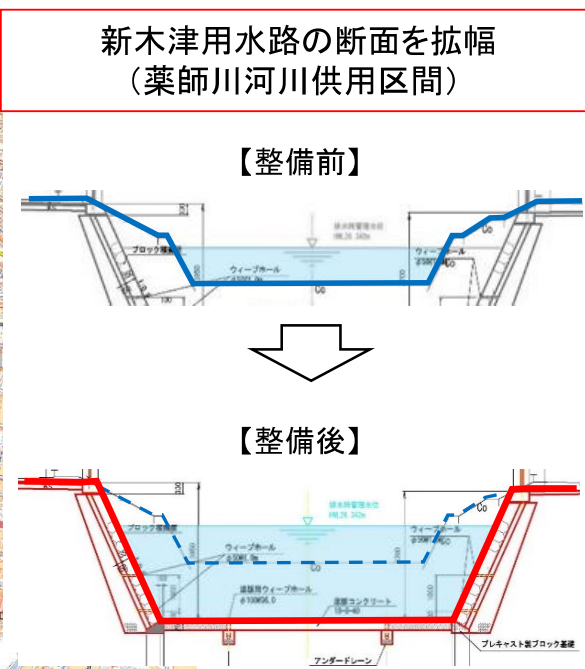
○蟹江町では、「豊かな環境と安全がもたらす持続可能なまちづくり」をめざす。
 ○具体的な施策としては、排水ポンプの増強等による内水対策や、地区防災計画の推進等による住民の防災意識向上を図っていく。



対策メニュー	短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備 (排水路の整備、改修及び堆積土砂の浚渫) ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (浄化槽雨水貯留施設転用への支援) ●内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ場の新設・増強・機能強化 (排水ポンプの増強、予備排水) 		
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・地下空間・地区タイムラインの作成・周知 (自治体タイムラインの更新) ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (要配慮者利用施設の避難確保計画の作成) ・ハザードマップの更新 ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組 (地区防災計画の策定推進、自主防災訓練の実施) 		

【東海農政局の流域治水対策】

- 東海農政局では、地域の排水路としての機能を有し、河川と兼用工作物となっている農業水利施設を整備することにより、農地及び周辺居住区の湛水被害の軽減をめざす。
- 具体の施策としては、集中豪雨や流域の都市化の進展等による降雨時の流出形態の変化に対応するため、新木津用水路の断面を拡幅し、排水機能を向上させる。



◎近年の集中豪雨等により周辺の農地や家屋等に湛水被害を及ぼすおそれ

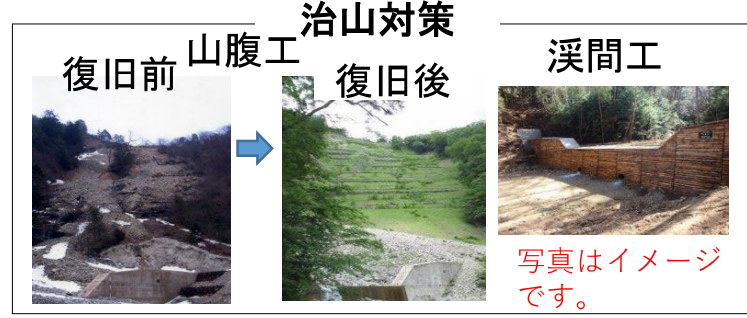
対策メニュー	短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 ●用排水路の改修 (新木津用水路 薬師川河川供用区間の改修(国営総合農地防災事業)) ●流出抑制対策 ・ため池等の活用※ ・水田の貯留機能向上※	→	→
【グリーンインフラの取組】 ●沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全 ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全(ため池、水田)※	→	→

※実施主体ではないが、連携して取り組む

【中部森林管理局の流域治水対策】



- 森林地域においては、森林の有する水源かん養機能や土砂流出・崩壊防止機能の向上を図ることにより、流域治水対策を推進。
- このため、間伐等の森林整備を適時適切に実施するとともに、山地災害等により機能が低下した荒廃地・荒廃森林については機動的に治山対策を実施。



対策メニュー	短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・森林保全 (森林整備(間伐)) (森林の適正な管理) ●土砂災害対策 <ul style="list-style-type: none"> ・治山施設の整備 (治山対策) 	→	→
【グリーンインフラの取組】 <ul style="list-style-type: none"> ●沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全 ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全 (森林整備、治山対策) 	→	→

【岐阜・名古屋地方気象台の流域治水対策】



- 気象に関する予報精度の向上への取組として、線状降水帯の予測精度の向上や最大危険度予測(土砂災害・浸水害・洪水)の検討を進める。
- 地域における気象防災業務の強化の取組みとして、近年相次ぐ自然災害を踏まえ、気象庁の情報が防災対応判断に活かされるよう、市町村等で「理解・活用」いただくための支援を行う。

＜関係機関との連携強化の取組み＞

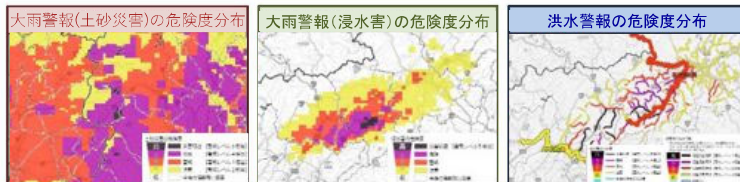
平時

- ✓気象台長の市町村長との「顔の見える関係」を構築・深化
- ✓「あなたの町の予報官」を編成して支援・連携
- ✓防災気象情報の理解・活用のための実践的な研修・訓練等の実施

自治体職員対象の気象防災ワークショップ
(写真はオンラインにて実施した時の様子)



警報や危険度分布(キキクル)等を用いて防災対応を疑似体験



- ✓「気象防災データベース」を整備し、気象特性・災害リスク等を共有

※市町村毎のデータベースのイメージ
地域防災計画、ハザードマップ、地域特性、災害履歴と災害時の気象状況及び地震・火山活動の状況 等

緊急時

- ✓ホットライン等により予報官の危機感を確実に伝達
- ✓災害対応支援のため「気象庁防災対応支援チーム(JETT)」を派遣

○令和3年7月3日静岡県熱海市で発生した土砂災害に対応して、熱海市へ広域派遣



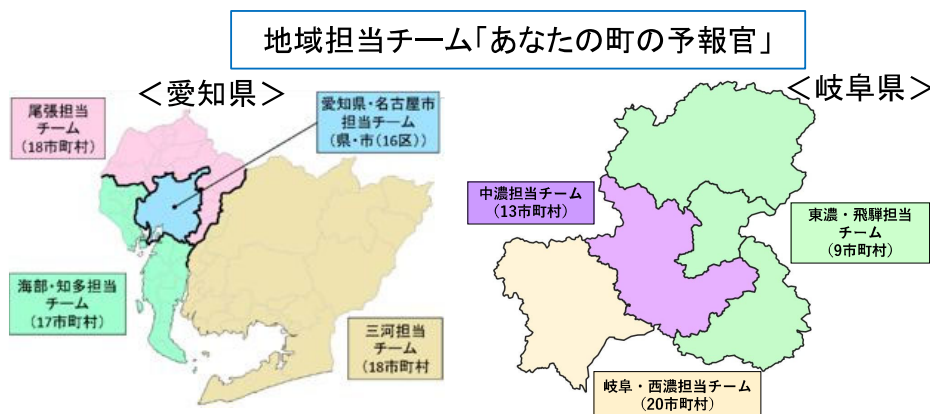
今後の天候や注意報・警報の見通しを解説・助言

天気	15時	16時	17時	18時	20時	22時	24時	15時
天候	0	0	0	0	0	0	0	0
1時間降水量 (mm)	0	0	0	0	0	0	0	0
雨量 (mm)	0	0	0	0	0	0	0	0
雨量 (mm)	2	3	4	3	2	2	2	5
総雨量 (mm)	0	0	0	0	0	0	0	0

気象支援資料や防災気象情報を掲載したポータルサイト開設

災害後

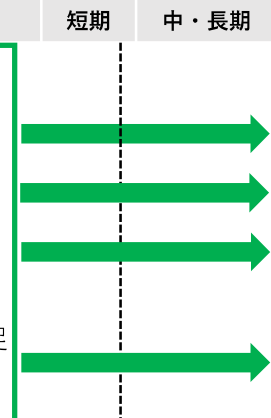
- ✓市町村等と共同で「振り返り」、不断に取組を改善



対策メニュー

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
 - ・気象に関する予報精度の向上
 - ・地下空間・地区タイムラインの作成・周知 (自治体が作成するタイムラインの見直し等への助言)
 - ・関係機関との連携強化 (地域の気象防災支援(あなたの町の予報官、JETT派遣))
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組み (住民への防災気象情報(キキクル等)の利活用を促進)

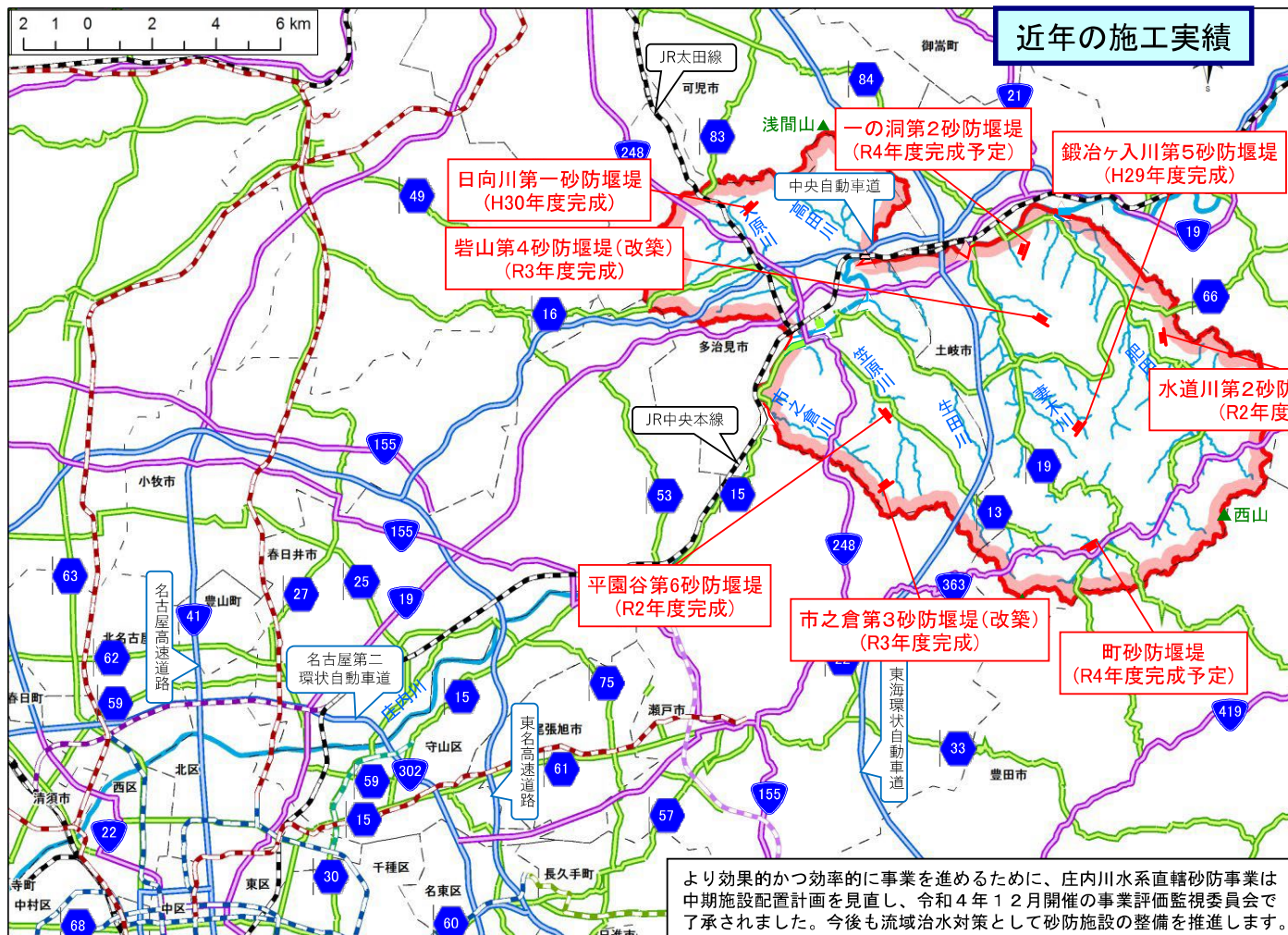


【多治見砂防国道事務所の流域治水対策】



いのちと暮らしを守る砂防整備を推進していく

- ①庄内川本川等の洪水の安全な流下に寄与する「土砂・洪水氾濫対策」
- ②物流・避難経路の安全確保に寄与する「土砂災害対策」としての事前防災及び地域と協働した**里山砂防**を着実に推進。












一の洞第2砂防堰堤 (多治見市)

対策メニュー	短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 ●流出抑制対策 ・森林保全(土岐川流域グリーンベルト、里山砂防) ●土砂災害対策 ・砂防関係施設の整備		→
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 ●被害軽減対策 ・地下空間・地区タイムラインの作成・周知(タイムラインの作成支援) ・関係機関との連携強化(多治見市浸水対策協議会、土岐川流域新五流総地域委員会) ●住民の主体的な避難行動を促す取組 ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組		→
【グリーンインフラの取組】 ●自然環境が有する多様な機能活用の取組み ・自然環境保全に関する協議会等の活動(土岐川流域グリーンベルト、里山砂防)		→

より効果的かつ効率的に事業を進めるために、庄内川水系直轄砂防事業は中期施設配置計画を見直し、令和4年12月開催の事業評価監視委員会です承されました。今後も流域治水対策として砂防施設の整備を推進します。

庄内川水系流域治水プロジェクト (オブザーバーの取組)

オブザーバー

- | | | |
|--|---|--|
|  国土交通省 中部地方整備局
建政部・河川部 |  日本下水道事業団 |  中部電力株式会社 (P88) |
|  中日本高速道路株式会社 (P89) |  名古屋高速道路公社 (P90) |  岐阜県 農政部 |
|  森林整備センター (P91) |  東海旅客鉄道株式会社
建設工事部 (P92) |  環境省 (P93) |

中部電力の取り組み



(1) 防災に対する取り組み (停電情報の提供)

・水道技術研究センターA-smartプロジェクト※1で行政から出された意見

台風や地震で被害が出た際に、**停電によって共同住宅のポンプが停止したことによる断水など、想定外の事象を経験した**。電力スマートメーターで**停電範囲を把握できないのか**? また将来は水道自動検針で断水範囲を把握することはできないか?

※1: IoT、AI等のICTで水道事業の課題解決を図る産官学連携のプロジェクト

・中部電力の停電情報の発信 (昨年度の台風15号を踏まえて、さらに機能アップ)

■ 停電ホームページ※2: リアルタイムの停電状況が把握できます。



【ホームページの復旧状況ステータス】

HPの復旧状況	設備確認中	工事手配中	工事中				
現場での作業工程	停電発生	停電範囲 箇所確認	修理工事 方法検討	修理工事 手配	修理工事 前	修理工事 開始	修理工事 完了

※作業現場では、上表のとおり復旧作業を行っておりますので、ホームページに記載している復旧状況の参考情報としてご利用ください。

1 復旧状況	「設備確認中」「工事手配中」「工事中」で復旧状況のステータスを表示
2 復旧見込	「調整中」「▲月●日中」「▲月●日午前中」等で、復旧見込み目途を表示
3 停電理由	「土砂崩れによる電柱等の倒壊」「倒木による電線断線・電柱折損」等で、停電理由を表示

停電エリアを表示 表示単位は1km四方単位 (一部、500m四方、2km四方あり)
※地図はイメージ画像です。

■ 停電情報アプリ※2: 停電の通知が受けられます。



地域を選択 (最大5地域登録可能)

選択地域の停電情報をプッシュ配信

※2 中部電力以外から電気を購入されているお客さまも利用可能

(2) 治水に対する取り組み

・庄内川河川事務所様を含む4者様と事前放流に関する協定を締結し、流出抑制に協力しています。

NEXCO中日本名古屋支社における地域防災に関する事例

NEXCO

【地域防災に関する主な事例】

NEXCO中日本名古屋支社管内の一部の保全・サービスセンター（管理事務所）と河川事務所及び自治体で、津波・高潮・洪水といった災害時における「河川堤防等の迅速な復旧」、
「地域住民等の 緊急避難場所」という観点のもと協定を締結している。

①災害時の河川事務所との協定

災害時の河川堤防等の復旧のための高速道路区域の一時使用に関する協定書

(使用区域)
第3条 甲が使用できる高速道路の区域（以下、「使用区域」という。）は、次を原則とする。

高速道路	使用区域
東名阪自動車道	40.5 kp 付近（木曾川右岸堤防交差部）上下線
	42.7 kp 付近（長良川左岸堤防交差部）上下線
	43.7 kp 付近（揖斐川右岸堤防交差部）上下線
伊勢湾岸自動車道	44.2 kp 付近（木曾川左岸堤防交差部）上下線
	45.3 kp 付近（木曾川右岸堤防交差部）上下線
	46.7 kp 付近（揖斐川左岸堤防交差部）上下線
	48.0 kp 付近（揖斐川右岸堤防交差部）上下線

一時使用箇所の一例（協定抜粋）【東名阪自動車道・伊勢湾岸自動車】

②災害時の自治体との協定

津波・高潮・洪水時の緊急避難における高速道路区域の一時使用に関する協定



緊急避難場所の一例【東名阪自動車道 長島IC付近（桑名市整）】

※一時使用箇所や緊急避難場所としての活用の要望等があった場合は、立地条件や安全性等を考慮のうえで調整を実施。

名古屋高速道路公社における地域防災に関する取組事例

【地域防災に関する主な取組事例】

- ①地震等の災害時における地域との協力体制の強化を推進
- ②陸上自衛隊第10師団と地震等の災害発生時の相互協力において連携を図る協定を締結

①災害時に地域との協力体制の強化

(社)愛知県建設業協会、(社)日本橋梁建設協会、(社)建設コンサルタンツ協会中部支部と災害時における所管施設の緊急的な災害応急対策の支援に関する協定を始め、災害復旧に関する相互協力を進めている。

②陸上自衛隊第10師団との連携協定

名古屋高速道路は、現在、中部地方幹線道路協議会の道路啓開オペレーション計画で広域支援ルートに指定されており、地震発生後には緊急交通路や緊急輸送道路として速やかに道路啓開する必要がある。

一方、自衛隊法や防衛白書によると、自衛隊は、我が国の安全に重要な影響を与える事態に対応して行う安全の確保に資する活動、被害救援活動などが任務の一つとされている。

このため、名古屋高速道路公社は自衛隊と災害発生時の相互協力における連携を図ることを目的に協定を締結している。



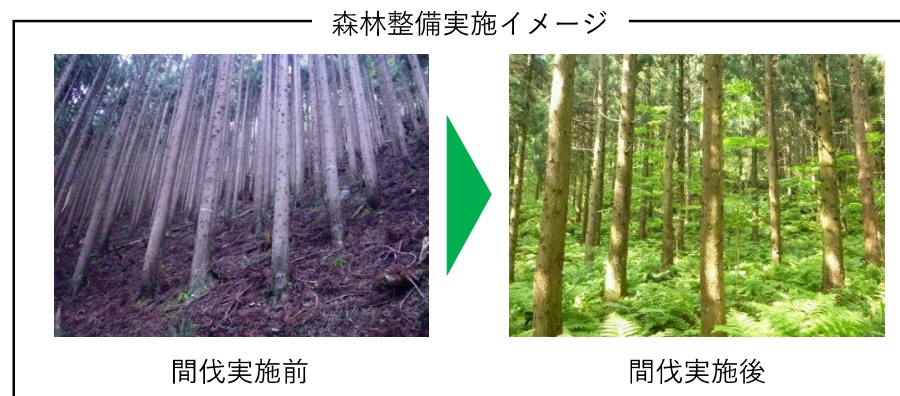
自衛隊師団長と公社理事長による協定調印式の様子

※災害時における協定締結等については
ご相談下さい。
(立地条件、安全性等を考慮した結果、
協定締結が困難な場合もあります。)



■ 水源林造成事業による森林の整備・保全

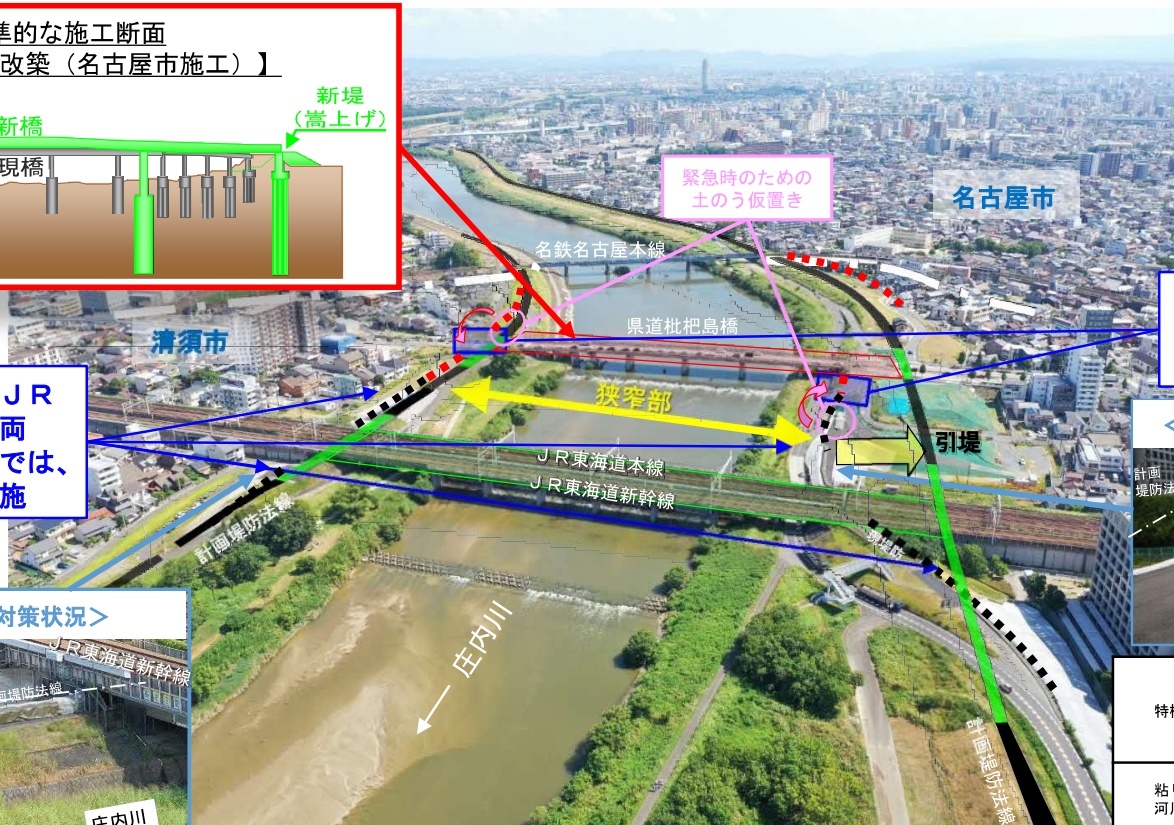
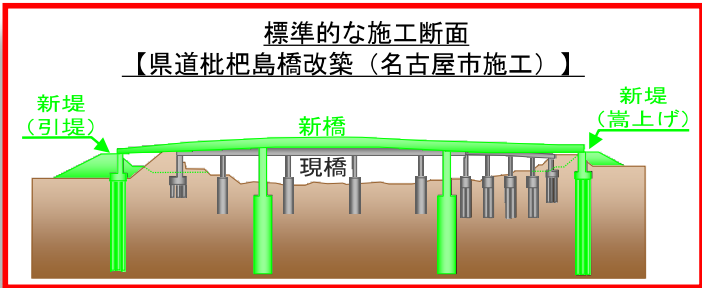
- ・ 水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
- ・ 水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
- ・ 庄内川流域における水源林造成事業地は、約10箇所（森林面積 約2百ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。



枇杷島地区狭窄部対策について



- 枇杷島地区は、庄内川の狭窄部であるとともに、県道枇杷島橋を始め、桁下高が低く、橋脚の間隔がせまい橋梁が横架しており、洪水の流下に大きな支障きたしていることから、庄内川特定構造物改築事業（堤防整備（引堤））及び3橋梁の架替え）を実施しています。
- 令和2年度に橋梁部を除く左岸側の堤防整備が概成し、令和3年10月より「枇杷島橋架替（名古屋市施工）」に現場着手しており、引き続き事業を推進していきます。



JR東海道新幹線及びJR東海道本線の上下流（両岸）の堤防が低い箇所では、事前に土のう積等を実施

県道枇杷島橋では、緊急時には通行止を行い、土のう積を実施



特構事業	実施済	■■■■
	施工中	■■■■
	未施工	■■■■
粘り強い河川堤防	施工済	■■■■
	施工中	■■■■

自然生態系を基盤とする防災減災推進について

～庄内川流域を対象に生態系保全・再生ポテンシャルマップの作成等～

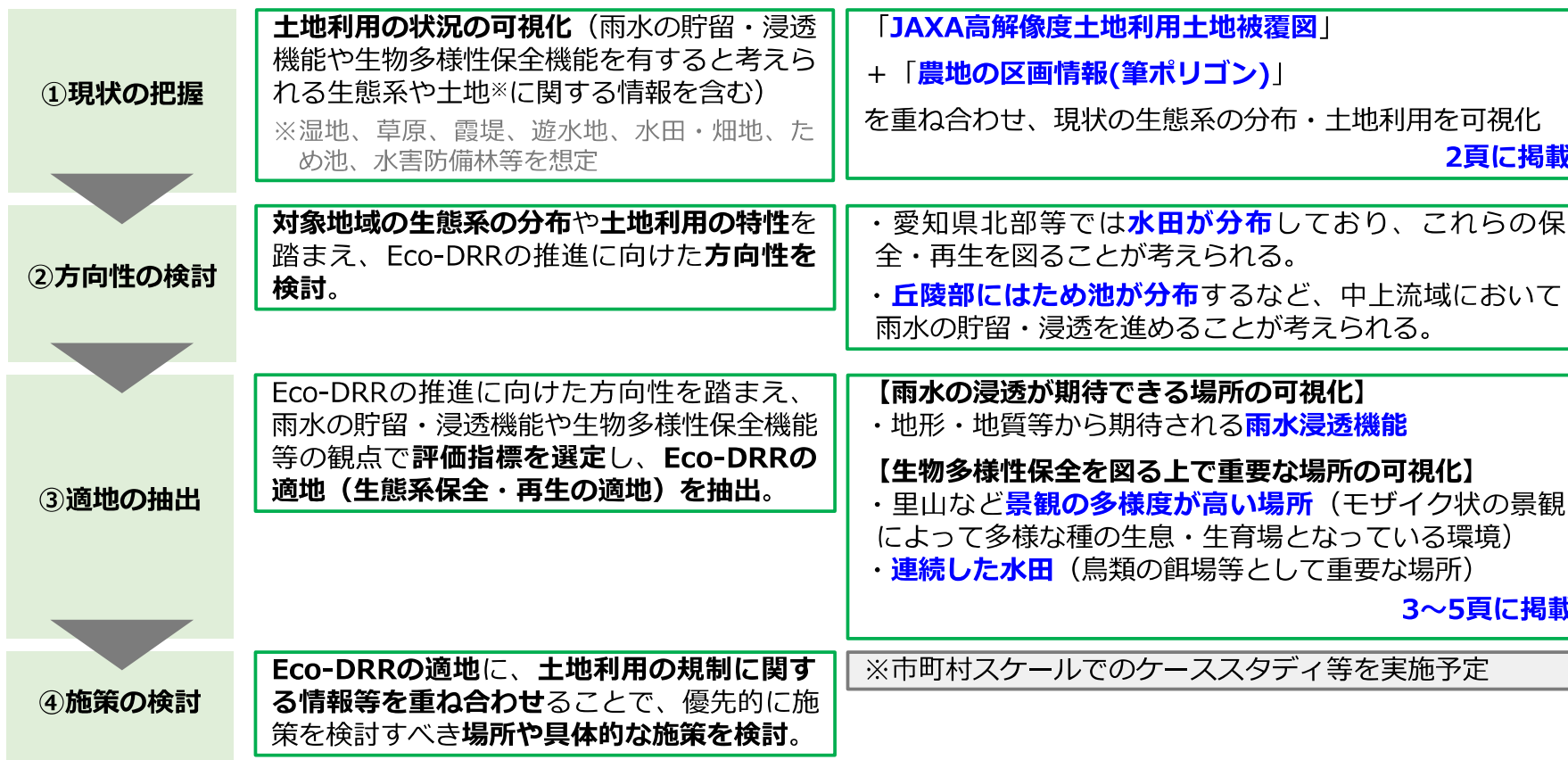


- 生態系の保全・再生によって、**防災・減災機能**（主に遊水機能や雨水貯留・浸透機能を想定）が期待できる取組（Eco-DRR※）の推進に向け、**生態系保全・再生ポテンシャルマップ**を作成。
- 今年度、**土岐川・庄内川流域**を対象に生態系保全・再生ポテンシャルマップを作成。
- 引き続き、市町村スケールでのケーススタディ等を実施し、**令和4年度に手引き等**をとりまとめ。

※Eco-DRR（Ecosystem-based Disaster Risk Reduction）：自然災害に対して脆弱な土地の開発や利用を避け**災害への暴露を回避**するとともに、**防災・減災など生態系が有する多様な機能を活かして社会の脆弱性を低減**すること

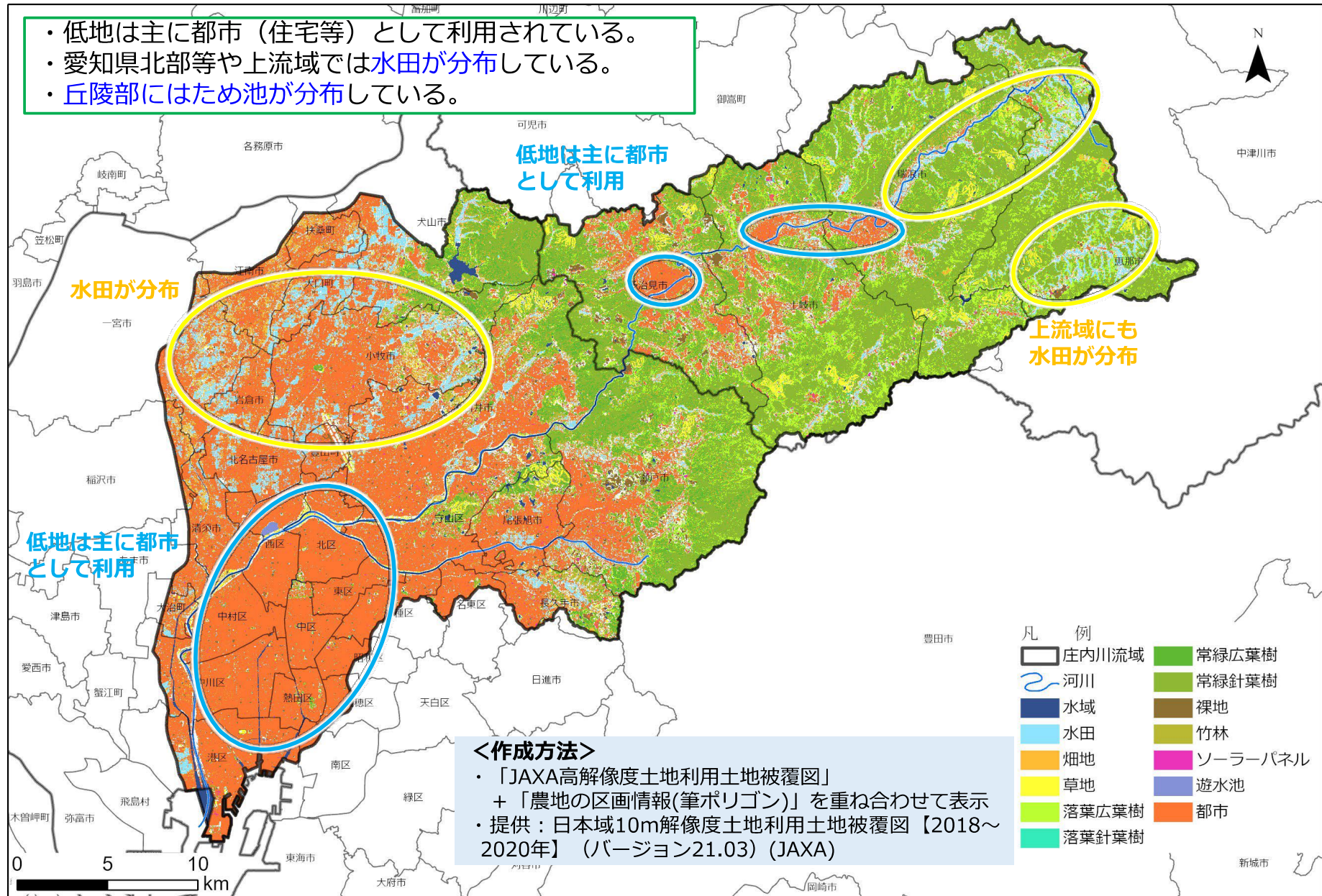
ポテンシャルマップの作成・活用の手順

土岐川・庄内川流域での検討内容



【現状の把握】 土地利用の状況の可視化

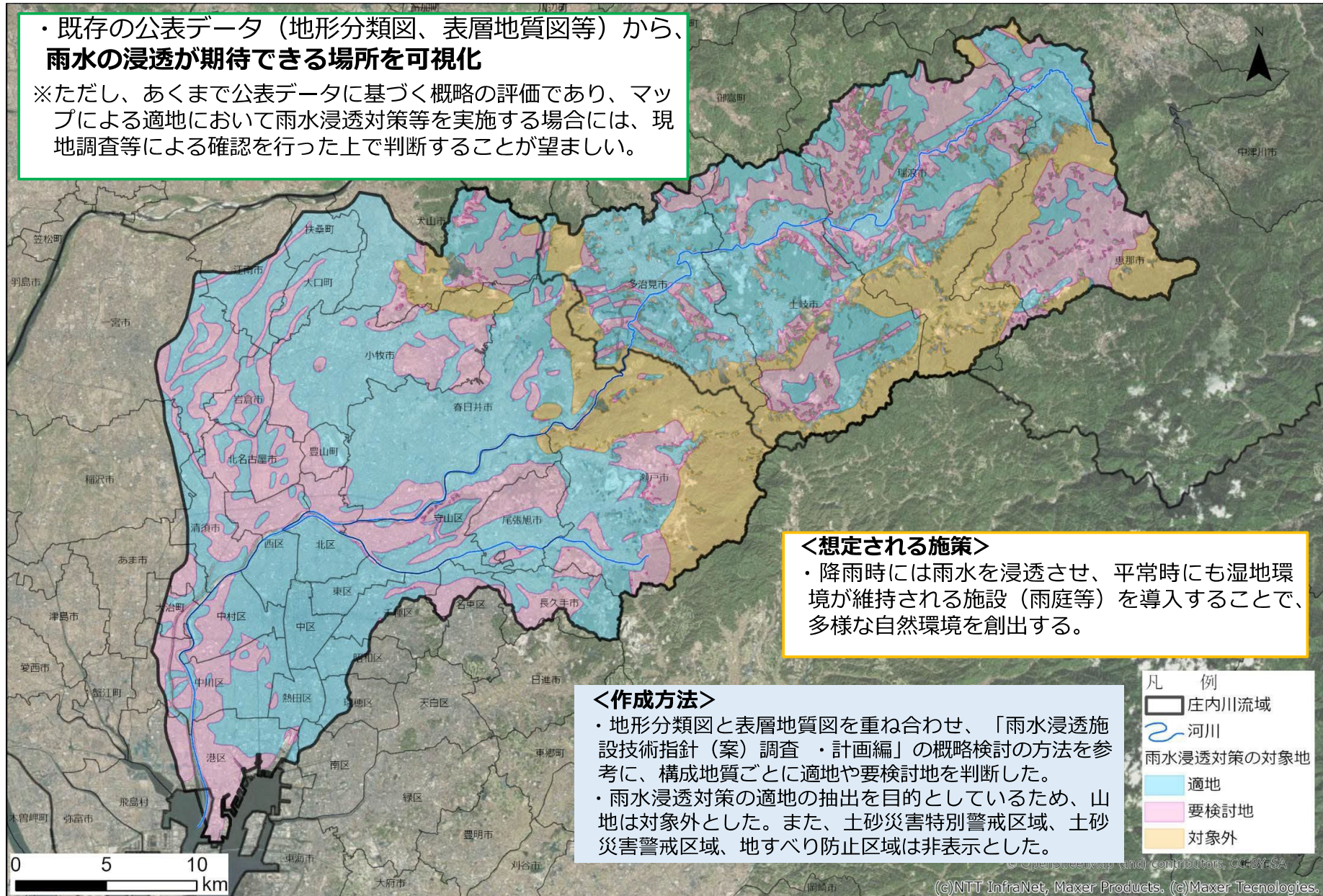
- ・ 低地は主に都市（住宅等）として利用されている。
- ・ 愛知県北部等や上流域では水田が分布している。
- ・ 丘陵部にはため池が分布している。



【適地の抽出】地形・地質等から期待される雨水浸透機能

・既存の公表データ（地形分類図、表層地質図等）から、**雨水の浸透が期待できる場所を可視化**

※ただし、あくまで公表データに基づく概略の評価であり、マップによる適地において雨水浸透対策等を実施する場合には、現地調査等による確認を行った上で判断することが望ましい。



＜想定される施策＞

・降雨時には雨水を浸透させ、平常時にも湿地環境が維持される施設（雨庭等）を導入することで、多様な自然環境を創出する。

＜作成方法＞

・地形分類図と表層地質図を重ね合わせ、「雨水浸透施設技術指針（案）調査・計画編」の概略検討の方法を参考に、構成地質ごとに適地や要検討地を判断した。
 ・雨水浸透対策の適地の抽出を目的としているため、山地は対象外とした。また、土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域、地すべり防止区域は非表示とした。

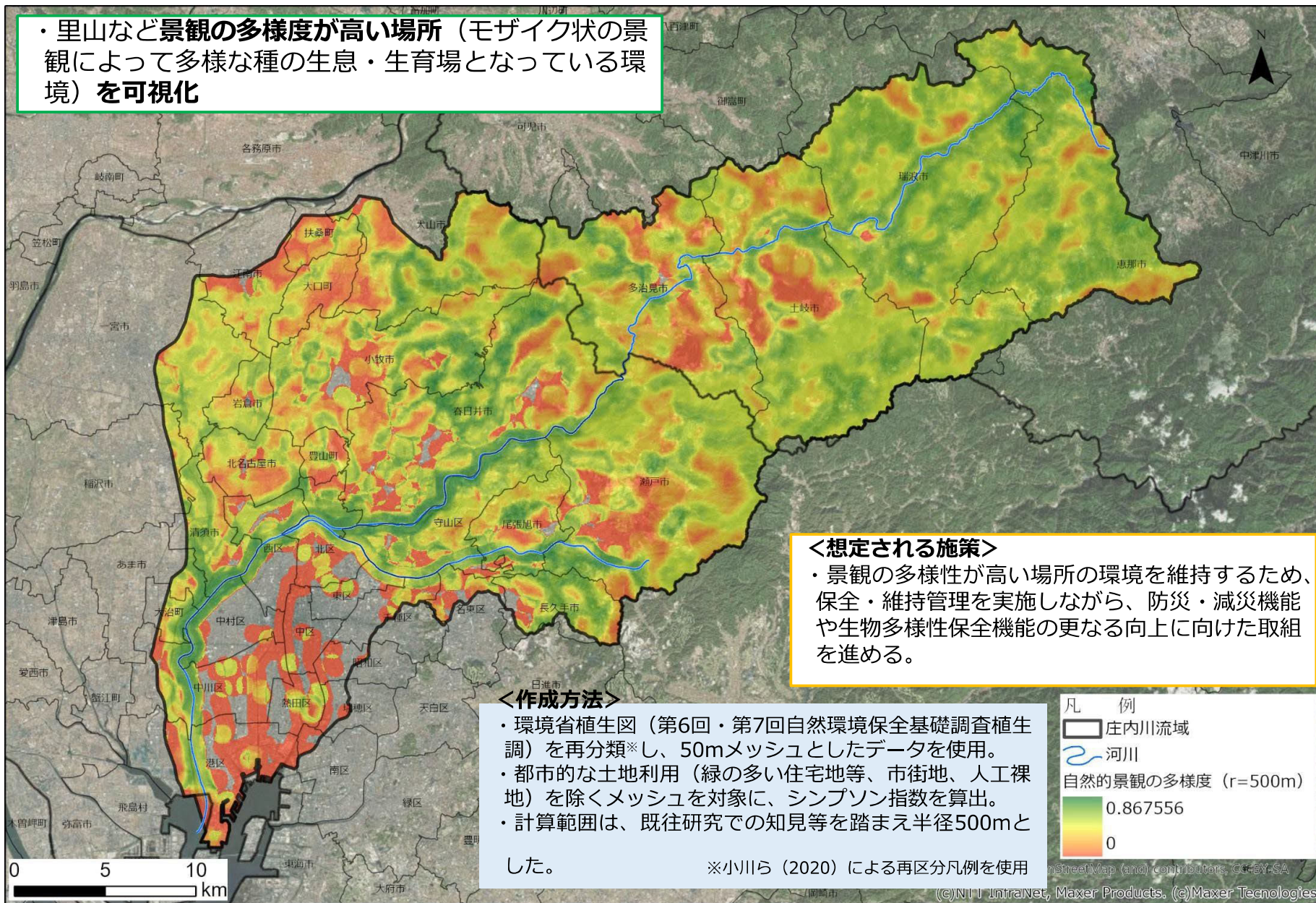
凡 例

- 庄内川流域
- 河川
- 雨水浸透対策の対象地
 - 適地
 - 要検討地
 - 対象外

© OpenStreetMap (and) contributors, CC-BY-SA
 (c)NTT InfraNet, Maxer Products, (c)Maxer Technologies.

【適地の抽出】 景観の多様性が高い場所

・里山など景観の多様度が高い場所（モザイク状の景観によって多様な種の生息・生育場となっている環境）を可視化



<想定される施策>
 ・ 景観の多様性が高い場所の環境を維持するため、保全・維持管理を実施しながら、防災・減災機能や生物多様性保全機能の更なる向上に向けた取組を進める。

<作成方法>
 ・ 環境省植生図（第6回・第7回自然環境保全基礎調査植生調）を再分類※し、50mメッシュとしたデータを使用。
 ・ 都市的な土地利用（緑の多い住宅地等、市街地、人工裸地）を除くメッシュを対象に、シン普森指数を算出。
 ・ 計算範囲は、既往研究での知見等を踏まえ半径500mとした。
 ※小川ら（2020）による再区分凡例を使用

凡 例

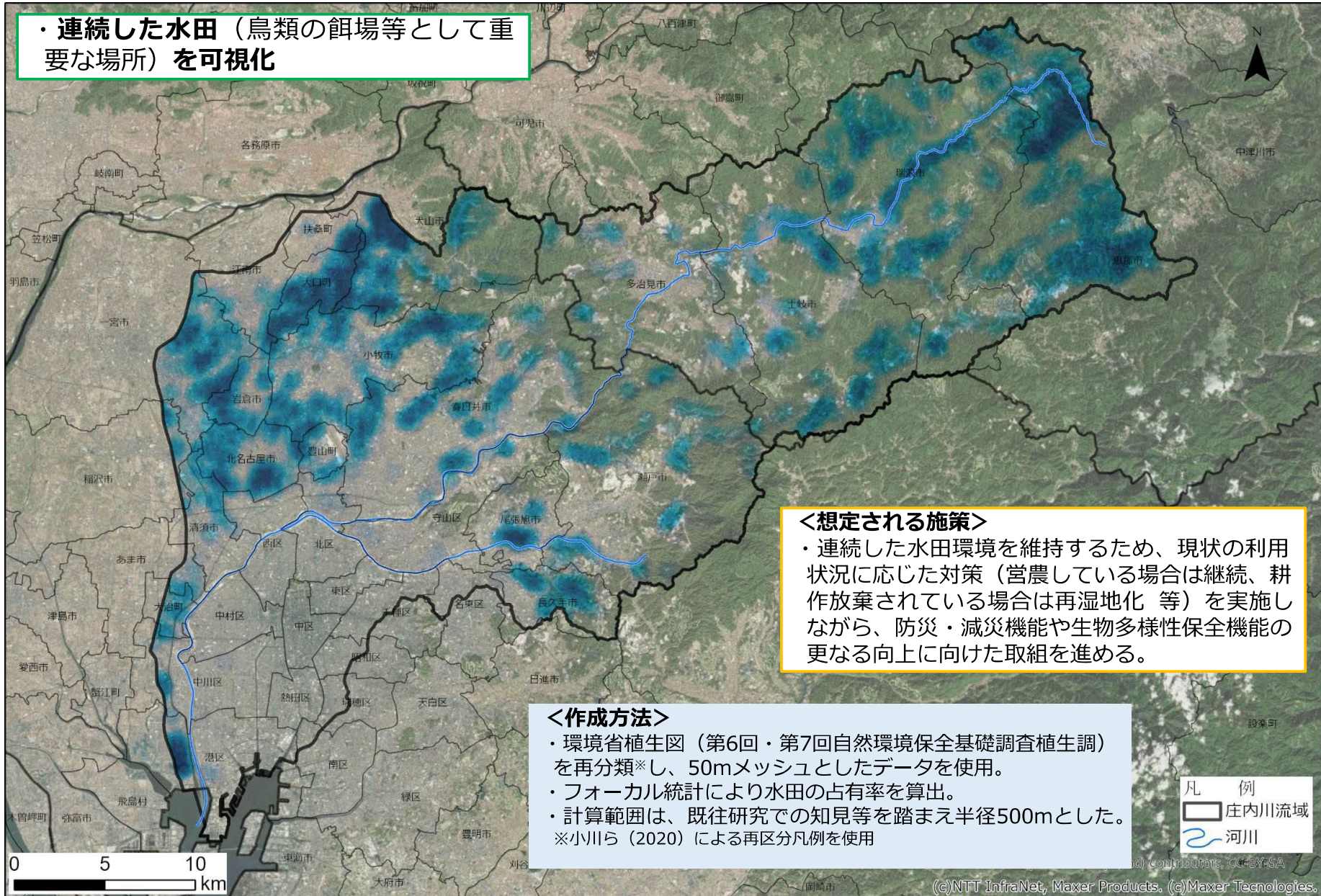
- ▭ 庄内川流域
- 〰 河川

自然的景観の多様度 (r=500m)

0.867556
0

【適地の抽出】 連続した水田

・連続した水田（鳥類の餌場等として重要な場所）を可視化



<想定される施策>
 ・連続した水田環境を維持するため、現状の利用状況に応じた対策（営農している場合は継続、耕作放棄されている場合は再湿地化等）を実施しながら、防災・減災機能や生物多様性保全機能の更なる向上に向けた取組を進める。

<作成方法>
 ・環境省植生図（第6回・第7回自然環境保全基礎調査植生調）を再分類し、50mメッシュとしたデータを使用。
 ・フォーカル統計により水田の占有率を算出。
 ・計算範囲は、既往研究での知見等を踏まえ半径500mとした。
 ※小川ら（2020）による再区分凡例を使用

凡 例
 □ 庄内川流域
 〰 河川

(c)NTT InfraNet, Maxer Products. (c)Maxer Technologies.

構成員

 多治見市	 瑞浪市	 恵那市	 土岐市
 名古屋市	 一宮市	 瀬戸市	 春日井市
 犬山市	 江南市	 小牧市	 稲沢市
 尾張旭市	 岩倉市	 清須市	 北名古屋市
 あま市	 長久手市	 豊山町	 大口町
 扶桑町	 大治町	 蟹江町	
 岐阜県 県土整備部・都市建築部・林政部		 愛知県 建設局・農林基盤局	
 多治見砂防国道事務所・庄内川河川事務所	 東海農政局		
 林野庁 中部森林管理局	 気象庁 岐阜地方気象台・名古屋地方気象台		

オブザーバー

 国土交通省 中部地方整備局 建政部・河川部	 日本下水道事業団	 中部電力株式会社
 中日本高速道路株式会社	 名古屋高速道路公社	 岐阜県 農政部
 森林整備センター	 東海旅客鉄道株式会社 建設工事事務部	 環境省

「庄内川水系流域治水プロジェクト」についてのお問い合わせは下記まで

■【土岐川・庄内川流域治水協議会事務局】お問い合わせ先



国土交通省 中部地方整備局 庄内川河川事務所 調査課

■ 住所 〒462-0052 愛知県名古屋市北区福德町 5 丁目 5 2
 ■ 電話番号 052-914-6713
 ■ FAX 052-914-6947
 ■ メールアドレス cbr-shonai00@mlit.go.jp

土岐川・庄内川流域治水協議会

WEB https://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/bousai/ryuiki_chisui_kyougikai/index.html

